

(様式第10)

京大病サ企第61号

令和 5年 10月 4日

厚生労働大臣 殿

開設者名 国立大学法人京都大学
学長 湊 長博

京都大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和3年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒606-8501 京都府京都市左京区吉田本町
氏名	国立大学法人 京都大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

京都大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒606-8507 京都府京都市左京区聖護院川原町54番地
電話(075) 751 - 3111

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input type="radio"/>	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
<input type="checkbox"/>	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1)内科

内科	有
内科と組み合わせた診療科名等	
1呼吸器内科	<input type="checkbox"/>
2消化器内科	<input type="radio"/>
3循環器内科	<input type="checkbox"/>
4腎臓内科	<input type="checkbox"/>
5神経内科	<input type="checkbox"/>
6血液内科	<input type="checkbox"/>
7内分泌内科	<input type="checkbox"/>
8代謝内科	<input type="checkbox"/>
9感染症内科	<input type="checkbox"/>
10アレルギー疾患内科またはアレルギー科	<input type="checkbox"/>
11リウマチ科	<input type="checkbox"/>
診療実績	
呼吸器内科、消化器内科、腎臓内科、血液内科、内分泌内科、代謝内科、感染症内科、アレルギー疾患内科またはアレルギー科、リウマチ科の内容は内科で診療している。 神経内科の診療内容は脳神経内科にて提供している。	

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	有						
外科と組み合わせた診療科名							
<input type="radio"/>	1呼吸器外科		2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	<input type="radio"/>	6心臓血管外科		7内分泌外科		8小児外科
診療実績							
消化器外科、乳腺外科、内分泌外科、小児外科の内容は外科で診療している。							

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

<input type="radio"/>	1精神科	<input type="radio"/>	2小児科	<input type="radio"/>	3整形外科	<input type="radio"/>	4脳神経外科
<input type="radio"/>	5皮膚科	<input type="radio"/>	6泌尿器科		7産婦人科	<input type="radio"/>	8産科
<input type="radio"/>	9婦人科	<input type="radio"/>	10眼科	<input type="radio"/>	11耳鼻咽喉科	<input type="radio"/>	12放射線科
	13放射線診断科		14放射線治療科	<input type="radio"/>	15麻酔科	<input type="radio"/>	16救急科

- (注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	無						
歯科と組み合わせた診療科名							
	1小児歯科	<input type="radio"/>	2矯正歯科	<input type="radio"/>	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	脳神経内科	2	形成外科	3	リハビリテーション科	4	病理診断科	5	
6		7		8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計	(単位:床)
60	0	15	0	1,066	1,141	

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	444	598	695.2
歯科医師	10	8	16.1
薬剤師	85	8	91.1
保健師	0	0	0
助産師	51	0	51
看護師	1259	50	1297.5
准看護師	0	0	0
歯科衛生士	7	1	7.7
管理栄養士	17	5	20.8

職種	員数
看護補助者	48
理学療法士	29
作業療法士	12
視能訓練士	9
義肢装具士	0
臨床工学士	33
栄養士	0
歯科技工士	3
診療放射線技師	72

職種	員数	
診療エックス線技師	0	
臨床検査	臨床検査技師	91
	衛生検査技師	0
	その他	0
あん摩マッサージ指圧師	0	
医療社会事業従事者	14	
その他の技術員	62	
事務職員	448	
その他の職員	269	

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	89	眼科専門医	14
外科専門医	26	耳鼻咽喉科専門医	15
精神科専門医	10	放射線科専門医	8
小児科専門医	11	脳神経外科専門医	7
皮膚科専門医	11	整形外科専門医	31
泌尿器科専門医	3	麻酔科専門医	16
産婦人科専門医	9	救急科専門医	23
		合計	273

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (高折 晃史) 任命年月日 令和 5 年 4 月 1 日

平成26年12月から平成31年3月まで医療安全管理委員会の委員として医療に係る安全管理の業務に従事した。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	702.9 人	8.9 人	711.8 人
1日当たり平均外来患者数	1650.4 人	66.9 人	1717.4 人
1日当たり平均調剤数	1,089.3		剤
必要医師数	171		人
必要歯科医師数	6		人
必要薬剤師数	24		人
必要(准)看護師数	414		人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数	人工呼吸装置	その他の救急蘇生装置	心電計 心細動除去装置 ペースメーカー
集中治療室	1590.47 m ²	鉄筋コンクリート	79 床	有	有	有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	820.74 m ²	病床数	58 床	
	[移動式の場合]	台数	台			
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床面積	73.12 m ²			
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	766.00 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	全自動生化学・免疫分析装置、全自動血球計算装置		
細菌検査室	199.00 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	全自動微生物培養検出装置、全自動細菌培養感受性装置		
病理検査室	349.20 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	密閉式自動固定包埋装置、全自動H&E染色装置、自動免疫染色装置		
病理解剖室	57.00 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	解剖台、写真撮影装置		
研究室	39751.39 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	電子顕微鏡、遠心分離機		
講義室	496.00 m ²	鉄筋コンクリート	室数	2 室	収容定員	329 人
図書室	785.00 m ²	鉄筋コンクリート	室数	7 室	蔵書数	218,986 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	82.5	%	逆紹介率	85.9	%
算出 根拠	A: 紹介患者の数		13,308		人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		17,561		人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		5,604		人
	D: 初診の患者の数		23,640		人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
笠井 正俊	京都大学副学長(法務・コンプライアンス担当)		総長が指名する副学長	有	3
平野 哲郎	立命館大学 法科大学院 教授		法律に関する専門的知識を有する者	無	1
中村 猛	京都府立医科大学 医療安全推進部 部長		医療に係る安全管理に関する専門的知識を有する者	無	1
伊藤 英樹	広島大学病院 医療安全管理部 部長		医療に係る安全管理に関する専門的知識を有する者	無	1
山口 育子	認定NPO法人 ささえあい医療人権センター COML 理事長	○	医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	無	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
京都大学ホームページに掲載。	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数 (人)
タイムラプス撮像法による受精卵・胚培養	50
子宮内膜受容能検査1	7
子宮内細菌叢検査1	7
二段階胚移植術	0
先進医療の種類合計	4
取扱い患者数の合計(人)	64

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数 (人)
全身性エリテマトーデスに対する初回副腎皮質ホルモン治療におけるクロピドグレル硫酸塩、ピタバスタチンカルシウム及びトコフェロール酢酸エステル併用投与の大腿骨頭壊死発症抑制療法 全身性エリテマトーデス(初回の副腎皮質ホルモン治療を行っている者に係るものに限る。)	0
テモゾロミド用量強化療法 膠芽腫(初発時の初期治療後に再発又は増悪したものに限る。)	0
アスピリン経口投与療法 家族性大腸腺腫症	1
ネシツムマブ静脈内投与療法 切除が不可能なEGFR遺伝子増幅陽性固形がん(食道がん、胃がん、小腸がん、尿路上皮がん又は乳がんに限る。)	0
術前のゲムシタビン静脈内投与及びナブパクリタキセル静脈内投与の併用療法 切除が可能な膵臓がん(七十歳以上八十歳未満の患者に係るものに限る。)	0
生体肝移植術 切除が不可能な肝門部胆管がん	0
生体肝移植術 切除が不可能な転移性肝がん(大腸がんから転移したものであって、大腸切除後の患者に係るものに限る。)	0
先進医療の種類合計数	7
取り扱い患者数の合計(人)	1

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	キメラ抗原受容体T細胞療法(CAR-T療法)	取扱患者数	32
当該医療技術の概要			
再発・難治性のB細胞腫瘍(急性白血病, 悪性リンパ腫)の治療として、患者自身から採取したT細胞に、CD19に対するキメラ抗原受容体を遺伝子導入し、増殖させた後、患者に投与する。			
医療技術名	血液がん遺伝子パネル検査	取扱患者数	900
当該医療技術の概要			
造血器腫瘍の遺伝子変異をターゲットシーケンスにより同定する。			
医療技術名	減量・代謝改善手術	取扱患者数	1
当該医療技術の概要			
高度肥満症に対して、腹腔鏡下で袖状胃切除術を行い、減量と代謝の改善を図ります。			
医療技術名	膵β細胞イメージング	取扱患者数	4
当該医療技術の概要			
インスリンノーマ・高インスリン血症性低血糖症に対して、GLP-1受容体標的PETイメージングでの責任病変の質的・局在診断を行う。			
医療技術名	経皮的動脈弁置換術(TAVR)	取扱患者数	50
当該医療技術の概要			
かつては開胸手術しか選択がなかったが高齢者やハイリスク患者に対し低侵襲性の経カテーテル的動脈弁置換術が可能となった。治療は全身麻酔もしくは局所麻酔下でハイブリッド手術室で施行され、専門施設認定には厳しい条件が付与される。			
医療技術名	エキシマレーザー使用によるデバイスリード抜去術	取扱患者数	1
当該医療技術の概要			
感染などの理由で、植え込み術後数年が経過したペースメーカーや除細動器を抜去する必要性が生じた場合には、癒着したリードを剥離するエキシマレーザーが必要になることが多い。 手術は心臓血管外科のバックアップのもとに、ハイブリッド手術室で行う必要がある。			
医療技術名	バルーン肺動脈形成術(BPA)	取扱患者数	11
当該医療技術の概要			
慢性肺血栓塞栓性肺高血圧症(CTEPH)に対するバルーン肺動脈形成術は、外科的な接戦内膜摘除が適応とならない末梢型のCTEPHに対して施行している。薬物治療と比較して治療効果も高く、治療後に在宅運動療法から離脱出来たり、薬剤が減量できる症例も多い。			
医療技術名	経カテーテル的心房中隔閉鎖術	取扱患者数	13
当該医療技術の概要			
従来開胸手術で閉鎖していた心房中隔欠損を経カテーテル的に閉鎖デバイスを用いて閉鎖するものである。			

医療技術名	経皮的僧帽弁形成術	取扱患者数	10
当該医療技術の概要			
重症僧帽弁閉鎖不全症患者に行われる、以前は開胸手術しか選択がなかったが、カテーテルにより僧帽弁をクリップすることにより経皮的僧帽弁形成術が可能となり開胸手術に対しハイリスク患者に治療を行うことが出来るようになった。全身麻酔下経食道心エコー下でハイブリッド手術室で施行され、施行施設認定には厳しい条件が付与される。			
医療技術名	リードレスペースメーカー	取扱患者数	36
当該医療技術の概要			
血管閉塞、認知症、フレイルなど通常のペースメーカ植え込みが困難あるいはリスクの高い症例、VVI適応の症例について、当院では心臓血管外科のバックアップのもとにリードレスペースメーカ植え込み術を施行している。			
医療技術名	左心耳閉鎖術	取扱患者数	8
当該医療技術の概要			
心房細動による脳塞栓の塞栓源として大部分を占める左心耳血栓を閉鎖することで、出血ハイリスクの症例において、長期的には抗凝固療法を行わず、塞栓リスクを軽減させる治療である。			
医療技術名	局所進行膵癌に対する超音波内視鏡下金マーカー留置術	取扱患者数	2
当該医療技術の概要			
局所進行膵癌と対して動体追尾強度変調放射線治療を施行するため、超音波内視鏡下に金マーカーを留置する処置である。			
医療技術名	脳磁図	取扱患者数	58
当該医療技術の概要			
脳磁図はてんかんの患者に対する手術部位の診断や手術方法の選択を含めた治療方針の決定のために欠かせない非侵襲的な脳機能検査法であり、原発性及び続発性てんかん、中枢神経疾患に伴う感覚障害及び運動障害の鑑別診断としても行われる。脳波に比べ優れた空間解像度と、MRI/PETより優れた時間解像度を併せ持つ。てんかん診療支援センターの関連科・部署である脳機能センター、脳神経内科、脳神経外科、小児科、てんかん・運動異常生理学講座が協力して提供している。			
医療技術名	体重10kg以下の小児体外循環	取扱患者数	5
当該医療技術の概要			
極めて体重の軽い小児の体外循環を安全に行える施設は少ない。当院では、急性肝不全などの症例の移植前に体外循環を行っている。			
医療技術名	Radial Incision and Cutting (RIC)	取扱患者数	8
当該医療技術の概要			
食道がんなどの術後の難治性狭窄に対する狭窄解除術。			
医療技術名	遺伝子パネル検査による遺伝子プロファイリングに基づく複数の分子標的治療に関する患者申出療養	取扱患者数	37
当該医療技術の概要			
がん遺伝子パネル検査で見つかった適用外の候補治療薬を患者申出療養で実施。			
医療技術名	膵癌に対する化学放射線療法＋ニボルマブ	取扱患者数	3
当該医療技術の概要			
切除可能境界・局所進行膵癌に対する化学放射線療法＋ニボルマブの有用性を検証する第III相臨床試験(医師主導治療)。			

医療技術名	光線力学的療法	取扱患者数	11
当該医療技術の概要			
食道がんに対する化学放射線療法後の遺残再発に対する根治的救済治療。			
医療技術名	FGFR遺伝子異常を有する固形癌に対するE7090	取扱患者数	6
当該医療技術の概要			
FGFR遺伝子異常を有する治療抵抗性の進行・再発固形癌に対するE7090の効果を評価する第II相臨床試験(医師主導試験)			
医療技術名	健康成人および術後疼痛患者に対するEBDOPIN単回投与による安全性及び血漿中薬物濃度を検討する第I/II相試験	取扱患者数	5
当該医療技術の概要			
健康成人男性に対するENDOPIN単回投与による安全性及び血漿中薬物濃度を検討する。さらに、胸腔鏡下肺葉・区域切除後の術後疼痛に対するENDOPIN単回投与による安全性の検討および有効性の探索的な検討を行う。			
医療技術名	ヒト免疫担当細胞の加齢変化に関する研究	取扱患者数	1720
当該医療技術の概要			
加齢に伴い、易感染性や自己免疫反応の増大などの免疫応答性の変化が顕著になる。本研究では、COVID-19ワクチンを接種した様々な年齢の健康人ボランティアから末梢血を渡り採取し、加齢が免疫応答性にどのような変化を及ぼすのかについて明らかにする。			
医療技術名	治療歴のある成人GPC3発現固形癌患者を対象としたTAK-102の非盲検、用量漸増、第I相First-in-human試験	取扱患者数	2
当該医療技術の概要			
標準治療に不応・不耐のグリピカン3 (GPC3)発現固形癌患者を対象に、TAK-102を静脈内投与した際の安全性及び忍容性を評価し、第II相臨床試験推奨量を決定する。			
医療技術名	PIK3CAH1047R変異を有する進行乳癌患者及びその他の癌患者を対象としたLOXO-783の単独投与及び抗癌剤との併用投与試験	取扱患者数	2
当該医療技術の概要			
PIK3CAH1047R変異の進行乳癌患者及びその他の固形癌患者におけるLOXO-783の単独投与及び他の抗癌剤との併用投与のMTD/RP2Dを明らかにする。			
医療技術名	治験 オラパリブ	取扱患者数	4
当該医療技術の概要			
手術可能なHER2陽性原発性乳癌患者を対象とした術後補助療法としてのアントラサイクリン化学療法後のタキサン+トラスツズマブ+ペルツズマブとトラスツズマブ エムタンシン+ペルツズマブを比較する多施設共同非盲検ランダム化第III相比較試験。			
医療技術名	治験 アベマシクリブ	取扱患者数	1
当該医療技術の概要			
リンパ節転移陽性、ホルモン受容体陽性、HER2陰性の再発高リスク早期乳癌患者を対象とした標準的な術後内分泌療法単独、とアベマシクリブとの併用の無作為化非盲検第III相試験。			
医療技術名	治験 アテゾリズマブ	取扱患者数	10
当該医療技術の概要			
手術可能なトリプルネガティブ乳癌患者を対象とした、術後補助療法におけるアテゾリズマブ(抗PD-L1抗体)+アンスラサイクリン/タキサンベースの化学療法と化学療法単独を比較する多施設共同ランダム化非盲検第III相試験。			

医療技術名	治験 ペルツズマブ	取扱患者数	3
当該医療技術の概要			
手術可能なHER2陽性原発性乳癌における術後療法としての化学療法+トラスツズマブ+プラセボと化学療法+トラスツズマブ+ペルツズマブのランダム化、多施設共同、二重盲検、プラセボ対照での比較試験(製造販売後臨床試験)。			
医療技術名	治験 トラスツズマブ デルクステカン	取扱患者数	2
当該医療技術の概要			
T-DM1治療歴のあるHER2陽性切除不能及び/又は転移性乳癌患者を対象として抗HER2抗体薬物複合体であるトラスツズマブ デルクステカン(DS-8201a)を医師選択治療と比較検討する多施設共同無作為化非盲検実薬対照第Ⅲ相試験(DESTINY-Breast02)。			
医療技術名	治験 トラスツズマブ デルクステカン(アジュバント)	取扱患者数	1
当該医療技術の概要			
術前療法後に乳房あるいは腋窩リンパ節に浸潤性残存病変を有する高リスクHER2陽性乳癌患者を対象としたトラスツズマブ デルクステカン(T-DXd)とトラスツズマブ エムタンシン(T-DM1)を比較する多施設共同無作為化非盲検第Ⅲ相試験			
医療技術名	治験 AZD9833	取扱患者数	3
当該医療技術の概要			
SERENA-4:進行癌に対する全身療法が未治療のエストロゲン受容体陽性HER2陰性進行乳癌患者を対象として、AZD9833(経口SERD)+パルボシクリブの併用療法とアナストロゾール+パルボシクリブの併用療法を比較する第Ⅲ相ランダム化二重盲検多施設共同試験。			
医療技術名	治験 トラスツズマブ デルクステカン(再発、1st)	取扱患者数	4
当該医療技術の概要			
HER2陽性の転移性乳癌に対する一次治療としてトラスツズマブ デルクステカン(T-DXd)の単剤投与またはT-DXdとペルツズマブの併用投与と、タキサン、トラスツズマブ、及びペルツズマブの併用療法を比較検討する第Ⅲ相試験(DESTINY-Breast09試験)			
医療技術名	治験 Datopotamab Deruxtecan	取扱患者数	3
当該医療技術の概要			
1~2ラインの全身化学療法歴のある手術不能又は転移性ホルモン受容体陽性、HER2陰性乳癌患者を対象としてDatopotamab Deruxtecan(Dato-DXd)と医師選択化学療法を比較検討する第Ⅲ相非盲検無作為化試験(TROPION-Breast01試験)			
医療技術名	治験 Sacituzumab Govitecan	取扱患者数	1
当該医療技術の概要			
日本人進行固形がん患者又はトリプルネガティブ乳癌患者を対象としたSacituzumab Govitecanの第1/2相非盲検臨床試験(ASCENT-J02)			
医療技術名	治験 Datopotamab Deruxtecan(再発、1st)	取扱患者数	1
当該医療技術の概要			
Programmed cell death protein 1(PD-1)/Programmed cell death-ligand 1(PD-L1) 阻害剤治療の候補とならない局所再発手術不能又は転移性トリプルネガティブ乳癌患者の一次治療としてDatopotamab Deruxtecan(Dato-DXd)と医師選択化学療法を比較検討する第Ⅲ相非盲検無作為化試験(TROPION-Breast02試験)			
医療技術名	治験 パルボシクリブ K041	取扱患者数	3
当該医療技術の概要			
PALLAS:PALbociclib CoLaborative Adjuvant Study(パルボシクリブの術後補助療法に関する共同研究)ホルモン受容体陽性(HR+)/ヒト上皮成長因子受容体2(HER2)陰性の早期乳がんに対するパルボシクリブと標準的な術後補助内分泌療法の併用と標準的な術後補助内分泌療法単独を比較する無作為化第Ⅲ相試験。			

医療技術名	生体肝移植	取扱患者数	49
当該医療技術の概要			
生体ドナーから肝臓を提供いただき非代償性肝硬変、肝不全レシピエントに移植手術を行う。			
医療技術名	脳死肝移植	取扱患者数	6
当該医療技術の概要			
脳死ドナーから肝臓を提供いただき非代償性肝硬変、肝不全レシピエントに移植手術を行う。			
医療技術名	脳死小腸移植	取扱患者数	1
当該医療技術の概要			
脳死ドナーから小腸を提供いただき小腸不全レシピエントに移植手術を行う。また、肝小腸同時移植も行なっている。			
医療技術名	脳死膵島移植	取扱患者数	2
当該医療技術の概要			
脳死ドナーから膵臓を提供いただき膵島分離し再生医療として、1型糖尿病レシピエントに移植手術を行う。			
医療技術名	脳死膵臓移植	取扱患者数	3
当該医療技術の概要			
脳死ドナーから膵臓を提供いただき1型糖尿病レシピエントに移植手術を行う。			
医療技術名	難治緑内障に対するチューブシャント手術	取扱患者数	40
当該医療技術の概要			
従来の緑内障手術や点眼加療では十分な眼圧下降が得られない難治性緑内障にたいして、バルベルト®緑内障インプラントやアーメド緑内障バルブを用いた治療を行い、良好な治療成績が得られている。			
医療技術名	難治性視神経炎の診断と治療	取扱患者数	10
当該医療技術の概要			
視神経炎はステロイド点滴治療のみで改善し予後良好と考えられてきたが、ステロイド抵抗性や依存性の視神経炎も存在するため造影MRIや光干渉断層計を用いた評価、および症例に応じて血漿交換・免疫抑制剤を併用した治療を行っている。			
医療技術名	次世代シーケンサーを用いた網膜色素変性の遺伝子変異診断	取扱患者数	100
当該医療技術の概要			
網膜色素変性を含む遺伝性網膜変性疾患に対し、次世代シーケンサーを用いた網羅的な遺伝子解析を行い、約半数の症例で原因となる遺伝子変異を同定した。			
医療技術名	増殖糖尿病網膜症に対する小切開硝子体手術	取扱患者数	50
当該医療技術の概要			
難治性の網膜疾患である増殖糖尿病網膜症に対して、低侵襲な小切開硝子体手術を行い、合併症が少なく、良好な治療成績を得ている。			

医療技術名	糖尿病黄斑浮腫に対する抗VEGF療法	取扱患者数	30
当該医療技術の概要			
難治性の慢性疾患である糖尿病黄斑浮腫への新規治療である抗VEGF療法を行った。			
医療技術名	仮面症候群及び急性網膜壊死に対する硝子体手術	取扱患者数	30
当該医療技術の概要			
仮面症候群は悪性腫瘍に伴うブドウ膜炎で、予後不良の疾患である。また、急性網膜壊死はヘルペスウイルスによる視力障害が重篤な疾患である。これらに対して、診断目的もしくは視機能改善を目指した硝子体手術を施行した。			
医療技術名	滲出型加齢黄斑変性に対する抗VEGF療法	取扱患者数	400
当該医療技術の概要			
滲出型加齢黄斑変性に対して、ブrolizマブ、アフリベルセプト、ラニビズマブ、ファリシマブ硝子体注射を行った。			
医療技術名	萎縮型加齢黄斑変性及びその前駆病変の眼底イメージングによる評価法の確	取扱患者数	200
当該医療技術の概要			
萎縮型加齢黄斑変性およびその前駆病変(ドルーゼン)の患者に対して、カラー眼底写真、蛍光眼底造影、光干渉断層計、光干渉断層計血管造影、眼底自発蛍光などの眼底イメージングによる評価を行った。			
医療技術名	フォン・ヒッペル・リンドウ病における網膜血管腫の眼底イメージングによる評価法の確	取扱患者数	40
当該医療技術の概要			
フォン・ヒッペル・リンドウ病患者およびその血縁者に対して、広角カラー眼底写真、広角蛍光眼底造影、光干渉断層計、光干渉断層計血管造影などの眼底イメージングによる評価を行った。			
医療技術名	早期子宮頸癌に対する新術式腹腔鏡下広汎子宮全摘術(new-Japanese LI	取扱患者数	4
当該医療技術の概要			
局所に限局した早期子宮頸癌に対して、厳密に術式を担保した上での腹腔鏡下広汎子宮全摘出を行う方法			
医療技術名	膣上皮VAINに対するイミキモド塗布	取扱患者数	2
当該医療技術の概要			
膣壁に発生した上皮内異形成に対して、イミキモドを塗布する方法			
医療技術名	子宮原発の悪性PEComaに対する、シロリムス全身投与	取扱患者数	1
当該医療技術の概要			
標準治療が確立していない希少な癌である子宮原発悪性PEComaに対して、mTOR阻害剤であるシロリムスを内服投与する方法			
医療技術名	小児・若年女性のがん患者における妊孕能温存のための卵巣組織凍結保存	取扱患者数	3
当該医療技術の概要			
小児・若年がん患者に対してがん治療開始前に、卵巣組織を腹腔鏡にて摘出し、保存する方法。			

医療技術名	若年女性のがん、免疫疾患、および早発卵巣機能不全患者における妊孕能温存のための卵子凍結保存	取扱患者数	9
当該医療技術の概要			
小児・若年がん患者に対してがん治療開始前に、体外受精と同様の方法で、未受精卵子を採卵し、凍結保存する方法。			
医療技術名	(小児)CAR-T細胞療法	取扱患者数	2
当該医療技術の概要			
再発・難治性のB細胞腫瘍(急性白血病, 悪性リンパ腫)の治療として、患者自身から採取したT細胞に、CD19に対するキメラ抗原受容体を遺伝子導入し、増殖させた後、患者に投与する。			
医療技術名	小児カテーテル治療	取扱患者数	54
当該医療技術の概要			
経皮的心臓血管内手術をカテーテルにより行う。			
医療技術名	胎児心エコー診断	取扱患者数	64
当該医療技術の概要			
胎児期に心臓エコーで先天性心疾患を診断。			
医療技術名	在宅肺高血圧治療薬持続点滴	取扱患者数	2
当該医療技術の概要			
重症肺高血圧治療の一環として在宅点滴医療。			
医療技術名	小児経皮的心房中隔欠損閉鎖術	取扱患者数	10
当該医療技術の概要			
カテーテルを用いた、心房中隔欠損孔の閉鎖術。			
医療技術名	経皮的肺動脈弁置換術	取扱患者数	2
当該医療技術の概要			
カテーテルを用いた肺動脈弁置換術			
医療技術名	T1b以上の腎細胞癌に対するロボット支援下腎部分切除術	取扱患者数	2
当該医療技術の概要			
cT1b(4cm以上)の腎細胞癌に対してロボット支援下腎部分切除術を行う(一般的な適応はcT1a(4cm以下)まで)。			
医療技術名	がんパネル検査結果に基づく、CDK12変異陽性去勢抵抗性前立腺癌症例に対するオブジーボの自費投与	取扱患者数	1
当該医療技術の概要			
現在本邦では免疫チェックポイント阻害剤は多くの癌腫で保険承認されているが、遺伝学的不安定性を誘発しネオ抗原の増加が予想されるCDK12変異症例という範疇での適応はない。がんパネル検査でCDK12異常が同定されエキスパートパネルでオブジーボを推奨されたので保険適応外で自費診療としてオブジーボを投与した。			

医療技術名	Level 2 以上IVC塞栓を伴う腎癌に対する腎摘除術	取扱患者数	2
当該医療技術の概要			
肝内IVCのレベルまで進展した腫瘍塞栓を伴う腎癌に対する腎摘除術を安全・確実に行う。			
医療技術名	全身化学療法後の精巣腫瘍に対する後腹膜リンパ節郭清	取扱患者数	2
当該医療技術の概要			
全身化学療法後に強固に癒着した後腹膜リンパ節組織を安全・確実に郭清する。			
医療技術名	広範頭蓋底腫瘍切除・再建術	取扱患者数	2
当該医療技術の概要			
頭蓋底腫瘍(悪性腫瘍含む)に対する摘出手術及び切除後再建手術を、外切開手術・内視鏡手術単独あるいは開頭手術と組み合わせた術式で行う。			
医療技術名	経鼻内視鏡下前頭蓋底悪性腫瘍手術	取扱患者数	3
当該医療技術の概要			
前頭蓋底悪性腫瘍に対する摘出術、再建術を内視鏡単独で行う。			
医療技術名	早期肺癌および肝癌に対する動体追尾定位放射線治療	取扱患者数	4
当該医療技術の概要			
肺癌や肝癌の呼吸性移動に合わせて放射線治療ビームの方向を追従させ、がんに限局した照射を行う放射線治療である。従来法と比較して、がん病巣への線量を損なうことなく、正常肺、肝臓の線量を約20%低減することが可能となった。			
医療技術名	局所進行膵癌に対する動体追尾強度変調放射線治療	取扱患者数	2
当該医療技術の概要			
動体追尾機能と強度変調放射線治療(IMRT)とを組み合わせた革新的な治療法であり、治療の難しかった局所進行膵癌に対して実施している。従来法と比較して治療強度を大きく高めつつ、周囲臓器への線量は低く抑えることが可能となった。			
医療技術名	前立腺癌に対する寡分割画像誘導強度変調放射線治療	取扱患者数	62
当該医療技術の概要			
前立腺癌に対して寡分割画像誘導強度変調放射線治療を適用することにより治療期間を約3週間と従来の半分以下に短縮することが可能となり、患者負担を軽減する治療である。			
医療技術名	前立腺癌に対する腫瘍内ブースト併用寡分割画像誘導強度変調放射線治療	取扱患者数	52
当該医療技術の概要			
前立腺癌への寡分割画像誘導強度変調放射線治療において、前立腺内の画像上指摘しうる病変へ同時ブースト法を用いて線量増加を行うことで、安全に病変部位の線量増加が可能となった。			
医療技術名	骨盤リンパ節転移を伴う前立腺癌への標的体積内同時ブースト併用全骨盤強度変調放射線治療	取扱患者数	5
当該医療技術の概要			
骨盤リンパ節転移を伴う前立腺癌に対し標的体積内同時ブースト併用全骨盤強度変調放射線治療を適応することにより、腸管などの正常臓器への線量を抑え、病変へ必要な線量を安全に投与することが可能になった。			

医療技術名	傍大動脈リンパ節転移を伴う前立腺癌への標的体積内同時ブースト併用全骨盤強度変調放射線治療	取扱患者数	3
当該医療技術の概要			
傍大動脈リンパ節転移を伴う前立腺癌に対し標的体積内同時ブースト併用強度変調放射線治療を適応することにより、腸管などの正常臓器への線量を抑え、傍大動脈から骨盤領域へ必要な線量を安全に投与することが可能になった。			
医療技術名	食道癌に対する強度変調放射線治療	取扱患者数	41
当該医療技術の概要			
食道癌に対して強度変調放射線治療を利用することで、従来は実現不能だった脊髄への線量を抑え、癌病巣に必要な線量を投与することが可能となった。			
医療技術名	肛門管癌に対する強度変調放射線治療	取扱患者数	3
当該医療技術の概要			
肛門管癌に対して強度変調放射線治療を利用することで、外陰部、膀胱、小腸への不要な高線量被曝を抑え、癌病巣へ必要な線量を投与することが可能となった。			
医療技術名	永久脱毛予防のVMAT併用全脳全脊髄照射	取扱患者数	2
当該医療技術の概要			
頭蓋内腫瘍に対して強度変調放射線治療を併用した全脳照射を用いることで、病巣への必要な線量を投与し、頭皮への不要な高線量被曝を抑え、従来の治療法と比べ頭髮の永久脱毛を予防することが可能となった。			
医療技術名	Dynamic WaveArc照射法	取扱患者数	88
当該医療技術の概要			
Vero4DRTではその構造上の特徴から、患者を動かすことなく非同一平面からの照射を用いた回転式の強度変調放射線治療を行うことが可能となり、病巣の周囲の正常臓器への線量を通常の回転式強度変調放射線治療よりも低減することが可能となった。			
医療技術名	下部直腸癌に対する強度変調放射線治療	取扱患者数	12
当該医療技術の概要			
下部直腸癌に対して強度変調放射線治療を利用することで、小腸、大腸への不要な高線量被曝を軽減し、原発巣と所属リンパ領域へ適切な線量を投与可能となった。			
医療技術名	多発脳転移に対するsingle isocenter volumetric-modulated arc radiosurgery	取扱患者数	31
当該医療技術の概要			
多発脳転移に対して強度変調放射線治療と定位放射線治療を併用することにより、短い治療時間で病巣に必要な線量を投与することが可能となった。			
医療技術名	コーンビームCT画像を用いた即時適応放射線治療	取扱患者数	5
当該医療技術の概要			
照射前のコーンビームCT画像とAIを用いて、日々変化する患者の解剖学的特徴、腫瘍の位置や形状変化に合わせ、放射線治療計画を最適化し、再治療計画を行う即時適応放射線治療を行うことにより、標的に確実に線量を投与し、正常臓器への照射も低減させることが可能になった。			
医療技術名	68Ga-DOTATOC-PET/CT検査	取扱患者数	11
当該医療技術の概要			
自家合成したPET製剤(68Ga-DOTATOC)を投与してPET/CTを撮像し、神経内分泌腫瘍の病巣検索やルタテラによる内照射治療の適否を決めるためのソマトスタチン受容体イメージングを行うものである。従来のオクトレオスキャンより診断精度が高く、ソマトスタチン受容体イメージングとしては欧米では本検査が主流であるが、本邦では本施設のみ施行している。			

医療技術名	10歳以下の小児もやもや病の治療	取扱患者数	6
当該医療技術の概要			
厳密な呼吸管理の元、10歳以下のもやもや病に対するカテーテル検査、バイパス手術を行う。			
医療技術名	小児てんかん手術	取扱患者数	1
当該医療技術の概要			
3歳以下のてんかんの診断、てんかんの外科手術を行う。			
医療技術名	propofolを用いたWADA test	取扱患者数	7
当該医療技術の概要			
頰動脈よりプロポフォルを投与し、優位半球となる言語、記憶機能半球を同定する。			
医療技術名	3歳以下の小児脳腫瘍に対する治療	取扱患者数	1
当該医療技術の概要			
3歳以下の脳腫瘍に対する診断、外科手術、化学療法を小児科と共同して行う。			
医療技術名	開頭経鼻内視鏡同時手術	取扱患者数	4
当該医療技術の概要			
頭蓋内外に進展する巨大頭蓋底腫瘍にたいして、開頭術と経鼻内視鏡手術を同時におこなう。単独手術と比較し、より安全な摘出と、より強固な頭蓋底再建が可能となる。			
医療技術名	自家培養表皮を用いた皮膚再建	取扱患者数	20
当該医療技術の概要			
先天性巨大色素性母斑患者に対し、母斑切除後の皮膚再建を自家培養表皮を用いて行う。			
医療技術名	母指多指症に対する併合法を用いた母指再建術	取扱患者数	25
当該医療技術の概要			
低形成な多指症組織を融合して健常と同等の母指を再建する手術。			
医療技術名	骨短縮症に対する骨延長術	取扱患者数	5
当該医療技術の概要			
創外固定器を用いて仮骨延長および骨延長および骨移植を行い、骨短縮症の骨を健常同等にする手術。			
医療技術名	唇裂患者に対する口唇形成手術	取扱患者数	30
当該医療技術の概要			
唇裂患者の初回口唇形成術ならびに術後変形に対して機能的、審美的な面に配慮して行う手術。			
医療技術名	口蓋裂患者に対する口蓋形成術	取扱患者数	20
当該医療技術の概要			
口蓋裂患者の鼻咽腔閉鎖機能改善を目的として筋層再建も併用した口蓋閉鎖手術。			

医療技術名	顎裂患者に対する顎裂骨移植手術	取扱患者数	20
当該医療技術の概要			
顎裂に対して骨移植を行い、その後の歯列矯正や顔貌改善を目的とした手術。			
医療技術名	唇裂患者に対する外鼻形成手術	取扱患者数	20
当該医療技術の概要			
唇裂を原因として発症した外鼻変形に対して自家組織を用いて機能および審美性を回復させる手術。			
医療技術名	凍結保存同種組織(ホモグラフト)を用いたRoss手術	取扱患者数	1
当該医療技術の概要			
挙児希望の若年女性・重症大動脈弁狭窄症に対する、Ross手術(自己肺動脈弁を大動脈弁位に、ホモグラフトを肺動脈弁位に移植する)。			
医療技術名	胸腔鏡下弁形成術	取扱患者数	2
当該医療技術の概要			
右小開胸下の僧帽弁形成術			
医療技術名	脳死肺移植	取扱患者数	21
当該医療技術の概要			
脳死片肺・両肺移植以外の特殊術式(左右反転・ハイブリッド移植)を用いた脳死肺移植も行っている。			
医療技術名	生体肺移植	取扱患者数	6
当該医療技術の概要			
小児から成人まで脳死肺移植に間に合わない末期呼吸不全患者に対する生体肺移植を行っている。			
医療技術名	薬理遺伝学的検査	取扱患者数	30
当該医療技術の概要			
医薬品の薬効や副作用の個人差の要因となる遺伝子多型を評価する薬理遺伝学的(ファーマコゲノミクス:PGx)検査			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	97
取扱い患者数の合計(人)	4627

(様式第2)

高度の医療の提供の実績等

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	6	56	ベーチェット病	117
2	筋萎縮性側索硬化症	51	57	特発性拡張型心筋症	71
3	脊髄性筋萎縮症	12	58	肥大型心筋症	17
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	24	60	再生不良性貧血	32
6	パーキンソン病	388	61	自己免疫性溶血性貧血	0
7	大脳皮質基底核変性症	9	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	5
8	ハンチントン病	3	63	特発性血小板減少性紫斑病	33
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	1
10	シャルコー・マリー・トウス病	2	65	原発性免疫不全症候群	31
11	重症筋無力症	126	66	IgA 腎症	64
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	39
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	70	68	黄色靱帯骨化症	3
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	18	69	後縦靱帯骨化症	59
15	封入体筋炎	3	70	広範脊柱管狭窄症	6
16	クロウ・深瀬症候群	1	71	特発性大腿骨頭壊死症	77
17	多系統萎縮症	40	72	下垂体性ADH分泌異常症	0
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	49	73	下垂体性TSH分泌亢進症	0
19	ライソゾーム病	4	74	下垂体性PRL分泌亢進症	0
20	副腎白質ジストロフィー	3	75	クッシング病	10
21	ミトコンドリア病	13	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	149	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	33
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	127
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	3	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	0
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	38	83	アジソン病	1
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	103
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	191
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	94
32	自己貪食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	36
34	神経線維腫症	43	89	リンパ管筋腫症	29
35	天疱瘡	19	90	網膜色素変性症	124
36	表皮水疱症	6	91	バッド・キアリ症候群	13
37	膿疱性乾癬(汎発型)	9	92	特発性門脈圧亢進症	3
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	2	93	原発性胆汁性肝硬変	78
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	31
40	高安動脈炎	81	95	自己免疫性肝炎	14
41	巨細胞性動脈炎	15	96	クローン病	179
42	結節性多発動脈炎	32	97	潰瘍性大腸炎	314
43	顕微鏡的多発血管炎	42	98	好酸球性消化管疾患	2
44	多発血管炎性肉芽腫症	15	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	3
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	35	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	42	101	腸管神経節細胞減少症	1
47	パージャール病	8	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	9	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	572	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	274	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	207	106	クリオピリン関連周期熱症候群	9
52	混合性結合組織病	68	107	若年性特発性関節炎	5
53	シェーグレン症候群	118	108	TNF受容体関連周期性症候群	1
54	成人スチル病	25	109	非典型性溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	28	110	ブラウ症候群	0

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	10
113	筋ジストロフィー	16	163	特発性後天性全身性無汗症	11
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	1	165	肥厚性皮膚骨膜炎	6
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	4
117	脊髄空洞症	0	167	マルファン症候群	18
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	4
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	4
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	1
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳	0	174	那須・ハコラ病	1
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん	0	175	ウィーバー症候群	0
126	性白質脳症	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	ペリー症候群	0	177	ジュベール症候群関連疾患	0
128	前頭側頭葉変性症	1	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	ピッカーstaff脳幹脳炎	1	179	ウィリアムズ症候群	0
130	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	180	ATR-X症候群	0
131	先天性無痛無汗症	0	181	クルーゾン症候群	0
132	アレキサンダー病	1	182	アペール症候群	0
133	先天性核上性球麻痺	0	183	ファイファー症候群	0
134	メビウス症候群	0	184	アントレー・ビクスラー症候群	0
135	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	アイカルディ症候群	0	186	ロスマンド・トムソン症候群	0
137	片側巨脳症	0	187	歌舞伎症候群	0
138	限局性皮質異形成	1	188	多脾症候群	0
139	神経細胞移動異常症	1	189	無脾症候群	0
140	先天性大脳白質形成不全症	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	ドラベ症候群	0	191	ウェルナー症候群	0
142	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	4	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー欠神てんかん	0	193	プラダー・ウィリ症候群	2
144	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	194	ソトス症候群	0
145	レノックス・ガストー症候群	1	195	ヌーナン症候群	0
146	ウエスト症候群	1	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	大田原症候群	0	197	1p36欠失症候群	0
148	早期ミオクロニー脳症	0	198	4p欠失症候群	0
149	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	199	5p欠失症候群	0
150	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	環状20番染色体症候群	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	ラスムッセン脳炎	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	PCDH19関連症候群	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	2	204	エマヌエル症候群	0
155	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	ランドウ・クレフナー症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	レット症候群	0	207	総動脈幹遺残症	1
158	スタージ・ウェーバー症候群	0	208	修正大血管転位症	2
159	結節性硬化症	5	209	完全大血管転位症	0
160	色素性乾皮症	1	210	単心室症	1
160	先天性魚鱗癬	1			

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	1	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	2	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	2	263	脳腱黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	1	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	4	266	家族性地中海熱	9
219	ギャロウェイ・モフト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	3	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	34	270	慢性再発性多発性骨髄炎	4
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	2	271	強直性脊椎炎	43
224	紫斑病性腎炎	3	272	進行性骨化性線維異形成症	5
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	1
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	3	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	4	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	1	276	軟骨無形成症	1
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	9	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	2
230	肺胞低換気症候群	2	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	1
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	1
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	1
235	副甲状腺機能低下症	1	283	後天性赤芽球癆	1
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンコニ貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	2	286	遺伝性鉄芽球性貧血	2
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	5
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸型)	0
244	メープルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	1	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	59
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	2
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膀胱炎	0
251	尿素サイクル異常症	4	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	29
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	1
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシャー症候群	1
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	2	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	33

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
307	カナパン病	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
308	進行性白質脳症	0	322	β -ケトチオラーゼ欠損症	0
309	進行性ミオクロームスてんかん	1	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
310	先天異常症候群	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	1
312	先天性僧帽弁狭窄症	1	326	大理石骨病	0
313	先天性肺静脈狭窄症	1	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	3
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	328	前眼部形成異常	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/LMX1B関連腎症	0	329	無虹彩症	0
316	カルニチン回路異常症	0	330	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症	0
317	三頭酵素欠損症	0	331	特発性多中心性キャスルマン病	20
318	シトリン欠損症	1	332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0	333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0	334	脳クレアチン欠乏症候群	0
			335	ネフロン癆	0
			336	家族性低 β リポタンパク血症1(ホモ接合体)	0
			337	ホモシスチン尿症	0
			338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	0

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	151
合計患者数(人)	5,030

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・情報通信機器を用いた診療	・患者サポート体制充実加算
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・重症患者初期支援充実加算
・歯科外来診療環境体制加算2	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・歯科診療特別対応連携加算	・ハイリスク妊娠管理加算
・特定機能病院入院基本料(一般病棟)7対1入院基本料	・ハイリスク分娩管理加算
・特定機能病院入院基本料(結核病棟)7対1入院基本料	・精神科救急搬送患者地域連携紹介加算
・救急医療管理加算	・後発医薬品使用体制加算2
・超急性期脳卒中加算	・病棟薬剤業務実施加算1
・診療録管理体制加算1	・病棟薬剤業務実施加算2
・医師事務作業補助体制加算2(20対1)	・データ提出加算2イ・4イ
・急性期看護補助体制加算(25対1 看護補助者5割以上)	・入退院支援加算1
・看護職員夜間配置加算(12対1配置加算1 イ1)	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・看護補助加算1	・精神疾患診療体制加算
・療養環境加算	・精神科急性期医師配置加算2のロ
・重症者等療養環境特別加算	・地域医療体制確保加算
・無菌治療室管理加算1	・特定集中治療室管理料2
・無菌治療室管理加算2	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・放射線治療病室治療管理加算(治療用放射性同位元素による場合)	・新生児特定集中治療室管理料1
・緩和ケア診療加算	・総合周産期特定集中治療室管理料
・精神科応急入院施設管理加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・精神科身体合併症管理加算	・小児入院医療管理料2
・精神科リエゾンチーム加算	・精神科急性期治療病棟入院料1
・摂食障害入院医療管理加算	・短期滞在手術等基本料1
・栄養サポートチーム加算	・看護職員処遇改善評価料
・医療安全対策加算1	
・感染対策向上加算1	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・連携充実加算
・外来栄養食事指導料の注2	・ニコチン依存症管理料
・外来栄養食事指導料の注3	・療養・就労両立支援指導料の注3に掲げる相談支援加算
・糖尿病合併症管理料	・がん治療連携計画策定料
・がん性疼痛緩和指導管理料	・ハイリスク妊産婦連携指導料1
・がん患者指導管理料イ	・ハイリスク妊産婦連携指導料2
・がん患者指導管理料ロ	・肝炎インターフェロン治療計画料
・がん患者指導管理料ハ	・こころの連携指導料(Ⅱ)
・がん患者指導管理料ニ	・薬剤管理指導料
・外来緩和ケア管理料	・医療機器安全管理料1
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・医療機器安全管理料2
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・精神科退院時共同指導料2
・糖尿病透析予防指導管理料	・歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び 歯科治療時医療管理料
・小児運動器疾患指導管理料	・在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に掲げる遠隔モニタリング加算
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料
・婦人科特定疾患治療管理料	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・腎代替療法指導管理料	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する 持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース 測定
・一般不妊治療管理料	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しな い持続血糖測定器を用いる場合)
・生殖補助医療管理料1	・遺伝学的検査
・二次性骨折予防継続管理料1	・染色体検査の注2
・二次性骨折予防継続管理料3	・骨髄微小残存病変量測定
・下肢創傷処置管理料	・BRCA1/2遺伝子検査
・院内トリアージ実施料	・がんゲノムプロファイリング検査
・夜間休日救急搬送医学管理料の注3に掲げる救急搬送看護体制加算1	・先天性代謝異常症検査
・外来放射線照射診療料	・抗アデノ随伴ウイルス9型(AAV9)抗体
・外来腫瘍化学療法診療料1	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体 特異性同定検査)

施設基準の種類	施設基準の種類
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・画像診断管理加算3
・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出	・ポジトロン断層撮影
・検体検査管理加算(Ⅰ)	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
・検体検査管理加算(Ⅳ)	・ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影
・国際標準検査管理加算	・乳房用ポジトロン断層撮影
・遺伝カウンセリング加算	・CT撮影及びMRI撮影
・遺伝性腫瘍カウンセリング加算	・冠動脈CT撮影加算
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・血流予備量比コンピューター断層撮影
・時間内歩行試験及びシヤトルウォーキングテスト	・心臓MRI撮影加算
・胎児心エコー法	・乳房MRI撮影加算
・ヘッドアップティルト試験	・小児鎮静下MRI撮影加算
・長期継続頭蓋内脳波検査	・頭部MRI撮影加算
・長期脳波ビデオ同時記録検査1	・全身MRI撮影加算
・脳磁図(自発活動を測定するもの)	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・脳磁図(その他のもの)	・外来化学療法加算1
・脳波検査判断料1	・無菌製剤処理料
・神経学的検査	・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
・補聴器適合検査	・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
・全視野精密網膜電図	・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
・ロービジョン検査判断料	・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
・コンタクトレンズ検査料1	・摂食機能療法の注3に規定する摂食嚥下機能回復体制加算1
・小児食物アレルギー負荷検査	・がん患者リハビリテーション料
・内服・点滴誘発試験	・歯科口腔リハビリテーション料2
・前立腺針生検法(MRI撮影及び超音波検査融合画像によるもの)	・療養生活継続支援加算
・経気管支凍結生検法	・認知療法・認知行動療法1
・精密触覚機能検査	・精神科作業療法

施設基準の種類	施設基準の種類
・精神科ショート・ケア「大規模なもの」	・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術
・精神科ショート・ケア「小規模なもの」	・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・精神科デイ・ケア「大規模なもの」	・頭蓋内電極植込術(脳深部電極によるもの(7本以上の電極による場合)に限る。)
・精神科デイ・ケア「小規模なもの」	・角結膜悪性腫瘍切除手術
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・医療保護入院等診療料	・緑内障手術(緑内障手術(流出路再建術(眼内法))及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
・人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)	・緑内障手術(濾過胞再建術(needling法))
・導入期加算3及び腎代替療法実績加算	・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
・透析液水質確保加算2、慢性維持透析濾過加算	・網膜再建術
・難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス治療	・経外耳道的内視鏡下鼓室形成術
・移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法	・人工中耳植込術
・CAD/CAM冠及びCAD/CAM冠インレー	・植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・歯科技工加算1及び2	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うもの)
・処置の休日加算1、時間外加算1及び深夜加算1(医科)	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
・皮膚悪性腫瘍切除術(センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)	・内喉頭筋内注入術(ボツリヌス毒素によるもの)
・皮膚移植術(死体)	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・自家脂肪注入	・喉頭形成手術(甲状軟骨固定用器具を用いたもの)
・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)
・四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算	・内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下パセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)、内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(同種骨移植(非生体)(同種骨移植(特殊なものに限る。)))	・内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・頭頸部悪性腫瘍光線力学療法
・後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)	・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
・椎間板内酵素注入療法	・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
・腫瘍脊椎骨全摘術	・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術	・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

施設基準の種類	施設基準の種類
・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)	・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合)	・補助人工心臓
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・植込型補助人工心臓(非拍動流型)
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)	・経皮的下肢動脈形成術
・同種死体肺移植術	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(後腹膜)
・生体部分肺移植術	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)
・縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・内視鏡的逆流防止粘膜切除術
・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、等	・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・腹腔鏡下胃切除術(単純切除術)(内視鏡手術用支援機器を用いる)及び腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術)(内視鏡手術用支援機器を用いる)
・胸腔鏡下弁形成術	・腹腔鏡下噴門測胃切除術(単純切除術)(内視鏡手術用支援機器を用いる)及び腹腔鏡下噴門測胃切除術(悪性腫瘍手術)(内視鏡手術用支援機器を用いる)
・胸腔鏡下弁置換術	・腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術)(内視鏡手術用支援機器を用いる)及び腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術)(内視鏡手術用支援機器を用いる)
・経カテーテル弁置換術(経心尖大動脈弁置換術及び経皮的大動脈弁置換術)	・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
・経皮的僧帽弁クリップ術	・腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)
・不整脈手術 左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)	・胆嚢悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・経皮的中隔心筋焼灼術	・腹腔鏡下肝切除術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・移植用部分肝採取術(生体)(腹腔鏡によるもの)
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)	・生体部分肝移植術
・両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)	・同種死体肝移植術
・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)	・腹腔鏡下腓腫瘍摘出術
・植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)	・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術	・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)	・腹腔鏡下腓頭部腫瘍切除術

施設基準の種類	施設基準の種類
・腹腔鏡下膝頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・同種死体膝移植術、同種死体膝腎移植術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・同種死体膝島移植術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
・生体部分小腸移植術	・腹腔鏡下子宮癒痕部修復術
・同種死体小腸移植術	・胎児胸腔・羊水腔シャント術
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・胎児輸血術及び臍帯穿刺
・内視鏡的小腸ポリープ切除術	・体外式膜型人工肺管理料
・腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・手術の休日加算1, 時間外加算1及び深夜加算1
・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
・腹腔鏡下副腎摘出手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下副腎髓質腫瘍摘出手術(褐色細胞腫)(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)
・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)、腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・輸血管理料 I
・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・コーディネート体制充実加算
・同種死体腎移植術	・同種クリオプレシピテート作製術
・生体腎移植術	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・膀胱水圧拡張術、ハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道的)	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・凍結保存同種組織加算
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・人工尿道括約筋植込・置換術	・麻酔管理料 (I)
・膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)、埋没陰茎手術、陰嚢水腫手術(鼠径部切開によるもの)	・麻酔管理料 (II)
・精巣内精子採取術	・放射線治療専任加算
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	・外来放射線治療加算
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・高エネルギー放射線治療
・腹腔鏡下仙骨腫固定術	・1回線量増加加算
・腹腔鏡下仙骨腫固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・強度変調放射線治療 (IMRT)
・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・画像誘導放射線治療 (IGRT)

施設基準の種類	施設基準の種類
・体外照射呼吸性移動対策加算	
・定位放射線治療	
・定位放射線治療呼吸性移動対策加算	
・画像誘導密封小線源治療加算	
・保険医療機関間の連携による病理診断	
・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製	
・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅速細胞診	
・病理診断管理加算2	
・悪性腫瘍病理組織標本加算	
・クラウン・ブリッジ維持管理料	
・歯科矯正診断料	
・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・ LDLアフェレシス療法	・
・ MRI撮影及び超音波検査融合画像に基づく前立腺針生検法	・
・ 流産検体を用いた染色体検査	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	18 件	
剖 検 の 状 況	剖検症例数(例)	23
	剖検率(%)	7.23

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
(HIV感染者等保健福祉相談事業) HIV感染者等保健福祉相談事業	高折 晃史	血液内科	675,000	補 委○	公益財団法人 エイズ予防財 団 理事長
中分子アゴニスト創薬のロジカルデザイン～OX40アゴニスト開発を実施例として～	高折 晃史	血液内科	12,000,000	補 委○	国立研究開発 法人 日本医 療研究開発機 構 契約担当 職 理事長
アルパカVHH抗体技術を用いたHIV-1感染症の抗体製剤及びCAR-T療法の開発	高折 晃史	血液内科	18,000,000	補 委○	国立研究開発 法人 日本医 療研究開発機 構 契約担当 職 理事長
末梢血循環non-coding RNAを用いた白血病早期診断法・微小病変評価法の開発	阪本 貴士	血液内科	13,000,000	補 委○	国立研究開発 法人 日本医 療研究開発機 構 契約担当 職 理事長
再発/治療抵抗性二次性中枢神経系リンパ腫に対するチラブルチニブ単剤療法の有効性と安全性を評価する第II相医師主導治験(治験実施計画書番号:NCCH2201/MK013)	有馬 浩史	血液内科	505,000	補 委○	国立研究開発 法人国立がん 研究センター 理事長
希少造血器腫瘍に対する遺伝子プロファイリングと標的治療に関する前向きレジストリ臨床研究(MASTER KEY Project:NCCH-1812)	諫田 淳也	血液内科	1,700,000	補 委○	国立研究開発 法人国立がん 研究センター 理事長
HLAエピトープ多型に基づく臓器移植のテーラーメイド医療開発に資する研究	進藤 岳郎	血液内科	14,950,000	補 委○	国立研究開発 法人 日本医 療研究開発機 構 契約担当 職 理事長
公衆衛生危機管理上重要な新興再興ウイルス感染症を対象としたコンソーシアム研究の発展的展開	白川 康太郎	血液内科	13,000,000	補 委○	国立大学法人 東京大学 総 長 代理人 医科学研究所 事務部長
網羅的なHLA及び臨床情報の機械学習による同種移植の国際標準予後予測アルゴリズム	諫田 淳也	血液内科	1,430,000	補○ 委	文部科学省

新規エピゲノム修飾薬のB細胞リンパ腫に対する奏効予測モデルの確立とその治療応用	錦織 桃子	血液内科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
非定型3q26転座型骨髄性腫瘍のEVI1エピジェネティック制御機構解明と治療応用	蝶名林 和久	血液内科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
IDH1-NPM1変異急性骨髄性白血病マウスを用いた化学療法抵抗性獲得機序の解明	阪本 貴士	血液内科	780,000	補○ 委	文部科学省
CRISPRスクリーンを用いたHIV-1潜伏感染分子メカニズムの解析	白川 康太郎	血液内科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
正常妊娠維持および不育症におけるスフィンゴ脂質代謝の役割の解明	水岸 貴代美	血液内科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
アンサンブル学習及び公開データベースを用いた造血幹細胞移植予後予測モデルの開発	岩崎 惇	血液内科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
食によるヘルスケア産業創出コンソーシアム「食を通じた健康システムの確立による健康寿命の延伸への貢献」	稲垣 暢也	糖尿病・内分泌・栄養内科	5,238,000	補 委○	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 理事長
2型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療とのランダム化比較試験(J-DOIT3)	稲垣 暢也	糖尿病・内分泌・栄養内科	200,000	補 委○	公益財団法人 日本糖尿病財団 理事長
食事療法の計画・実行支援AIプログラムによりPHR・EHRを糖尿病重症化予防医療に活用する仕組みの研究開発	稲垣 暢也	糖尿病・内分泌・栄養内科	29,900,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当 職 理事長
日米医学協力計画を基軸にしたアジアの栄養・代謝に関する疫学・介入研究と人材育成	稲垣 暢也	糖尿病・内分泌・栄養内科	6,200,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当 職 理事長

日本人の糖尿病・肥満症発症予防に対する褐色脂肪組織の役割および制御因子の解明	稲垣 暢也	糖尿病・内分泌・栄養内科	9,997,000	補委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当 職 理事長
テトラヒドロビオプテリンを用いた褐色脂肪重量の制御による肥満・糖尿病予防法の開発	藤田 義人	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,430,000	補委○	文部科学省
ヒト疾患iPS細胞を利用した膵・腸管異常症の解明と再生医療への応用	藤倉 純二	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,430,000	補委○	文部科学省
単一遺伝子異常による糖尿病の新規発症原因遺伝子同定	田中 大祐	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,430,000	補委○	文部科学省
非侵襲的中枢神経系GLP-1受容体定量法の開発とその発現量変化の病的意義の解明	村上 隆亮	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,560,000	補委○	文部科学省
細胞老化の誘導する非細胞自律的な代謝・炎症制御機構の解明	三河 拓己	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,560,000	補委○	文部科学省
ヒトES/iPS細胞を用いた副腎皮質・血管分化機構の解明および内分泌学的解析	田浦 大輔	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,690,000	補委○	文部科学省
電位依存性Ca ²⁺ チャネル $\alpha 2\delta$ サブユニットを介したGLP-1分泌制御機構の解明	山根 俊介	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,300,000	補委○	文部科学省
腸管に発現する脂肪酸受容体の機能解析	原田 範雄	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,690,000	補委○	文部科学省
ヨード輸送体ペンドリンは甲状腺機能亢進症の治療標的となるか	山内 一郎	糖尿病・内分泌・栄養内科	2,210,000	補委○	文部科学省

小胞体ストレス応答を介した成体膵β細胞増殖分子機構の解明	村上 隆亮	糖尿病・内分泌・栄養内科	2,340,000	補○ 委	文部科学省
遺伝子タイプによらない新たな筋ジストロフィー治療薬の開発	尾野 亘	循環器内科	13,000,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当 職 理事長
マイクロRNAと心血管疾患に関する基礎的・臨床的研究	尾野 亘	循環器内科	5,000,000	補 委○	独立行政法人 国立病院機構 京都医療センター 院長
損傷心筋の再生を機序とする心筋梗塞後心不全抑制薬の探索	芦田 昇	循環器内科	15,000,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当 職 理事長
肺動脈性肺高血圧症に対する治療薬としての TRP C3/6阻害薬L862の有効性についての治験準備	中川 靖章	循環器内科	13,000,000	補 委○	国立大学法人 信州大学 分 任契約担当役 理事
心臓および全身の飢餓応答としての心不全	加藤 貴雄	循環器内科	130,000	補○ 委	文部科学省
ATP保持作用を有した新規化合物による心不全治療法の開発	渡邊 真	循環器内科	780,000	補○ 委	文部科学省
コレステロールにより制御される長鎖非コードRNAの機能解析とその臨床応用	堀江 貴裕	循環器内科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
ディープラーニングを用いた非造影CTからの臓器抽出最適化手法の確立	静田 聡	循環器内科	2,080,000	補○ 委	文部科学省
非心筋細胞における炎症シグナルをターゲットとした心筋炎新規治療法の開発	芦田 昇	循環器内科	1,430,000	補○ 委	文部科学省

三量体Gタンパク質を介した心不全進展の新規発症機序の解明と治療法の開発	稲住 英明	循環器内科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
静脈血栓塞栓症患者の診療実態と予後を検討する多施設共同観察研究	山下 侑吾	循環器内科	260,000	補○ 委	文部科学省
長鎖非コードRNAの循環器疾患における機能解明と疾患治療への応用	尾野 亘	循環器内科	5,590,000	補○ 委	文部科学省
心不全におけるBNP、ANP前駆体の分泌調節不全の機序解明と新規治療法の開発	中川 靖章	循環器内科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
In vitro変異体スクリーニングによる遺伝的要因の検討法の確立	中島 康弘	循環器内科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
肺動脈性肺高血圧症におけるTRPC6, CNP経路の研究	木下 秀之	循環器内科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
冠動脈プラークのOCT画像をAIで解析を行い長期臨床成績を予測する研究	山地 杏平	循環器内科	2,470,000	補○ 委	文部科学省
慢性冠症候群患者に対するアスピリンの有効性および制酸剤の消化管出血予防効果の検討	山本 絵里香	循環器内科	3,640,000	補○ 委	文部科学省
心臓線維芽細胞のNLRP3インフラマソームが心臓の炎症を惹起する機序の解明	棚田 洋平	循環器内科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
膵臓がん、胆道がんモデル評価系の構築(2020-A-6)	福田 晃久	消化器内科	500,000	補 委○	国立研究開発法人 国立がん研究センター 理事長

患者生体試料リソースプラットフォームの構築と運用	妹尾 浩	消化器内科	30,000,100	補 委○	国立研究開発法人科学技術振興機構 分任研究契約担当者 契約部長
肝外胆道がん、胆嚢がんの自然史に沿った網羅的解析と治療標的の検討	妹尾 浩	消化器内科	13,000,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当 職 理事長
肝発がん等を考慮したC型肝炎治療後の病態および経過に関する研究	高井 淳	消化器内科	1,300,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当 職 理事長
抗インテグリン $\alpha V\beta 6$ 自己抗体測定による潰瘍性大腸炎の診断・病勢評価のエビデンス創出研究	塩川 雅広	消化器内科	11,655,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当 職 理事長
新規吸着カラムの開発	塩川 雅広	消化器内科	67,535,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当 職 理事長
次世代シーケンス技術を基盤としたC型肝炎ウイルス排除後における肝癌出現機序・病態変化の解明とバイオマーカーの開発	高井 淳	消化器内科	910,000	補 委○	国立大学法人 山梨大学
DNA修復異常を有する肝細胞癌の発生機序と免疫チェックポイント阻害治療反応性	恵荘 裕嗣	消化器内科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
超初期段階から引き返す膵発がん予防戦略の探求	妹尾 浩	消化器内科	2,600,000	補○ 委	文部科学省
胃粘膜の恒常性維持におけるDNAメチル化制御の役割と発癌への関与	清水 孝洋	消化器内科	2,470,000	補○ 委	文部科学省
異なる経路での腸腫瘍発生におけるクロマチンリモデリング因子の機能的役割の解明	林 由紀子 (平松由紀子)	消化器内科	1,820,000	補○ 委	文部科学省

肝内胆管癌の形成におけるHes1の機能解析および肝内胆管癌の新規治療法の開発	松森 友昭	消化器内科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
膵がんにおける術前in situワクチン療法の開発	岡田 浩和	消化器内科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
浸潤性膵癌形成後の維持・進行におけるクロマチン制御因子の機能とその分子機構の解明	福田 晃久	消化器内科	4,160,000	補○ 委	文部科学省
分化の揺らぎを克服する新規大腸がん治療戦略の構築	妹尾 浩	消化器内科	5,980,000	補○ 委	文部科学省
自己免疫性膵炎の抗原同定	塩川 雅広	消化器内科	5,070,000	補○ 委	文部科学省
ハイブリッド療法による大腸がん治療抵抗性メカニズムの克服	中西 祐貴	消化器内科	4,420,000	補○ 委	文部科学省
炎症性肝発癌過程におけるDNA脱メチル化酵素の機能的役割と分子機序の解明	高井 淳	消化器内科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
胆膵癌のインテグリン α V β 6を標的とした光免疫療法を用いた新規がん免疫療法の確立	宇座 徳光	消化器内科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
未分化型胃癌の腫瘍内heterogeneityを考慮した遺伝子解析研究	二階堂 光洋	消化器内科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
鉄動態異常の是正効果に基づくHinokitiolの炎症性腸疾患への治療応用の試み	北本 博規	消化器内科	1,430,000	補○ 委	文部科学省

診療報酬明細書を用いた大腸がんの進行度別の医療費の検討	内海 貴裕	消化器内科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
ヒトiPS細胞を用いた呼吸器難病の病態機序の解明と新規創薬基盤の確立	平井 豊博	呼吸器内科	86,400,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当 職 理事長
新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)肺炎に対するPAI-1阻害薬TM5614のプラセボ対照二重盲検第II相医師主導治験	平井 豊博	呼吸器内科	9,100,000	補 委○	国立大学法人 東北大学 病 院長
気道・肺泡オルガノイドの作製と呼吸器チップの開発	後藤 慎平	呼吸器内科	13,000,000	補 委○	国立研究開発法人科学技術振興機構 分 任研究契約担 当者 契約部 長
脳内微小環境と癌細胞の相互作用を解明する異分野融合的解析法	小笹 裕晃	呼吸器内科	6,370,000	補 委○	国立大学法人 東海国立大学 機構 機構長
難治性呼吸器疾患・肺高血圧症に関する調査研究	平井 豊博	呼吸器内科	14,570,000	補○ 委	厚生労働省
生体肺移植におけるドナー、レシピエントの末梢血テロメア長と慢性移植肺機能不全	半田 知宏	呼吸器内科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
喘息において、酸化ストレスは2型炎症とどう関わっているのか	長崎 忠雄	呼吸器内科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
IPFにおける末梢気道の形態及び機能変化が病態に及ぼす影響の検討	池添 浩平	呼吸器内科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
ヒト未分化細胞から誘導した肺上皮細胞のメッシュ上培養を用いた感染症研究への展開	伊藤 功朗	呼吸器内科	3,900,000	補○ 委	文部科学省

免疫学的恒常性の破綻と肺気腫フェノタイプの形成機序の解明	田辺 直也	呼吸器内科	1,430,000	補 委○	文部科学省
進行性線維化を伴う間質性肺疾患における新規臨床指標の開発と治療標的の探索	谷澤 公伸	呼吸器内科	780,000	補 委○	文部科学省
特発性肺線維症における単球・マクロファージの疾患特異的サブタイプの検討	池添 浩平	呼吸器内科	1,430,000	補 委○	文部科学省
老化に伴いⅡ型肺胞上皮細胞に発現するCideaの機能解析	三河 隆太	呼吸器内科	2,080,000	補 委○	文部科学省
先天的／後天的構造多型に着目した免疫／精神疾患病態解明に関する研究開発	森信 暁雄	免疫・膠原病内科	2,600,000	補 委○	国立研究開発法人理化学研究所 契約担当役 外部資金室長
免疫担当細胞eQTLデータを用いた免疫介在性疾患ゲノム情報からの層別化および予後予測モデルの構築	森信 暁雄	免疫・膠原病内科	390,000	補 委○	国立大学法人 東京大学 総長 代理人 医学部附属病院 事務部長
自己免疫性疾患の臓器病変局所におけるシングルセルRNAシーケンスを用いたマルチオミックス解析による病態解明基盤の構築	森信 暁雄	免疫・膠原病内科	130,000	補 委○	国立大学法人 東京大学 総長 代理人 医学部附属病院 事務部長
シングルセル統合ゲノム解析が解き明かす強皮症の病態基盤の開発	吉藤 元	免疫・膠原病内科	3,250,000	補 委○	国立研究開発法人理化学研究所 契約担当役 外部資金室長
高齢発症関節リウマチ患者の健康寿命延伸を目指した治療戦略の確立	森信 暁雄	免疫・膠原病内科	520,000	補 委○	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 理事長 荒井 秀典
核内受容体NR4Aを標的とした全身性エリテマトーデスの治療開発	日和 良介	免疫・膠原病内科	6,500,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当 職 理事長

IgG4関連疾患モデル「ヒトIgG4ノックインマウス」の改良と各薬剤の有効性検討	吉藤 元	免疫・膠原病内科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
自己免疫疾患におけるホスホリパーゼD4の臨床応用の探索	秋月 修治	免疫・膠原病内科	1,170,000	補○ 委	文部科学省
全身性エリテマトーデスにおける自己反応性の獲得とS100分子の関連	北郡 宏次	免疫・膠原病内科	2,080,000	補○ 委	文部科学省
全身性エリテマトーデスの抗DNA抗体とHLAクラスIIの関連性についての研究	辻 英輝	免疫・膠原病内科	2,080,000	補○ 委	文部科学省
抗MDA5抗体陽性皮膚筋炎合併間質性肺炎モデルマウスの構築と病態機序の探究	中嶋 蘭 (笹井蘭)	免疫・膠原病内科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
核内受容体NR4Aの低分子アゴニストによる自己免疫疾患の治療効果についての研究	日和 良介	免疫・膠原病内科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
全身性エリテマトーデスにおける胸腺-腸管-迷走神経-脾臓ネットワークの解明	白柏 魅怜	免疫・膠原病内科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
パーキンソン病発症前から発症後に連続する神経回路病態の解明とトランスレータブル指標の開発	高橋 良輔	脳神経内科	157,144,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当 職 理事長
DAT-SPECT、神経学的診察、認知機能等の心理評価、MRIデータの収集、解析	高橋 良輔	脳神経内科	313,300	補 委○	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 理事長
臓器連関の包括的理解に基づく認知症関連疾患の克服に向けて	高橋 良輔	脳神経内科	23,999,300	補 委○	国立研究開発法人科学技術振興機構 分任研究契約担当者 契約部長

「世界モデルとなる自律成長型人材・技術を育む総合健康産業都市拠点」に関する京都大学による研究開発及びプロジェクト推進	高橋 良輔	脳神経内科	9,999,600	補 委○	国立研究開発法人科学技術振興機構 分任研究契約担当者 契約部長
パーキンソン病発症予防のための運動症状発症前biomarkerの特定のための研究(The Japan Parkinson's Progression Markers Initiative(通称:J-PPMI))	高橋 良輔	脳神経内科	312,000	補 委○	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 理事長
パーキンソン病前駆期モデル動物を活用した臓器間ネットワークの解明とヒトへのトランスレーションによるリスク予見法の創出	山門 穂高	脳神経内科	93,600,000	補 委○	国立研究開発法人科学技術振興機構 分任研究契約担当者 契約部長
神経グリア血管単位ーリンパ管系に着目した血管性認知症および混合型認知症における臓器間ネットワークの解明とヒトへのトランスレーションによるリスク予見法の創出	眞木 崇州	脳神経内科	111,800,000	補 委○	国立研究開発法人科学技術振興機構 分任研究契約担当者 契約部長
脳梗塞におけるオリゴデンドロサイト前駆細胞の形質変化解明と治療応用	眞木 崇州	脳神経内科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
レビー小体病に対するREM睡眠制御治療法の確立	江川 斉宏	脳神経内科	910,000	補○ 委	文部科学省
シナプス小胞蛋白SV2BとBACE1の新規結合に着目したアルツハイマー病創薬研究	葛谷 聡	脳神経内科	520,000	補○ 委	文部科学省
細胞種特異的リボソーム・エクソソームが切り拓く神経疾患の病態解明と治療法開発	山門 穂高	脳神経内科	1,950,000	補○ 委	文部科学省
独自のパーキンソン病前駆期モデルマウスを用いたドパミン神経細胞変性機序の解明	生野 真嗣	脳神経内科	2,340,000	補○ 委	文部科学省

非拮抗型AMPA受容体阻害薬ペランパネルによるアルツハイマー病の病態改善	上田 紗希帆	脳神経内科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
パーキンソン病における α シヌクレイン進展経路の新たな探索	田口 智之	脳神経内科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
多系統萎縮症におけるオリゴデンドロサイト特異的 α シヌクレイン凝集メカニズムの解明	石本 智之	脳神経内科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
パーキンソン病関連疾患のモデル作製と治療薬開発	山門 穂高	脳神経内科	4,030,000	補○ 委	文部科学省
前駆期パーキンソン病をターゲットとした病態解明と疾患修飾療法の開発	高橋 良輔	脳神経内科	12,220,000	補○ 委	文部科学省
α シヌクレインと鉄代謝異常に着目した多系統萎縮症の分子病態解明	大野 美樹	脳神経内科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
側頭葉における漢字処理の機能解剖連関の解明	下竹 昭寛	脳神経内科	1,820,000	補○ 委	文部科学省
ネクロトーシスの制御による新たなパーキンソン病治療の可能性	中西 悦郎	脳神経内科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
パーキンソン病における新たな免疫治療の開発	田口 智之	脳神経内科	2,340,000	補○ 委	文部科学省

広帯域皮質脳波の定量化によるてんかん焦点のバイオマーカーの開発	小林 勝哉	脳神経内科	2,080,000	補○ 委	文部科学省
パーキンソン病の α シヌクレイン伝播におけるカルシウムダイナミクスの重要性	上田 潤	脳神経内科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
脳波・筋電図同時記録によるBAFMEの病態解明および新規バイオマーカーの模索	戸島 麻耶	脳神経内科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
腎臓病において組織障害と修復を制御する微小環境の解明と医学応用	柳田 素子	腎臓内科	91,269,187	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当 職 理事長
炎症誘発細胞除去による100歳を目指した健康寿命延伸医療の実現	柳田 素子	腎臓内科	79,300,000	補 委○	国立大学法人 東京大学 総長 代理人 医科学研究所 事務部長
ヒト腎臓病における3次リンパ組織の役割の解明と治療介入対象としての蓋然性の検討	柳田 素子	腎臓内科	26,962,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当 職 理事長
慢性腎臓病進展における心腎連関の機序解明	横井 秀基	腎臓内科	1,040,000	補○ 委	文部科学省
体温が決定するエネルギー代謝と障害応答性: 冬眠に学ぶ	柳田 素子	腎臓内科	2,600,000	補○ 委	文部科学省
エネルギー代謝ダイナミクスからみた腎臓病の病態解明と薬剤スクリーニング法の確立	山本 伸也	腎臓内科	1,820,000	補○ 委	文部科学省
腎疾患におけるmiR-23bの意義の解明	大野 祥子	腎臓内科	1,820,000	補○ 委	文部科学省

腎構成細胞「亜集団」の細胞老化が腎臓の老化と障害応答性に与える影響の解明	柳田 素子	腎臓内科	5,070,000	補○ 委	文部科学省
糸球体内皮細胞に発現するナトリウム利尿ペプチドの慢性腎臓病進展抑制における意義	石井 輝	腎臓内科	1,950,000	補○ 委	文部科学省
免疫チェックポイント阻害薬に関連した腎障害における三次リンパ節の機能解析	松原 雄	腎臓内科	2,730,000	補○ 委	文部科学省
難治性食道癌におけるPrecision Medicineに資する診断技術開発に関する研究	武藤 学	腫瘍内科	34,450,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当 職 理事長
消化管内視鏡を用いた治療における標準治療確立のための多施設共同研究(2020-J-3)	武藤 学	腫瘍内科	1,000,000	補 委○	国立研究開発法人 国立がん研究センター 理事長
ゲノム医療実現推進のためのバイオバンク利活用促進に向けたバイオバンク・ネットワーク構築と運用支援に関する研究開発	武藤 学	腫瘍内科	3,900,000	補 委○	国立大学法人 東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 機構長
切除不能進行がんおよび転移・再発固形がん患者に対するElectronic Patient-Reported Outcome (ePRO) モニタリングの有用性を検証する多施設共同非盲検ランダム化比較試験 [研究名略称:PRO-MOTE]	川口 展子	腫瘍内科	110,000	補 委○	公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター 理事長
電子カルテと連携した薬液バッグの遠隔自動切り換え装置の開発	金井 雅史	腫瘍内科	19,500,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当 職 理事長
ALK遺伝子異常を有する希少がんに対するアレクチニブの医師主導治験	金井 雅史	腫瘍内科	400,000	補 委○	国立がん研究センター 理事長
現場や地域の実情に即したがん治療と並行する緩和ケアの実装の推進に関する研究	武藤 学	腫瘍内科	11,960,000	補○ 委	厚生労働省

放射線療法、化学療法に伴い正常食道上皮に生じるゲノム異常の解明	横山 顕礼	腫瘍内科	2,210,000	補○ 委	文部科学省
KRASの超生理的活性化を標的としたKRAS増幅胃癌フェロトーシス誘導療法の開発	菊池 理	腫瘍内科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
アセトアルデヒド曝露により誘発される突然変異パターンの同定	玉置 将司	腫瘍内科	780,000	補○ 委	文部科学省
乳癌臨床検体を用いたホルモン治療耐性メカニズムの解明	川口 展子	腫瘍内科	390,000	補○ 委	文部科学省
食道がん化における初期のゲノム異常の解明-多発ヨード不染の網羅的ゲノム解析-	横山 顕礼	腫瘍内科	4,160,000	補○ 委	文部科学省
大腸前がん病変におけるSpheroid増殖能の意義とメカニズムの解明	山田 敦	腫瘍内科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
トリフルリジンとWee1阻害による食道扁平上皮癌に対する新たな治療戦略の確立	大橋 真也	腫瘍内科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
CDKN3阻害剤による大腸癌の抗癌薬治療耐性機序の克服と新規治療法開発	松原 淳一	腫瘍内科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
切除不能または再発食道癌に対するCF(シスプラチン+5FU)療法とbDCF(biweeklyドセタキセル+CF)療法のランダム化第III相比較試験	角田 茂	消化管外科	325,000	補 委○	静岡県立静岡がんセンター 局長
切除不能局所進行食道癌に対する標準治療確立のための研究	角田 茂	消化管外科	130,000	補 委○	国立研究開発法人 国立がん研究センター 理事長
人工肛門患者の社会復帰に貢献する高機能排便制御デバイスの開発	小瀨 和貴	消化管外科	3,340,000	補 委○	国立大学法人 大阪大学

胃癌腹膜播種進行のメカニズム解明	久森 重夫	消化管外科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
大腸癌肝転移における腫瘍微小環境での好中球の機能・動態解明	板谷 喜朗	消化管外科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
個別化治療に向けた大腸癌StageIV根治術症例のctDNAバイオマーカーの探索	岡村 亮輔	消化管外科	1,170,000	補○ 委	文部科学省
血漿細胞外小胞体タンパク質のがん予後予測因子としての検証	笠原 桂子	消化管外科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
大腸癌患者由来癌細胞ライブラリーを用いた癌幹細胞性の可塑性に関する研究	前川 久継	消化管外科	910,000	補○ 委	文部科学省
食道腺癌の発癌促進作用がある菌の同定とその発癌促進機構の解明	奥村 慎太郎	消化管外科	2,470,000	補○ 委	文部科学省
がん細胞の熱エネルギー代謝－熱代謝治療法の開発－	川島 雅央	乳腺外科	8,671,000	補 委○	国立研究開発法人科学技術振興機構 分任研究契約担当者 契約部長
リンパ節免疫微小環境を標的とした新規乳癌治療戦略の開発	河口 浩介	乳腺外科	10,608,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
細胞外小胞の脂質組成に注目した乳癌免疫療法の新規バイオマーカーの探索	川島 雅央	乳腺外科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
乳癌肝転移巣の腫瘍免疫微小環境をターゲットとした新規治療戦略の開発	河口 浩介	乳腺外科	2,340,000	補○ 委	文部科学省

制御性T細胞を標的とした免疫応答制御技術に関する研究開発	波多野 悦朗	肝胆膵・移植外科	13,000,000	補 委○	国立大学法人 大阪大学 免 疫学フロン ティア研究セ ンター 拠点 長
肝細胞癌患者に対するアテゾリズマブ＋ベバシズマブ併用療法における探索的血清サイトカイン解析—多施設共同前向き観察研究—	波多野 悦朗	肝胆膵・移植外科	50,000	補 委○	国立研究開発 法人国立国際 医療研究セン ター 理事長
切除不能肝細胞癌におけるアテゾリズマブ＋ベバシズマブ併用療法、外科的切除を用いた集学的治療の安全性、有効性を検討する多施設共同第II相臨床研究(研究略名: RACB)	波多野 悦朗	肝胆膵・移植外科	220,000	補 委○	公益財団法人 パブリックヘル スリサーチセン ター理事長
成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究(2020-J-3) 分担研究課題名: 肝胆膵がんに対する標準治療確立のための多施設共同研究	波多野 悦朗	肝胆膵・移植外科	1,000,000	補 委○	国立研究開発 法人 国立が ん研究セン ター 理事長
心停止肝移植におけるグラフト機能改善を目指した新規臓器保存法の開発	奥村 晋也	肝胆膵・移植外科	1,040,000	補○ 委	文部科学省
PDOXモデルを用いたWarburg効果を標的とする肝内胆管癌外科治療戦略の開発	楊 知明	肝胆膵・移植外科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
肝線維化における筋線維芽細胞と癌関連線維芽細胞の活性化機序の検証	西尾 太宏	肝胆膵・移植外科	2,470,000	補○ 委	文部科学省
過小グラフト症候群の病態解明を目指した肝移植・肝切除後 肝内門脈のMRI血流解析	小木曾 聡	肝胆膵・移植外科	2,340,000	補○ 委	文部科学省
皮下血管誘導反応の機構解明に基づく細胞移植用免疫寛容空間構築技術の開発	穴澤 貴行	肝胆膵・移植外科	4,160,000	補○ 委	文部科学省
門脈結紮による肝再生過程における線維芽細胞の役割解明～肝切除適応の拡大を目指して	小山 幸法	肝胆膵・移植外科	1,560,000	補○ 委	文部科学省

肝移植後の抗体関連拒絶制御に向けた新規バイオマーカー探索	伊藤 孝司	肝胆膵・移植外科	2,210,000	補○ 委	文部科学省
胆道癌の腫瘍内不均一性を基盤とした新規治療標的の開発	長井 和之	肝胆膵・移植外科	1,820,000	補○ 委	文部科学省
肝移植後NASH発症に関わるドナーならびにレシピエントの遺伝子多型	上林 エレーナ幸江	肝胆膵・移植外科	2,470,000	補○ 委	文部科学省
脈管可視化技術を用いた次世代手術ナビゲーションシステムの開発	波多野 悦朗	肝胆膵・移植外科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
局所温度制御とノンファウリング技術により人工肺の耐久性と生体適合性改善を目指す新規高機能人工肺の開発研究	升本 英利	心臓血管外科	2,990,000	補 委○	国立大学法人 島根大学 学 長
DDSを活用したマクロファージの生体内サブタイプ調節による新規心不全治療法の開発	武田 崇秀	心臓血管外科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
マイクロRNAの効率的導入による心臓血管外科領域の治療応用に関する研究	池田 義	心臓血管外科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
iPS細胞心臓再生治療に伴う腫瘍性合併症の高感度検出・腫瘍除去システムの開発	湊谷 謙司	心臓血管外科	5,070,000	補○ 委	文部科学省
プロテオーム解析とiPS細胞モデルを用いた術後肺動静脈瘻発生関連因子に関する研究	井出 雄二郎	心臓血管外科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
ヒトiPS細胞由来人工心臓組織における成熟化プロセスの理解と制御法の確立	長田 裕明	心臓血管外科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
自然免疫の活性化が誘因となる移植肺機能不全の抑制	田中 里奈	呼吸器外科	2,730,000	補○ 委	文部科学省

変異p53誘導性上皮間葉転換に伴う肺癌悪性化進展シグナルの解明及び新規治療法開発	毛受 暁史	呼吸器外科	3,640,000	補○ 委	文部科学省
ドナー肺の好中球細胞外トラップを標的とした新規移植前治療法の開発	大角 明宏	呼吸器外科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
マウス肺移植・慢性期移植肺機能不全モデルの開発と免疫応答機構の解明	田中 里奈	呼吸器外科	3,250,000	補○ 委	文部科学省
もやもや病の出血性脳卒中予防と長期予後改善を目指す多施設共同研究	宮本 享	脳神経外科	11,700,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当 職 理事長
KUMADAIマグネシウムを用いた生体吸収性フローダイバーターに関する研究	石井 暁	脳神経外科	22,100,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当 職 理事長
脳血管内治療におけるスタビライザーデバイスに関する安全性及び有効性を評価する多施設共同単一群試験	石井 暁	脳神経外科	1,100,000	補 委○	地方独立行政法人神戸市民病院機構 神戸市立医療センター中央市民病院 院長
急性期脳梗塞における自動トリアージに向けた革新的診断技術の開発	石井 暁	脳神経外科	13,000,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当 職 理事長
膠芽腫の標準治療後病勢を診断する血液バイオマーカーの実用化	荒川 芳輝	脳神経外科	390,000	補 委○	国立大学法人 金沢大学 学長 和田 隆志
高齢者初発膠芽腫に対するテモゾロミド併用寡分割放射線治療の最適化に関する研究	荒川 芳輝	脳神経外科	17,290,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当 職 理事長
初発中枢神経原発胚細胞腫瘍に対する化学療法併用放射線治療の低侵襲化に関する研究開発	荒川 芳輝	脳神経外科	19,497,400	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当 職 理事長
初発IDH野生型低悪性度神経膠腫に対するNovoTTF-100Aシステムの多施設共同第II相試験(医師主導治験)	荒川 芳輝	脳神経外科	650,000	補 委○	国立大学法人 東京大学

もやもや病(ウイリス動脈輪閉塞症)における難病の医療水準の向上や患者のQOL向上に資する研究	宮本 享	脳神経外科	9,000,000	補○ 委	厚生労働省
放射線誘発性動脈硬化促進の特異マーカーを標的とした治療法開発	吉田 和道	脳神経外科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
出血発症もやもや病の術後10年予後解明を目指した多施設コホート研究	舟木 健史	脳神経外科	520,000	補○ 委	文部科学省
RNF213関連血管障害に対するIL-1 β の役割解明と前臨床モデルの創出	宮本 享	脳神経外科	6,760,000	補○ 委	文部科学省
正常脳組織のゲノム解析によるIDH変異型グリオーマ発生基盤の解明と先制医療開発	荒川 芳輝	脳神経外科	4,680,000	補○ 委	文部科学省
ポリ乳酸ポリマー製フローダイバーター吸収過程におけるステント内膜と動脈瘤閉塞評価	石井 暁	脳神経外科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
脳動脈瘤と頸動脈狭窄症でのvessel wall imagingの分子機序の解明	安部倉 友	脳神経外科	2,600,000	補○ 委	文部科学省
手術動画解析AIを用いた「熟練の技」の教育と手術支援	三宅 正裕	眼科	600,000	補 委○	国立大学法人 筑波大学 分 任契約担当役 研究担当副学 長
視点反応・眼球運動のデジタルフェノタイプを活用した軽度認知機能異常スクリーニングプログラムの研究開発	三宅 正裕	眼科	65,200,000	補 委○	国立研究開発 法人 日本医 療研究開発機 構 契約担当 職 理事長
クリスタリン網膜症の新規治療法開発	池田 華子	眼科	23,400,000	補 委○	国立研究開発 法人 日本医 療研究開発機 構 契約担当 職 理事長

フォン・ヒッペル・リンドウ病における実態調査・診療体制構築とQOL向上のための総合的研究	辻川 明孝	眼科	3,445,000	補○ 委	厚生労働省
網膜神経グリアの生体イメージングに基づく難治性黄斑浮腫の原因検討	村岡 勇貴	眼科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
糖尿病網膜症における自己免疫による神経障害を標的とした新規治療法の開発	村上 智昭	眼科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
疾患特異的iPS細胞を用いたクリスタリン網膜症の治療薬開発	岩井 祥子	眼科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
補償光学光干渉断層計を用いた滲出型加齢黄斑変性の病態解明と新規治療に関する研究	宮田 学	眼科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
加齢黄斑変性におけるreticular pseudodrusenの特徴	上田 奈央子	眼科	1,040,000	補○ 委	文部科学省
主観的視覚と客観的視野検査結果の相関・乖離についての研究	沼 尚吾	眼科	650,000	補○ 委	文部科学省
多角的アプローチによる加齢黄斑変性とパキコロイド新生血管の病態解明	三宅 正裕	眼科	5,330,000	補○ 委	文部科学省
ビッグデータによる近視の総合的病態解明	辻川 明孝	眼科	6,760,000	補○ 委	文部科学省
網膜変性疾患における腸内細菌、自己免疫の関与の解明	池田 華子	眼科	1,430,000	補○ 委	文部科学省

視神経症の時空間周波数特性の解析	須田 謙史	眼科	910,000	補○ 委	文部科学省
フォン・ヒッペル・リンドウ病における網膜血管芽腫の臨床病態解明・評価系の確立	高橋 綾子	眼科	1,040,000	補○ 委	文部科学省
音声認識技術を用いた眼鏡型聴覚障害者支援機器の開発	山本 典生	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	4,103,954	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当 職 理事長
痙攣性発声障害レジストリを活用した診断基準及び重症度分類のバリデーション評価研究	大森 孝一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	520,000	補 委○	公立大学法人 名古屋市立大学 理事長
鳥類内耳有毛細胞再生初期過程の解明:哺乳類における有毛細胞再生効率化への応用	中川 隆之	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	910,000	補○ 委	文部科学省
マクロファージ極性制御による上気道線維化病変に対する新規治療技術開発	岸本 曜	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,040,000	補○ 委	文部科学省
内耳蝸牛三次元構造形成メカニズムの解明と蝸牛型オルガノイド作製への応用	大西 弘恵	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
三次元電子顕微鏡観察法を用いた内耳・喉頭組織の細胞の微視的解析	勝野 達也	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,170,000	補○ 委	文部科学省
CRISPR/Cas系による新型コロナウイルス感染と気道上皮バリア破壊機構の解明	大森 孝一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	2,730,000	補○ 委	文部科学省
ヒトiPS細胞由来気道上皮シート移植の鼻副鼻腔への応用	北田 有史	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	650,000	補○ 委	文部科学省

培養声帯粘膜におけるバリア機能の傷害と修復の評価	河合 良隆	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
聴覚末梢系数理モデルを用いた嗄声の音響学的特徴の解明	藤村 真太郎	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	650,000	補○ 委	文部科学省
蝸牛有毛細胞における極性形成のメカニズム	十名 洋介	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	780,000	補○ 委	文部科学省
蝸牛有毛細胞再生初期過程でのtype I IFN/JAK/STAT経路の役割	松永 麻美	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
蝸牛有毛細胞再生機構におけるエンドセリン受容体Bの機能解明	松永 麻美	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
喉頭の発声機構に基づく声質の解明および音声治療への応用	児嶋 剛	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	2,080,000	補○ 委	文部科学省
ムコ多糖症患者に生じるガーゴイル様顔貌の発症メカニズムの解明と新規治療法の開発	中尾 一祐	歯科口腔外科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
CNPを用いた投薬による低侵襲な顎変形症の新規治療法の確立	山中 茂樹	歯科口腔外科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	坂本 昭夫	整形外科	390,000	補 委○	国立大学法人 岡山大学 学 長
骨頭圧潰前の特発性大腿骨頭壊死症を対象としたbFGFゼラチン製剤の医師主導第Ⅲ相治験	黒田 隆	整形外科	4,929,145	補 委○	国立大学法人 東海国立大学 機構 機構長

軟骨細胞死から軟骨変性 に至る分子機構の解明と その抑制による軟骨保護 作用の検討	西谷 江平	整形外科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
優れた抗菌性を有するチ タンインプラントの開発	大槻 文悟	整形外科	780,000	補○ 委	文部科学省
低侵襲で高精度な関節軟 骨硬度計測システムの新 構築	栗山 新一	整形外科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
手指動作を定量化するた めの動作解析装置の開発	池口 良輔	整形外科	910,000	補○ 委	文部科学省
微細加工技術を用いた血 管ネットワーク付人工骨の 開発	河井 利之	整形外科	1,170,000	補○ 委	文部科学省
PEEK製インプラントの生 体活性化ならびにカスタ メイド化に関する研究	藤林 俊介	整形外科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
人為的体内時計の調節を 利用した新たな骨折治療 法の開発	野口 貴志	整形外科	650,000	補○ 委	文部科学省
最適な濃度の抗菌イオン を徐放し、優れた骨形成 促進作用を有するインプラ ントの開発	奥津 弥一郎	整形外科	1,170,000	補○ 委	文部科学省
力学的負荷改善による変 形性関節症進行抑制に寄 与する因子の解明及び新 規治療法の探索	松田 秀一	整形外科	7,670,000	補○ 委	文部科学省
幹細胞と抗菌薬の局所投 与で難治性インプラント感 染を制御するための基礎 研究	黒田 隆	整形外科	1,820,000	補○ 委	文部科学省

インプラント表面処理と骨形成薬による骨粗鬆症椎体における骨結合促進効果の検討	清水 孝彬	整形外科	2,470,000	補○ 委	文部科学省
In vitro 血管化3次元脂肪組織を用いた乳房再建の臨床応用技術の確立	素輪 善弘	形成外科	2,000,000	補 委○	国立大学法人 大阪大学
診断・治療適用のための光超音波3Dイメージングによる革新的画像診断装置の開発／臨床研究(皮弁術前計画及び乳がん診断応用開発)	齊藤 晋	形成外科	45,884,800	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当 職 理事長
先天性巨大色素性母斑を母地とした悪性黒色腫に対する予防的低侵襲治療方法の開発－高圧処理新規医療機器の研究開発	森本 尚樹	形成外科	68,899,998	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当 職 理事長
脱細胞化血管を用いた集合リンパ管の再生研究	山中 浩気	形成外科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
ヒト顔面骨格の子宮内における成長様式の解明	勝部 元紀	形成外科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
糖鎖によるケロイド形成メカニズムの解明	片山 泰博	形成外科	1,040,000	補○ 委	文部科学省
高静水圧処理を応用した皮膚、骨、神経の再生～自家腫瘍組織の再生医療への応用	森本 尚樹	形成外科	5,850,000	補○ 委	文部科学省
真皮micrograft移植による自家培養表皮の生着率向上	坂本 道治	形成外科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
線維性結合組織の非線形粘弾性の解明－三次元ダイナミックイメージングによる定量解析	齊藤 晋	形成外科	1,170,000	補○ 委	文部科学省

新規乳房再建法確立に向けた注入可能な血管付き脂肪組織ボール(iPAT)の開発	素輪 善弘	形成外科	1,170,000	補○ 委	文部科学省
難治性卵巣癌に対する、抗VEGF抗体とB7H3を標的とした併用療法の開発	村上 隆介	産科婦人科	1,040,000	補○ 委	文部科学省
ヒト胚着床における末梢血単核球の促進的作用メカニズムの解明	堀江 昭史	産科婦人科	1,170,000	補○ 委	文部科学省
小児と成人の卵胞発育の差異に適応させたヒト卵胞培養系の開発	奥宮 明日香	産科婦人科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
子宮内膜症と卵巣癌における脂質代謝によるフェロトーンシスの役割	山口 建	産科婦人科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
自然免疫からみた羊膜の維持・修復機構:前期破水の予防・治療をめざして	最上 晴太	産科婦人科	1,950,000	補○ 委	文部科学省
婦人科がんに対するB細胞免疫の解明と新たな診断・治療戦略の開発	濱西 潤三	産科婦人科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
卵巣癌における核酸代謝メカニズムの探求と、新規治療基軸への応用	北村 幸子	産科婦人科	3,250,000	補○ 委	文部科学省
卵巣癌微小環境における上皮間葉転換の免疫代謝への役割	滝 真奈	産科婦人科	2,340,000	補○ 委	文部科学省
卵巣がんのがん・宿主多様性の解明による新たな診断・治療戦略の開発	万代 昌紀	産科婦人科	4,160,000	補○ 委	文部科学省

性周期を軸にした「女性の生涯学」の提案と社会参加への応用	江川 美保	産科婦人科	6,500,000	補○ 委	文部科学省
母体血流によるシェアストレスが絨毛間腔において妊娠初期絨毛に与える影響の解明	千草 義継	産科婦人科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
前立腺がん高特異度二次検査マーカーPSA G-I indexに対する前臨床試験	赤松 秀輔	泌尿器科	3,900,000	補 委○	公益財団法人 がん研究会 理事長
ロボット支援術中臓器への加圧程度を手術映像のみから判断するAIシステム開発と実装	増井 仁彦	泌尿器科	1,040,000	補○ 委	文部科学省
生体二光子励起イメージングによる膀胱癌および腫瘍微小環境の時空間的解析	佐野 剛視	泌尿器科	780,000	補○ 委	文部科学省
遺伝子改変尿路上皮オルガノイドによる膀胱発癌メカニズムの解明と免疫治療のモデル化	小林 恭	泌尿器科	9,360,000	補○ 委	文部科学省
患者由来ゼノグラフトを用いたCDK12変異前立腺癌のPARP阻害薬不応性の克服	後藤 崇之	泌尿器科	1,820,000	補○ 委	文部科学省
炎症性膀胱疾患における慢性炎症と尿路上皮ギャップ結合蛋白の関与の解明	河野 仁	泌尿器科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
膀胱癌同種移植マウスモデルを用いた化学療法感受性を規定する腫瘍免疫微小環境の解明	北 悠希	泌尿器科	1,950,000	補○ 委	文部科学省
転移性去勢感受性前立腺癌の分子生物学的解析に基づくプレシジョン医療の実現	住吉 崇幸	泌尿器科	1,430,000	補○ 委	文部科学省

術後の血管内皮グリコカ リックス障害予防を目指し た周術期血糖管理方法の 開発	江木 盛時	麻酔科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
骨格筋量による周術期日 常生活活動低下予測と日 常生活活動維持のための 管理法の確立	溝田 敏幸	麻酔科	910,000	補○ 委	文部科学省
吸入麻酔薬が敗血症にお ける筋萎縮に及ぼす予防 効果の検討	甲斐 慎一	麻酔科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
SARS-CoV-2によるヒト血 小板機能活性化メカニズ ムの解明と治療法の探索	川本 修司	麻酔科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
敗血症時に亢進する血管 透過性における個人差の 原因となる遺伝子を同定 する。	瀬尾 英哉	麻酔科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
敗血症時の脊髄炎症の病 態とその治療可能性につ いて	廣津 聡子	麻酔科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
(国立精神・神経医療研究 センターからの受託研究) デュシェンヌ型筋ジストロ フィーを対象とした新たな 患者レジストリを構築す るための研究(Remudy-D MD)	吉田 健司	小児科	220,000	補 委○	国立研究開発 法人 国立精 神・神経医療 研究センター 理事長
腫瘍の不均一性およびゲ ノム3次元構造の視点から 見た乳児急性リンパ性白 血病の理解と治療法に関 する研究開発	加藤 格	小児科	1,300,000	補 委○	国立大学法人 東京医科歯科 大学 学長
小児および若年成人にお ける再発難治CD19陽性 B細胞性急性リンパ性白 血病に対する同種造血細 胞移植後維持療法の確立 に関する研究	加藤 格	小児科	1,430,000	補 委○	国立研究開発 法人国立成育 医療研究セン ター 理事長
原発性免疫異常症患者を 対象としたシロリムスの有 効性及び安全性を検討す る医師主導治験	八角 高裕	小児科	4,810,000	補 委○	国立研究開発 法人 日本医 療研究開発機 構 契約担当 職 理事長

従来のゲノム解析で診断困難な原発性免疫不全症患者の診断法の開発	八角 高裕	小児科	780,000	補 委○	国立大学法人 広島大学 学 長
乾燥ろ紙血プロテオーム解析を用いた原発性免疫不全症診断の効率化研究	八角 高裕	小児科	13,000,000	補 委○	国立研究開発 法人 日本医 療研究開発機 構 契約担当 職 理事長
自然免疫異常症に対する包括的iPS細胞バンクの構築	八角 高裕	小児科	52,000,000	補 委○	国立研究開発 法人 日本医 療研究開発機 構 契約担当 職 理事長
原因不明の小児急性肝炎およびMIS-Cに伴う肝炎の病態解明と治療法の開発	日衛嶋 栄太郎	小児科	260,000	補 委○	国立研究開発 法人国立国際 医療研究セン ター 理事長
難治性小児がんの時空的多様性の解明と新規創薬の開発	滝田 順子	小児科	29,900,000	補 委○	国立研究開発 法人 日本医 療研究開発機 構 契約担当 職 理事長
がんゲノム医療の推進に資する小児がんの包括的ゲノムデータ基盤の構築と展開	滝田 順子	小児科	27,300,000	補 委○	国立大学法人 東京大学 総 長 代理人 医学部附属病 院 事務部長
地域連携と人材育成を促進する新生児遠隔診療支援システムの有用性検証	岩永 甲午郎	小児科	780,000	補○ 委	文部科学省
心筋症を誘発するHOIL-1L遺伝子異常の心筋症発症・進行機序の解明	馬場 志郎	小児科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
デュシェンヌ型筋ジストロフィーの心不全発症・進行機序解明と治療法の開発	平田 拓也	小児科	1,170,000	補○ 委	文部科学省
乾燥ろ紙血プロテオミクス解析を用いた原発性免疫不全症の新生児スクリーニング法開発	八角 高裕	小児科	1,300,000	補○ 委	文部科学省

早産児の慢性肺疾患の重症度予測モデル構築のための多施設共同前方視的コホート研究	河井 昌彦	小児科	780,000	補○ 委	文部科学省
小児固形腫瘍の克服に資するドライバー遺伝子を標的としない新規治療法の開発	滝田 順子	小児科	3,900,000	補○ 委	文部科学省
遺伝性銅代謝異常症の新規原因遺伝子の解明	吉田 健司	小児科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
小児最末分化型急性骨髄性白血病の病態解析および特異的治療の基盤開発	才田 聡	小児科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
てんかん性脳症の新規原因遺伝子NSFの分子病態解析	横山 淳史	小児科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
GIPノックアウトマウスを用いた胎児期・新生児期のGIPの機能解析	中西 純子	小児科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
小児がんにおける遺伝学的高発がん感受性の機序とクローン進化の統合的解析	滝田 順子	小児科	13,130,000	補○ 委	文部科学省
全てのサブグループを網羅した神経芽腫患者由来PDXライブラリーの構築	梅田 雄嗣	小児科	5,850,000	補○ 委	文部科学省
最新多角的オミックス解析を用いた慢性活動性EBV感染症の病態解析研究	加藤 格	小児科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
小児期発症の潰瘍性大腸炎における特異的自己抗体・自己抗原の同定と病態解明	日衛嶋 栄太郎	小児科	2,340,000	補○ 委	文部科学省

ADA2欠損症の血管炎病態の分子メカニズム解析	仁平 寛士	小児科	2,340,000	補○ 委	文部科学省
メタボリックシンドロームの予防を目指した胎児期の低酸素への適応過程の解明	友滝 清一	小児科	4,030,000	補○ 委	文部科学省
超低侵襲リアルタイムアダプティ(RA)放射線治療の実現	溝脇 尚志	放射線治療科	52,000,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当 職 理事長
成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究(2020-J-3) 分担課題名:放射線治療を含む標準治療確立のための多施設共同研究	溝脇 尚志	放射線治療科	5,590,000	補 委○	国立研究開発法人 国立がん研究センター 理事長
難治がんに対する動体追尾放射線治療の臨床評価に関する研究	溝脇 尚志	放射線治療科	9,694,750	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当 職 理事長
動体追尾強度変調回転放射線治療技術の開発と実行可能性臨床試験	溝脇 尚志	放射線治療科	19,500,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当 職 理事長
放射線治療に関わるトランスレーショナルリサーチ実施体制構築/試料集積の方法検討、トランスレーショナル実施案検討(2021-A-8)	坂中 克行	放射線治療科	100,000	補 委○	国立研究開発法人 国立がん研究センター 理事長
早期非小細胞肺癌に対する体幹部定位放射線治療線量増加ランダム化比較試験	松尾 幸憲	放射線治療科	507,000	補 委○	国立大学法人 広島大学 学 長
膀胱癌放射線治療における腫瘍内低酸素領域の動態と低酸素誘導因子との関係の検討	吉村 通央	放射線治療科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
転移性脳腫瘍に対する過分割多段階照射の最適な線量投与方法の開発と臨床評価	丹羽 恵 (宇藤恵)	放射線治療科	910,000	補○ 委	文部科学省

乳房深吸気息止め照射における体表面位置予測システムの確立	小野 幸果	放射線治療科	1,820,000	補○ 委	文部科学省
強度変調回転照射プランの複雑さを軽減する最適化システムの確立	小野 智博	放射線治療科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
放射線照射により生じる血管内酸化ストレス及びがん転移形質の誘導機構の解明	井上 実	放射線治療科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
非転移性超高リスク前立腺癌に対する革新的放射線治療アプローチの開発	溝脇 尚志	放射線治療科	2,340,000	補○ 委	文部科学省
高齢放射線治療患者における非がん死亡低減にむけた包括的研究	松尾 幸憲	放射線治療科	910,000	補○ 委	文部科学省
即時適応放射線治療を目指した深層学習活用CBCT再構成法の開発	平島 英明	放射線治療科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
放射線治療開始までの時間短縮が可能かつ体内状況に適応する次世代放射線治療法の開発	伊良皆 拓	放射線治療科	2,080,000	補○ 委	文部科学省
局所進行非小細胞肺癌における放射線性肺臓炎リスクを極小化する放射線治療手法の確立	岸 徳子	放射線治療科	1,170,000	補○ 委	文部科学省
89Zr-トラスツズマブとPET/MRおよび乳房専用PET装置を用いた画像診断	中本 裕士	放射線診断科	1,170,000	補○ 委	文部科学省
子宮良性疾患におけるMRIによる子宮蠕動運動と不妊治療、妊娠転帰予測に関する検討	木戸 晶	放射線診断科	910,000	補○ 委	文部科学省

経皮的エタノール注入療法による腫瘍免疫反応の賦活化:マウスがんモデルを用いた解析	大野 豪	放射線診断科	910,000	補○ 委	文部科学省
乳癌患者におけるFES-PETの診断能と臨床的有意性	河井 可奈江 (三宅可奈江)	放射線診断科	520,000	補○ 委	文部科学省
臓器位置変動に対応した放射線治療品質管理システムの構築	鶴田 裕輔	放射線診断科	910,000	補○ 委	文部科学省
希少疾患画像研究のための多施設症例共有ネットワーク及びプラットフォームの構築	樋本 祐紀	放射線診断科	780,000	補○ 委	文部科学省
睪臓癌に対する非侵襲高精度放射線治療を目指した動態解析に関する研究	佐々木 誠	放射線診断科	780,000	補○ 委	文部科学省
深層学習を用いた産婦人科MRIの自動診断	倉田 靖桐	放射線診断科	1,040,000	補○ 委	文部科学省
T細胞の疲弊化を描出するPET分子イメージング法の確立	野橋 智美	放射線診断科	2,340,000	補○ 委	文部科学省
PETとMRIを活用した神経膠腫の分子生物学的プロファイルに迫る術前診断法の確立	坂田 昭彦	放射線診断科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
MRI・PETによる神経膠腫の遺伝子型診断と機械学習を用いた自動診断法の研究	奥知 左智	放射線診断科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
乳癌縮小手術・非手術治療を可能とする高精度マルチパラメトリックイメージングの開発	片岡 正子	放射線診断科	1,690,000	補○ 委	文部科学省

細胞療法の治療効果予測のためのCell Tracking PET診断用薬剤の開発	志水 陽一	放射線診断科	1,950,000	補○ 委	文部科学省
小児脳MRIにおけるMR Fingerprintingの応用	伏見 育崇	放射線診断科	2,470,000	補○ 委	文部科学省
網羅的遺伝子スクリーニング技術を用いた甲状腺癌内用療法に対する抵抗性因子の探索	子安 翔	放射線診断科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
PET/CT画像を用いた免疫チェックポイント阻害薬の高精度な治療予測モデルの開発	中本 隆介	放射線診断科	1,820,000	補○ 委	文部科学省
多細胞間相互作用による皮膚バリアの適応・修復機序の解明	椛島 健治	皮膚科	384,363,084	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当 職 理事長
本邦のシュニッツラー症候群患者の急性期炎症所見に対するカナキヌマブを用いた多施設医師主導治験	神戸 直智	皮膚科	78,000,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当 職 理事長
肥厚性皮膚骨膜炎(PDP)患者由来iPS細胞を用いたPDP新規治療薬の開発	野村 尚史	皮膚科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
皮膚微小環境において極小マイクロバイオームが果たす役割の解明	中島 沙恵子	皮膚科	780,000	補○ 委	文部科学省
円形脱毛症の上皮-免疫微小環境(EIME)と免疫特権の破たんのループの伝播	加来 洋	皮膚科	780,000	補○ 委	文部科学省
皮膚の時空間的再構築の理解	石田 雄大	皮膚科	2,210,000	補○ 委	文部科学省

炎症性皮膚疾患における病原性抗原提示細胞と治療標的の同定	中溝 聡	皮膚科	910,000	補○ 委	文部科学省
皮膚における多様な免疫応答の誘導機序と他臓器との免疫学的連関の解明	椛島 健治	皮膚科	52,520,000	補○ 委	文部科学省
翻訳後修飾に着目した肉芽腫性炎症の制御機構解明	神戸 直智	皮膚科	2,470,000	補○ 委	文部科学省
T細胞を抗原特異的に皮膚へ遊走させるメカニズムの解明	江川 形平	皮膚科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
アミノ酸制限食の皮膚と紫外線皮膚障害に与える影響の解明	川上 聡経	皮膚科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
摂食障害に対する認知行動療法の有効性の神経科学的エビデンスの創出	磯部 昌憲	精神科神経科	2,600,000	補 委○	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 理事長
全世代対応型遠隔メンタルヘルスケアシステム(KOKOROBO-J)によるメンタルヘルスプラットフォームの開発・社会実装拠点に関する京都大学による研究開発	磯部 昌憲	精神科神経科	2,080,000	補 委○	国立研究開発法人科学技術振興機構 分任研究契約担当者 契約部長
AI技術を活用した統合失調症の早期診断医療機器プログラムの開発	宮田 淳	精神科神経科	1,950,000	補 委○	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 理事長
7T MRSI・fMRSによる統合失調症のCCTCC障害仮説の検証	吉原 雄二郎	精神科神経科	1,170,000	補○ 委	文部科学省
月経関連の情動、認知機能変化の包括的理解目指した縦断的脳画像研究	植野 司	精神科神経科	1,300,000	補○ 委	文部科学省

次世代拡散MRIおよび機械学習を用いた統合失調症新規診断基準の検討	孫 樹洛	精神科神経科	780,000	補○ 委	文部科学省
統合失調症の触覚時空間情報処理における大脳皮質の層特異的活動	張 志林	精神科神経科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
超高磁場MRIを用いた視床下部機能的結合解析の新規開発と気分障害への応用	村井 俊哉	精神科神経科	2,860,000	補○ 委	文部科学省
統合失調症と自閉スペクトラム症への社会認知トレーニングの効果増強:神経基盤の解明	大塚 貞男	精神科神経科	3,510,000	補○ 委	文部科学省
タウ・アミロイドPETおよび7テスラMRI/MRSによる中高年期精神疾患の層別化	久保田 学	精神科神経科	5,460,000	補○ 委	文部科学省
マインドフルネスの感情調節効果と痩せ:神経性痩せ症の介入開発に向けた基盤的研究	野田 智美	精神科神経科	1,820,000	補○ 委	文部科学省
ギャンブル障害の臨床経過に関わる神経基盤について	鶴身 孝介	精神科神経科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
神経性やせ症の反社会的行動における非侵襲的脳刺激法の効果	磯部 昌憲	精神科神経科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
PETイメージングを用いた慢性脳虚血がアルツハイマー病理発現におよぼす影響の解明	山内 浩	精神科神経科	1,950,000	補○ 委	文部科学省
末梢神経損傷に対する同種臍帯由来間葉系細胞を用いた三次元神経導管移植治療法の開発	池口 良輔	リハビリテーション科	39,000,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当 職 理事長

同種造血幹細胞移植患者の骨格筋量および身体機能とマイオカイン動態の関連	村尾 昌信	リハビリテーション部	1,560,000	補○ 委	文部科学省
肺移植術前における骨格筋の質の低下に関連する因子の検討	大島 洋平	リハビリテーション部	410,000	補○ 委	文部科学省
急性期脳卒中患者における最適な身体活動量の検討	北村 岳斗	リハビリテーション部	450,000	補○ 委	文部科学省
脳卒中後急性期の筋量および筋質変化が長期的アウトカムに与える影響の解明	田中 浩基	リハビリテーション部	1,430,000	補○ 委	文部科学省
Tuft細胞性に着目した胸部がんの特性解明と新規治療法の提唱	山田 洋介	病理診断科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
培養細胞を用いた胃粘膜発癌メカニズムと遺伝子変異・ピロリ菌感染相互作用の解明	竹内 康英	病理診断科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
IMP3を軸とした多重免疫染色を用いた血管内大細胞型B細胞リンパ腫の病理診断	藤本 正数	病理診断科	2,210,000	補○ 委	文部科学省
糖尿病根治を目指したMYCLによるリプログラミングを介した膵島再生医療の開発	穴澤 貴行	臓器移植医療部	3,250,000	補 委○	国立大学法人 東京大学 総 長 代理人 医科学研究所 事務部長
慢性膵炎等に対する膵全摘術に伴う自家膵島移植術の先進医療制度下多施設共同試験	穴澤 貴行	臓器移植医療部	6,454,500	補 委○	国立研究開発 法人国立国際 医療研究セン ター 理事長
肝臓外科領域における食事療法の有効性および腸内環境の変動解析	内田 洋一朗	臓器移植医療部	2,990,000	補○ 委	文部科学省

全ゲノムシーケンスを軸としたオミックス解析による多段階肝発癌メカニズムの解明	竹田 治彦	がんセンター	2,080,000	補○ 委	文部科学省
細胞分泌実時間イメージング法に基づく機能的細胞診システムの創生	井澤 和司	総合周産期母子医療センター	1,040,000	補 委○	国立大学法人 東京大学
原発性免疫不全症・自己炎症性疾患・早期発症型炎症性腸疾患の臨床ゲノム情報を連結した患者レジストリの構築研究	井澤 和司	総合周産期母子医療センター	988,000	補 委○	国立大学法人 東京医科歯科大学 学長
原因不明の炎症性疾患における I 型IFN応答遺伝子の発現解析と新規炎症病態の解明	井澤 和司	総合周産期母子医療センター	1,300,000	補○ 委	文部科学省
多剤耐性菌感染症の実態を明らかにする多施設研究ネットワーク	松村 康史	検査部	530,000	補 委○	国立研究開発法人国立国際医療研究センター 理事長
全ゲノム解析を用いた肺炎球菌の病原性解析および新規出現クローンの分子疫学解析	長尾 美紀	検査部	597,740	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当 職 理事長
乳癌抗癌剤治療における心血管関連合併症予測と早期診断の検討	加藤 恵理 (戸田恵理)	検査部	130,000	補○ 委	文部科学省
高周波律動 (HFO) を用いたBAFMEの診断・治療のバイオマーカーの確立	人見 健文	検査部	1,040,000	補○ 委	文部科学省
環境レジストームに着目した効果的な病院環境整備に関する探索的研究	長尾 美紀	検査部	130,000	補○ 委	文部科学省
リンパ形質細胞性リンパ腫モデルマウスの作製による病態解析と新規治療薬シーズの探索	城 友泰	検査部	1,430,000	補○ 委	文部科学省

臨床検体からの抗原直接 検出による薬剤耐性菌の 迅速検査法の開発と臨床 評価	松村 康史	検査部	1,950,000	補○ 委	文部科学省
大規模データの機械学習 解析による造血細胞移植 治療の最適化	新井 康之	検査部	2,340,000	補○ 委	文部科学省
乳がん患者における腫瘍 流入領域リンパ節の免疫 微小環境解析を用いた新 規治療戦略開発	山口 絢音	手術部	1,820,000	補○ 委	文部科学省
リアルワールドデータを用 いたICU入室高齢患者の 退室後の要介護度につい ての研究	武田 親宗	手術部	1,170,000	補○ 委	文部科学省
放射線治療による好中球 細胞外トラップを介した遠 隔転移のメカニズム解明と 予防法開発	中島 良太	放射線部	1,560,000	補○ 委	文部科学省
病院薬剤師へのタスク・シ フト/シェア普及に対する 阻害要因の把握とその解 決に向けた調査研究	寺田 智祐	薬剤部	7,331,000	補○ 委	厚生労働省
実臨床におけるファーマコ ゲノミクスデータベースを 活用した個別化投与設計 指針の構築	平 大樹	薬剤部	1,170,000	補○ 委	文部科学省
ファーマコゲノミクス検査 の臨床普及を目指した臨 床ゲノム薬理学的研究	寺田 智祐	薬剤部	1,170,000	補○ 委	文部科学省
薬剤性腎障害の実態解明 とそれに基づく発症機序 の探索	中川 俊作	薬剤部	1,170,000	補○ 委	文部科学省
末梢神経障害予防/治療 薬の開発に向けたトランス レーショナルリサーチ	中川 貴之	薬剤部	4,680,000	補○ 委	文部科学省

新規3次元感覚神経オルガノイドを用いた抗がん剤末梢神経障害の機序・原因療法の探索	今井 哲司	薬剤部	1,040,000	補○ 委	文部科学省
抗真菌薬ボソコナゾールがテイコプラニンの血中濃度に及ぼす影響についての研究	杉本 充弘	薬剤部	410,000	補○ 委	文部科学省
体外循環装置使用下でのメロペネムおよびレボフロキサシンの最適投与計画の構築	西川 有沙美	薬剤部	450,000	補○ 委	文部科学省
免疫チェックポイント阻害薬における間質性肺疾患の重症化リスク因子の探索	横井 茉里	薬剤部	460,000	補○ 委	文部科学省
肺移植後における安全性と治療継続性を高めるためのガンシクロビル投与方法の検討	片田 佳希	薬剤部	450,000	補○ 委	文部科学省
静脈血栓塞栓症併発がん患者における直接第Xa因子阻害薬の安全性に関する検討	有福 萌波	薬剤部	440,000	補○ 委	文部科学省
プロポフォールの中実濃度に基づく薬物動態モデルの作成と検証	川田 将義	薬剤部	470,000	補○ 委	文部科学省
直接作用型経口抗凝固薬エドキサバンの個別化減量基準の構築	渡邊 愛未	薬剤部	480,000	補○ 委	文部科学省
新規腎機能評価方法論による小児移植患者のバルガンシクロビル適正投与設計の構築	勝部 友理恵	薬剤部	520,000	補○ 委	文部科学省
BRD4及びCBP/p300を標的とした小児MLL白血病に対する新規治療法の開発	今吉 菜月	薬剤部	1,100,000	補○ 委	文部科学省

差分プライバシーによる匿名加工後の医療情報の有用性の検証	森 由希子	医療情報企画部	13,000,000	補 委○	国立研究開発 法人科学技術 振興機構 分 任研究契約担 当者 契約部 長
臨床疫学に活用可能なNDB等データセットの作成に関する研究	森 由希子	医療情報企画部	19,487,000	補○ 委	厚生労働省
臨床能力を育む医療教育システムの実現に向けた患者仮想化技術の創出	山本 豪志朗	医療情報企画部	5,720,000	補○ 委	文部科学省
没入型バーチャルリアリティを利用した高次脳機能障害のリハビリテーション	LIU CHANG	医療情報企画部	910,000	補○ 委	文部科学省
寝たきり予防に還元する包括的な代謝因子研究	亀田 雅博	地域ネットワーク医療部	1,950,000	補○ 委	文部科学省
レセプトデータベース(NDB)の利用を容易にするための包括的支援システムの開発	加藤 源太	診療報酬センター	7,020,000	補○ 委	文部科学省
皮膚のリンパ濾胞構造が皮膚の異所性リンパ組織iSALTであるかの検討	小亀 敏明	総合臨床教育・研修センター	1,820,000	補○ 委	文部科学省
要介護リスクに寄与するQOLの構成及び変化パターンの解明	紙谷 司	総合臨床教育・研修センター	2,210,000	補○ 委	文部科学省
脳卒中超急性期臨床試験における適切な同意手続きの確立に関する研究	渡邊 卓也	倫理支援部	650,000	補 委○	国立循環器病 研究センター 理事長
高品質のIRB審査の基盤となるIRBクラブの設立およびIRB運用ハンドブックの作成と普及に関する研究	渡邊 卓也	倫理支援部	390,000	補 委○	国立大学法人 大阪大学医学 部附属病院 病院長

標準化電子ワークシートを核とした分散型臨床試験のシステム・運用両面からの構築	永井 洋士	先端医療研究開発機構	10,967,000	補 委○	国立大学法人九州大学 学長
肺癌患者を対象とした臨床試験における有効性および安全性の評価に関する統計解析的研究	森田 智視	先端医療研究開発機構	600,000	補 委○	宝塚市病院事業管理者
肥大型心筋症患者における診療の実態調査および突然死／拡張相への移行に関する新規予測プログラムの開発とその検証	加藤 貴雄	先端医療研究開発機構	390,000	補 委○	国立研究開発法人 国立循環器病研究センター
心臓核医学検査による特発性心筋症病態層別化指標の確立	加藤 貴雄	先端医療研究開発機構	520,000	補 委○	国立大学法人大阪大学 大学院医学系研究科長
宇宙及び地球規模環境要因のヒト健康への影響について	西村 勉	先端医療研究開発機構	1,430,000	補○ 委	文部科学省
マウスモデルと臨床材料を用いた大腸がん幹細胞の転移機構の解析	柿崎 文彦	先端医療研究開発機構	2,340,000	補○ 委	文部科学省
研究公正推進のための制度的研究と教育環境的研究	伊藤 達也	先端医療研究開発機構	780,000	補○ 委	文部科学省
ストリオソーム神経細胞選択的な遺伝子操作マウスを用いた神経変性疾患の病態機序解明	奥宮 太郎	先端医療研究開発機構	1,040,000	補○ 委	文部科学省
大腸上皮の分化指標に基づく大腸がん予後予測新規因子の解明	三好 弘之	先端医療研究開発機構	1,430,000	補○ 委	文部科学省

癌領域の医薬品、診断薬、再生医療の開発早期に必要な臨床データに関する研究	永井 純正	先端医療研究開発機構	1,040,000	補○ 委	文部科学省
固形癌に対するGPC-1 CAR-T療法の実用化に向けた ex vivo 安全性／有効性評価法の確立	澤田 武志	次世代医療・iPS細胞治療研究センター	13,505,570	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当 職 理事長
ミトコンドリア置換技術を用いた、がん細胞におけるmtDNAの影響の解明	澤田 武志	次世代医療・iPS細胞治療研究センター	3,380,000	補○ 委	文部科学省
CTOS法による患者由来癌オルガノイドを用いた新たな薬剤感受性検査法の確立	青木 雅彦	次世代医療・iPS細胞治療研究センター	2,600,000	補○ 委	文部科学省
患者報告アウトカム(patient reported outcomes:PRO)の ICT 化と社会実装推進のためのガイドライン作成に資する研究	中島 貴子	次世代医療・iPS細胞治療研究センター	19,500,000	補○ 委	厚生労働省
初代ヒト肺上皮細胞を用いたモデルによる特発性間質性肺炎の新規治療法開発	今井 晶 (松島晶)	先制医療・生活習慣病研究センター	1,300,000	補○ 委	文部科学省
ヒトにおける細胞外マトリックスの代謝への影響の検討	井上 真由美	先制医療・生活習慣病研究センター	1,040,000	補○ 委	文部科学省
光超音波による腫瘍低酸素領域の可視化と腫瘍及び新生血管同時イメージング法の開発	松本 純明	先制医療・生活習慣病研究センター	1,430,000	補○ 委	文部科学省
神経変性疾患希少疾患データベース作成と画像診断支援アルゴリズムに関する研究	日野田 卓也	先制医療・生活習慣病研究センター	1,560,000	補○ 委	文部科学省
CXCR7の動脈硬化における機能解明とPETによる臨床応用に向けて	馬場 理	先制医療・生活習慣病研究センター	1,300,000	補○ 委	文部科学省

喫煙による肺の気腫性変化を早期に検出する画像指標とバイオマーカーの探索	今井 誠一郎	先制医療・生活習慣病研究センター	2,600,000	補○ 委	文部科学省
耐糖能異常(IGT)段階で早期に診断を行うための指標の探索	辰巳 真貴子	先制医療・生活習慣病研究センター	1,690,000	補○ 委	文部科学省
肺機能低下と睡眠呼吸障害の横断・縦断的解析と病態生理解明のためのメタボローム解析	陳 和夫	呼吸管理睡眠制御学講座	3,250,000	補○ 委	文部科学省
重症呼吸不全患者における肺移植術後の予後改善に関する研究	佐藤 晋	呼吸管理睡眠制御学講座	1,560,000	補○ 委	文部科学省
抗IL-5受容体抗体による好塩基球を介した獲得免疫系への影響の解明	砂留 広伸	呼吸管理睡眠制御学講座	1,820,000	補○ 委	文部科学省
非回復性睡眠が生活習慣病等の発症に影響を及ぼすメカニズムの解明	高橋 順美	呼吸管理睡眠制御学講座	2,210,000	補○ 委	文部科学省
関節リウマチに対するセルトリズマブペゴル(CZP)治療におけるメトトレキサート(MTX)併用中止後の治療効果持続性に関する研究:PRIMERA study	村田 浩一	リウマチ性疾患先進医療学講座	50,000	補 委○	国立大学法人 東海国立大学 機構 機構長
炎症性関節炎におけるKDM1Aを介した細胞間ネットワークの解析	村田 浩一	リウマチ性疾患先進医療学講座	1,690,000	補○ 委	文部科学省
新規骨髄系マクロファージ様細胞の骨病変への関与	藤井 貴之	リウマチ性疾患先進医療学講座	1,560,000	補○ 委	文部科学省
NDB・多施設レジストリー・単施設コホートの融合による関節リウマチの合併症の解明	大西 輝	リウマチ性疾患先進医療学講座	1,820,000	補○ 委	文部科学省

マルチオミックス解析と機械学習による関節リウマチ治療効果予測	藤井 貴之	リウマチ性疾患先進医療学講座	2,340,000	補○ 委	文部科学省
フェノタイプ・エンドタイプに着目した本邦の喘息患者における3年間予後の検討	小熊 毅	地域医療システム学講座	39,600	補 委○	独立行政法人 国立病院機構 東京病院
がんの幹細胞性と線維化機構の制御による多因子標的がん治療法の開発	中西 祐貴	地域医療システム学講座	26,780,000	補 委○	国立研究開発 法人 日本医 療研究開発機 構 契約担当 職 理事長
機能性金属イオンの徐放により骨形成と抗菌性を制御する多孔構造を備えた近未来型積層造形チタンインプラントの創製	藤林 俊介	運動器機能再建学講座	3,900,000	補 委○	国立研究開発 法人科学技術 振興機構 分 任研究契約担 当者 契約部 長
FGFR遺伝子異常を有する進行・再発固形がんに対するE7090単剤療法が多施設共同第Ⅱ相医師主導治験	松原 淳一	臨床システム腫瘍学講座	2,400,000	補 委○	国立研究開発 法人 国立が ん研究セン ター 理事長
間質性肺炎に対する多施設共同前向き観察研究	半田 知宏	呼吸不全先進医療講座	20,000	補 委○	国立大学法人 東海国立大学 機構 機構長
閉塞性睡眠時無呼吸で惹起されるミトコンドリア機能異常のメカニズムとその影響の検討	濱田 哲	呼吸不全先進医療講座	1,820,000	補○ 委	文部科学省
癌転移における癌細胞集団が示す極性転換の機能的意義の解析	小沼 邦重	クリニカルバイオリソース研究開発講座	1,170,000	補○ 委	文部科学省
がん三次元構造における幹細胞化シグナルの時空間的解析	井上 正宏	クリニカルバイオリソース研究開発講座	5,460,000	補○ 委	文部科学省
大腸癌細胞集団の極性転換による免疫回避機構の解明	井上 正宏	クリニカルバイオリソース研究開発講座	3,120,000	補○ 委	文部科学省

グリアの視点からの片頭痛の新展開:slow EEGと機能的MRIの統合的解析	池田 昭夫	てんかん・運動異常生理学講座	2,080,000	補○ 委	文部科学省
脳皮質・深部核ネットワークを踏まえた、脳波リズムの自発的制御によるてんかん治療	宇佐美 清英	てんかん・運動異常生理学講座	1,690,000	補○ 委	文部科学省
アディクションの病態・症候・治療に関する包括的研究	村井 俊哉	精神医学	1,000,000	補 委○	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 理事長
低代謝療法の基盤となる脳から末梢組織への休眠シグナルの解明	大鶴 繁	初期診療・救急医学	1,300,000	補○ 委	文部科学省
急性呼吸不全患者における睡眠呼吸障害を含めた客観的かつ縦断的睡眠評価手法の確立	南 卓馬	初期診療・救急医学	910,000	補○ 委	文部科学省
敗血症に合併した低体温における骨髄由来細胞のiNOSを介した病態的意義の解明	高谷 悠大	初期診療・救急医学	1,430,000	補○ 委	文部科学省
腎糸球体でのナトリウム利尿ペプチド受容体とp38 MAPKの関連性	山田 博之	初期診療・救急医学	2,600,000	補○ 委	文部科学省
肥満病態に着目した敗血症重症化機序の解明と治療応用	趙 晃済	初期診療・救急医学	1,690,000	補○ 委	文部科学省

計457

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Takeda J, Yoshida K, Nakagawa MM et al.	血液内科	Amplified EPOR/JAK2 Genes Define a Unique Subtype of Acute Erythroid Leukemia	Blood cancer discovery・ 20220715. 2022 Sep; 3(5):410-427	Original Article
2	Yamamoto B, Honda D, Ohsawa I et al.	血液内科	Burden of illness seen in hereditary angioedema in Japanese patients: Results from a patient reported outcome survey	Intractable & Rare Diseases Research・ 20230228. 2023 Feb; 12(1):35-44	Original Article
3	Kashiwa A, Makiyama T, Kohjitani H et al.	血液内科	Disrupted Ca(V)1.2 selectivity causes overlapping long QT and Brugada syndrome phenotypes in the CACNA1C- E1115K iPS cell model	Heart rhythm・20220822. 2023 Jan;20(1):89-99	Original Article
4	Fortin J, Chiang MF, Meydan C et al.	血液内科	Distinct and opposite effects of leukemogenic Idh and Tet2 mutations in hematopoietic stem and progenitor cells	Proceedings of the National Academy of Sciences・20230124. 2023 Jan;120(4):e2208176120	Original Article
5	Muranushi H, Shindo T, Chen- Yoshikawa TF et al.	血液内科	Dual inhibition of the MEK/ERK and PI3K/AKT pathways prevents pulmonary GVHD suppressing perivenulitis and bronchiolitis	Blood Advances・ 20220425. 2023 Jan; 7(1):106-121	Original Article
6	Kanda J, Hirabayashi S, Yokoyama H et al.	血液内科	Effect of Multiple HLA Locus Mismatches on Outcomes after Single Cord Blood Transplantation	Transplantation and cellular therapy・ 20220513. 2022 Jul; 28(7):398	Original Article

7	Shimazu Y, Kanda J, Kosugi S et al.	血液内科	Efficacy of elotuzumab for multiple myeloma in reference to lymphocyte counts and kappa/lambda ratio or B2 microglobulin	Scientific reports• 20230329. 2023 Mar; 13(1):5159	Original Article
8	Tashiro Y, Kanda J, Iemura T et al.	血液内科	Feasibility of ovarian stimulation for fertility preservation during and after blinatumomab treatment for Ph-negative B-cell acute lymphoblastic leukemia	International Journal of Hematology•202209. 2022 Sep; 116(3):453-458	Original Article
9	Shimomura Y, Komukai S, Kitamura T et al.	血液内科	Identifying the optimal conditioning intensity for stem cell transplantation in patients with myelodysplastic syndrome: a machine learning analysis	Bone marrow transplantation•20221114. 2023 Feb; 58(2):186-194	Original Article
10	Leca J, Lemonnier F, Meydan C et al.	血液内科	IDH2 and TET2 mutations synergize to modulate T Follicular Helper cell functional interaction with the AITL microenvironment	Cancer cell•20230202. 2023 Feb; 41(2):323-339	Original Article
11	Konuma T, Kanda J, Uchida N et al.	血液内科	Intensified conditioning regimens improved disease-free survival and engraftment after unrelated single-unit cord blood transplantation but not after matched sibling or matched unrelated donor allogeneic hematopoietic cell transplantation	Hematological oncology• 20221021. 2023 Feb; 41(1):147-158	Original Article
12	Nagata K, Utsumi D, Asaka MN et al.	血液内科	Intratracheal trimerized nanobody cocktail administration suppresses weight loss and prolongs survival of SARS-CoV-2 infected mice	Communications medicine•20221126. 2022 Nov; 2(1):152	Original Article

13	Shimazu Y, Kanda J, Kaneko H et al.	血液内科	Monocyte or white blood cell counts and β (2) microglobulin predict the durable efficacy of daratumumab with lenalidomide	Therapeutic advances in hematology•2022. 2022 Dec; 13:20406207221142487	Original Article
14	Gao J, Makiyama T, Yamamoto Y et al.	血液内科	Novel Calmodulin Variant p.E46K Associated With Severe Catecholaminergic Polymorphic Ventricular Tachycardia Produces Robust Arrhythmogenicity in Human Induced Pluripotent Stem Cell-Derived Cardiomyocytes	Circulation. Arrhythmia and electrophysiology• 20230303. 2023 Mar; 16(3):e011387	Original Article
15	Sugimoto N, Nakamura S, Shimizu S et al.	血液内科	Production and nonclinical evaluation of an autologous iPSC-derived platelet product for the iPLAT1 clinical trial	Blood advances• 20220923. 2022 Dec; 6(23):6056-6069	Original Article
16	Tsujiisaka Y, Hatani T, Okubo C et al.	血液内科	Purification of human iPSC-derived cells at large scale using microRNA switch and magnetic-activated cell sorting	Stem cell reports• 20220712. 2022 Jul; 17(7):1772-1785	Original Article
17	Onda Y, Kanda J, Kaneko H et al.	血液内科	Real-world effectiveness and safety analysis of carfilzomib-lenalidomide-dexamethasone and carfilzomib-dexamethasone in relapsed/refractory multiple myeloma: a multicenter retrospective analysis	Therapeutic advances in hematology•2022. 2022 Jun; 13:20406207221104584	Original Article
18	Bouchi R, Kondo T, Ohta Y et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	A consensus statement from the Japan Diabetes Society: A proposed algorithm for pharmacotherapy in people with type 2 diabetes	Journal of Diabetes Investigation•202212. 2023 Jan;14(1):151-164	Original Article

19	Keidai Y, Fujikura J, Nakamura T et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	A unique profile of insulin antibody titer in islet-transplanted patients	Journal of diabetes investigation • 20220623. 2022 Nov; 13(11):1939-1942	Original Article
20	Yoshiji S, Tanaka D, Minamino H et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	Causal associations between body fat accumulation and COVID-19 severity: A Mendelian randomization study	Frontiers in Endocrinology • 20220803. 2022 Aug; 13:899625	Original Article
21	Fauzi M, Murakami T, Yabe D et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	Current understanding of imeglimin action on pancreatic β -cells: Involvement of mitochondria and endoplasmic reticulum homeostasis	Journal of diabetes investigation • 20221201. 2023 Feb; 14(2):186-188	Original Article
22	Ueba Y, Yamauchi I, Hakata T et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	Delayed-onset immune-related adverse events involving the thyroid gland by immune checkpoint inhibitors in combination with chemotherapy: a case report and retrospective cohort study	Endocrine journal • 20221202. 2023 Mar; 70(3):323-332	Original Article
23	Yoshiji S, Minamino H, Tanaka D et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	Effects of glucagon-like peptide-1 receptor agonists on cardiovascular and renal outcomes: A meta-analysis and meta-regression analysis	Diabetes, obesity & metabolism • 202206. 2022 Jun; 24(6):1029-1037	Original Article
24	Hasebe M, Yoshiji S, Keidai Y et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	Efficacy of antihyperglycemic therapies on cardiovascular and heart failure outcomes: an updated meta-analysis and meta-regression analysis of 35 randomized cardiovascular outcome trials	Cardiovascular diabetology • 20230319. 2023 Mar; 22(1):62	Original Article
25	Yamauchi I, Sakane Y, Okuno Y et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	High-throughput Screening in Combination With a Cohort Study for Iodothyronine Deiodinases	Endocrinology • 20220613. 2022 Aug; 163(8):bqac090	Original Article

26	Honda Keith Y, Yamauchi I, Yamane S et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	Hypothyroidism associated with povidone-iodine sugar ointment for chronic cutaneous ulcers	European journal of dermatology : EJD • 20220901. 2022 Sep; 32(5):638-640	Original Article
27	Kiyobayashi S, Murakami T, Harada N et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	Noninvasive Evaluation of GIP Effects on β -Cell Mass Under High-Fat Diet	Frontiers in Endocrinology • 20220712. 2022 Jul; 13:921125	Original Article
28	Fauzi M, Murakami T, Fujimoto H et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	Preservation effect of imeglimin on pancreatic β -cell mass: Noninvasive evaluation using (111)In-exendin-4 SPECT/CT imaging and the perspective of mitochondrial involvements	Frontiers in endocrinology • 2022. 2022 Sep; 13:1010825	Original Article
29	Mori Y, Duru OK, Tuttle KR et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	Sodium-Glucose Cotransporter 2 Inhibitors and New-onset Type 2 Diabetes in Adults With Prediabetes: Systematic Review and Meta-analysis of Randomized Controlled Trials	The Journal of clinical endocrinology and metabolism • 20221011. 2022 Dec; 108(1):221-231	Original Article
30	Tsukaguchi R, Murakami T, Yoshiji S et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	Year-long effects of COVID-19 restrictions on glycemic control and body composition in patients with glucose intolerance in Japan: A single-center retrospective study	Journal of diabetes investigation • 20220818. 2022 Dec; 13(12):2063-2072	Original Article
31	Nishiwaki S, Shizuta S, Tanaka M et al.	循環器内科	A case of preexcitation syndrome showing atypical atrioventricular nodal reentrant tachycardia and orthodromic atrioventricular reciprocating tachycardia with a bystander concealed nodoventricular/nodofascicular pathway	HeartRhythm case reports • 202207. 2022 May; 8(7):529-534	Original Article
32	Nishiwaki S, Naka M, Morinaga A et al.	循環器内科	An irregularly irregular supraventricular tachycardia: What is the mechanism?	Journal of cardiovascular electrophysiology • 20221213. 2023 Jan; 34(1):246-248	Original Article

33	Ikeda S, Ueno Y, Maemura K et al.	循環器内科	Association Between the Development of Thrombosis and Worsening of Disease Severity in Patients With Moderate COVID-19 on Admission - From the CLOT-COVID Study	Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society•20220701. 2023 Feb;87(3):448-455	Original Article
34	Nishiwaki S, Shizuta S, Tanaka M et al.	循環器内科	Atrial pacing successfully suppressed drug- resistant ventricular fibrillation in a patient with early repolarization syndrome	HeartRhythm case reports•202207. 2022 Apr;8(7):488-492	Original Article
35	Yamamoto K, Watanabe H, Morimoto T et al.	循環器内科	Clopidogrel Monotherapy After 1-Month DAPT in Patients With High Bleeding Risk or Complex PCI	JACC. Asia•202302. 2023 Jan;3(1):31-46	Original Article
36	Yamamoto K, Watanabe H, Morimoto T et al.	循環器内科	Clopidogrel Monotherapy After 1-Month Dual Antiplatelet Therapy in Patients With Diabetes Undergoing Percutaneous Coronary Intervention	JACC. Cardiovascular interventions•20230109. 2023 Jan;16(1):19-31	Original Article
37	Obayashi Y, Watanabe H, Morimoto T et al.	循環器内科	Clopidogrel Monotherapy After 1-Month Dual Antiplatelet Therapy in Percutaneous Coronary Intervention: From the STOPDAPT-2 Total Cohort	Circulation. Cardiovascular interventions•202208. 2022 Aug;15(8):e012004	Original Article
38	Ikeda S, Yamashita Y, Morimoto T et al.	循環器内科	Impact of chronic lung disease on long- term clinical outcomes in patients with venous thromboembolism: From the COMMAND VTE registry	European journal of internal medicine• 20221105. 2023 Mar; 109:135-137	Original Article
39	Ogihara Y, Yachi S, Takeyama M et al.	循環器内科	Influence of obesity on incidence of thrombosis and disease severity in patients with COVID-19: From the CLOT-COVID study	Journal of cardiology• 20220829. 2023 Jan; 81(1):105-110	Original Article

40	Toyota T, Morimoto T, Imuro S et al.	循環器内科	Low-Density Lipoprotein Cholesterol Levels on Statins and Cardiovascular Event Risk in Stable Coronary Artery Disease – An Observation From the REAL-CAD Study	Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society • 20230125. 2023 Jan ; 87(2):360–367	Original Article
41	Takeyama M, Yachi S, Nishimoto Y et al.	循環器内科	Mortality-associated Risk Factors in Hospitalized COVID-19 Patients in Japan: Findings of the CLOT-COVID Study	Journal of epidemiology • 20221112. 2023 Mar ; 33(3):150–157	Original Article
42	Takeji Y, Taniguchi T, Morimoto T et al.	循環器内科	Rationale, Design, and Baseline Characteristics of the CURRENT AS Registry-2	Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society • 20220419. 2022 Oct ; 86(11):1769–1776	Original Article
43	Yachi S, Takeyama M, Nishimoto Y et al.	循環器内科	Risk Factors and Impact on Outcomes of Thrombosis in Patients with COVID-19 in Japan: From the CLOT-COVID Study	Annals of vascular diseases • 20230325. 2023 Mar ; 16(1):31–37	Original Article
44	Takeji Y, Morimoto T, Shiomi H et al.	循環器内科	Sex Differences in Clinical Outcomes After Percutaneous Coronary Intervention	Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society • 20221108. 2023 Jan ; 87(2):277–286	Original Article
45	Obayashi Y, Shiomi H, Morimoto T et al.	循環器内科	Stroke Risk Stratification With the CHADS(2) Score in Patients Without Atrial Fibrillation Who Underwent Percutaneous Coronary Intervention	The American journal of cardiology • 20220813. 2022 Oct ; 181:9–17	Original Article
46	Yamashita Y, Yachi S, Takeyama M et al.	循環器内科	Therapeutic-Dose vs. Prophylactic-Dose Anticoagulation Therapy for Critically Ill Patients With COVID-19 in a Practice-Based Observational Study	Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society • 20220603. 2022 Jun ; 86(7):1137–1142	Original Article
47	Aoyama N, Taniguchi Y, Wada M et al.	消化器内科	A case of pancreas divisum with marked dilatation of dorsal pancreatic duct	Clinical journal of gastroenterology • 202212. 2022 Dec ; 15(6):1204–1209	Original Article

48	Watanabe S, Yogo A, Otsubo T et al.	消化器内科	Establishment of patient-derived organoids and a characterization-based drug discovery platform for treatment of pancreatic cancer	BMC cancer•20220503. 2022 May;22(1):489	Original Article
49	Arasawa S, Takeda H, Takai A et al.	消化器内科	Evolutional transition of HBV genome during the persistent infection determined by single-molecule real-time sequencing	Hepatology communications• 20230301. 2023 Feb; 7(3):e0047	Original Article
50	Kumagai K, Shimizu T, Takai A et al.	消化器内科	Expansion of Gastric Intestinal Metaplasia with Copy Number Aberrations Contributes to Field Cancerization	Cancer research• 20220503. 2022 May; 82(9):1712-1723	Original Article
51	Nakamura F, Takeda H, Ueda Y et al.	消化器内科	Mutational spectrum of hepatitis C virus in patients with chronic hepatitis C determined by single molecule real-time sequencing	Scientific reports• 20220430. 2022 Apr; 12(1):7083	Original Article
52	Aoyama N, Inokuma T, Nakanishi Y et al.	消化器内科	Olmesartan-associated sprue-like enteropathy	BMJ case reports• 20221223. 2022 Dec; 15(12):e254189	Original Article
53	Ueda T, Shiina S, Iriguchi S et al.	消化器内科	Optimization of the proliferation and persistency of CAR T cells derived from human induced pluripotent stem cells	Nature biomedical engineering•202301. 2023 Jan;7(1):24-37	Original Article
54	Ueno M, Takeda H, Takai A et al.	消化器内科	Risk factors and diagnostic biomarkers for nonalcoholic fatty liver disease-associated hepatocellular carcinoma: Current evidence and future perspectives	World journal of gastroenterology• 20220721. 2022 Jul; 28(27):3410-3421	Original Article
55	Ajimizu H, Ozasa H, Sato S et al.	呼吸器内科	Author Correction: Survival impact of treatment for chronic obstructive pulmonary disease in patients with advanced non-small-cell lung cancer	Scientific reports• 20230206. 2023 Feb; 13(1):2117	Original Article

56	Sato A, Miyazaki A, Nakamura S.	呼吸器内科	Effectiveness of Tiotropium/Olodaterol in the Real World: A Post Hoc Subgroup Analysis After the First Year of Use	Advances in therapy • 20220810. 2022 Oct; 39(10):4692-4706	Original Article
57	Tamai K, Sakai K, Yamaki H et al.	呼吸器内科	iPSC-derived mesenchymal cells that support alveolar organoid development	Cell Reports Methods • 202210. 2022 Sep; 2(10):100314	Original Article
58	Tanizawa K, Handa T, Nagai S et al.	呼吸器内科	Lung function decline in sarcoidosis	Respiratory Investigation • 202204. 2022 Jul; 60(4):551-561	Original Article
59	Morimoto C, Matsumoto H, Ito I et al.	呼吸器内科	Roles of Staphylococcus aureus and sensitization to staphylococcal enterotoxin in bronchiectasis	Respiratory investigation • 202301. 2023 Jan; 61(1):23-26	Original Article
60	Hashimoto K, Ozasa H, Yoshizawa A et al.	呼吸器内科	Sarcomatoid malignant pleural mesothelioma treated with nivolumab: A case series	Oncology Letters • 20220922. 2022 Sep; 24(5):402	Original Article
61	Yamazoe M, Ozasa H, Tsuji T et al.	呼吸器内科	Yes-associated protein 1 mediates initial cell survival during lorlatinib treatment through AKT signaling in ROS1-rearranged lung cancer	Cancer Science • 20221026. 2023 Feb; 114(2):546-560	Original Article
62	Fukui A, Nakayama Y, Yoshida T et al.	免疫・膠原病内科	A case of intestinal amoebiasis mimicking intestinal Behçet's disease	Modern rheumatology case reports • 20220624. 2022 Jun; 6(2):270-272	Original Article
63	Law SM, Akizuki S, Morinobu A et al.	免疫・膠原病内科	A case of refractory systemic lupus erythematosus with monocytosis exhibiting somatic KRAS mutation	Inflammation and regeneration • 20220401. 2022 Apr; 42(1):10	Original Article
64	Tanaka A, Maeda S, Nomura T et al.	免疫・膠原病内科	Construction of a T cell receptor signaling range for spontaneous development of autoimmune disease	The Journal of experimental medicine • 20230206. 2023 Feb; 220(2):e20220386	Original Article

65	Gon Y, Kandou T, Tsuruyama T et al.	免疫・膠原病内科	Increased number of T cells and exacerbated inflammatory pathophysiology in a human IgG4 knock-in MRL/lpr mouse model	PLOS ONE•20230210. 2023 Feb; 18(2):e0279389	Original Article
66	Yoshida T, Tsuji H, Onishi A et al.	免疫・膠原病内科	Medium-term impact of the SARS-CoV-2 mRNA vaccine against disease activity in patients with systemic lupus erythematosus	Lupus science & medicine•202208. 2022 Aug; 9(1):e000727	Original Article
67	Tabuchi Y, Katsushima M, Nishida Y et al.	免疫・膠原病内科	Oral dextran sulfate sodium administration induces peripheral spondyloarthritis features in SKG mice accompanied by intestinal bacterial translocation and systemic Th1 and Th17 cell activation	Arthritis research & therapy•20220725. 2022 Jul; 24(1):176	Original Article
68	Yoshida T, Yoshifuji H, Shirakashi M et al.	免疫・膠原病内科	Risk factors for the recurrence of relapsing polychondritis	Arthritis research & therapy•20220530. 2022 May; 24(1):127	Original Article
69	Baba D, Jingami N, Minami T et al.	初期診療・救急科	[A case of amyotrophic lateral sclerosis presenting with rapid progression of respiratory deterioration due to severe obesity]	Rinsho shinkeigaku = Clinical neurology• 20220526. 2022 Aug; 62(8):602-608	Original Article
70	Oka N, Kuriyama A.	初期診療・救急科	An approach from the neck to drain expanding pneumomediastinum: a case report	Annals of translational medicine• 20230315. 2023 Mar; 11(5):224	Original Article
71	Kuriyama A, Sakuraya M, Kinjo M et al.	初期診療・救急科	Burnout and Turnover Intention in Critical Care Professionals During the COVID-19 Pandemic in Japan: A Cross-sectional Survey	Annals of the American Thoracic Society• 20220919. 2023 Feb; 20(2):262-268	Original Article
72	Okada Y, Komukai S, Kitamura T et al.	初期診療・救急科	Clustering out-of-hospital cardiac arrest patients with non-shockable rhythm by machine learning latent class analysis	Acute Medicine & Surgery• 20220527. 2022 May; 9(1):e760	Original Article

73	Sato M, Kuriyama A.	初期診療・救急科	Countering hemorrhagic shock due to duodenal variceal rupture with resuscitative endovascular balloon occlusion of the aorta	The American journal of emergency medicine • 202302. 2023 Feb;64:204	Original Article
74	Fujinaga J, Kuriyama A, Onodera M.	初期診療・救急科	Early administration of mucoactive agents and ventilator-free days: a propensity score-matched study	Annals of translational medicine • 20230315. 2023 Mar;11(5):195	Original Article
75	Tabah A, Buetti N, Staiquily Q et al.	初期診療・救急科	Epidemiology and outcomes of hospital-acquired bloodstream infections in intensive care unit patients: the EUROBACT-2 international cohort study	Intensive care medicine • 202302. 2023 Feb; 49(2):178-190	Original Article
76	Minami T, Kai S, Tanaka T et al.	初期診療・救急科	Non-invasive ventilation using a novel ventilator and non-vented full-face mask for patients with respiratory failure during the COVID-19 pandemic: Report of three cases	Respiratory investigation • 20220406. 2022 Jul; 60(4):607-611	Original Article
77	Kitajima N, Yamada H, Minami T et al.	初期診療・救急科	Optimal Evidence Grading of Simultaneous Use of Hypertonic Saline and Furosemide for Fluid Overload	Critical care medicine • 20220401. 2022 Apr; 50(4):e405-e406	Original Article
78	Reichert M, Sartelli M, Askevold IH et al.	初期診療・救急科	Pediatric trauma and emergency surgery: an international cross-sectional survey among WSES members	World journal of emergency surgery : WJES • 20230113. 2023 Jan; 18(1):6	Original Article
79	Nishimura M, Toyama M, Mori H et al.	初期診療・救急科	Providing End-of-Life Care for Patients Dying of COVID-19 and Their Families in Isolated Death During the Pandemic in Japan: The Providing End-of-life Care for COVID-19 Project	Chest • 20221015. 2023 Feb; 163(2):383-395	Original Article
80	Tokuyama Y, Yamada H, Shinozuka K et al.	初期診療・救急科	Pyogenic sacroiliitis caused by Salmonella schwarzengrund in a young healthy woman: a case report and literature review	International journal of emergency medicine • 20230320. 2023 Mar; 16(1):21	Original Article

81	Cobianchi L, Piccolo D, Dal Mas F et al.	初期診療・救急科	Surgeons' perspectives on artificial intelligence to support clinical decision-making in trauma and emergency contexts: results from an international survey	World journal of emergency surgery : WJES•20230103. 2023 Jan;18(1):1	Original Article
82	Katsura M, Kondo Y, Yasuda H et al.	初期診療・救急科	Therapeutic strategies for pseudoaneurysm following blunt liver and spleen injuries: A multicenter cohort study in the pediatric population	The journal of trauma and acute care surgery • 20221017. 2023 Mar; 94(3):433-442	Original Article
83	Cobianchi L, Dal Mas F, Agnoletti V et al.	初期診療・救急科	Time for a paradigm shift in shared decision-making in trauma and emergency surgery? Results from an international survey	World journal of emergency surgery : WJES•20230217. 2023 Feb;18(1):14	Original Article
84	Chen S, Fukasawa T, Ikeda A et al.	脳神経内科	Adherence to and persistence with lacosamide, perampanel, lamotrigine, and levetiracetam in adult patients with focal epilepsy in Japan: A descriptive cohort study using a claims database	Heliyon•202303. 2023 Mar;9(4):e15017	Original Article
85	Tanaka T, Fukuma K, Abe S et al.	脳神経内科	Association of Cortical Superficial Siderosis with Post-Stroke Epilepsy	Annals of neurology • 20220901. 2023 Feb; 93(2):357-370	Original Article
86	Sawamura M, Imamura K, Hikawa R et al.	脳神経内科	Cellular analysis of SOD1 protein-aggregation propensity and toxicity: a case of ALS with slow progression harboring homozygous SOD1-D92G mutation	Scientific reports • 20220725. 2022 Jul; 12(1):12636	Original Article
87	Kajikawa S, Matsuhashi M, Kobayashi K et al.	脳神経内科	Corrigendum to "Two types of clinical ictal direct current shifts in invasive EEG of intractable focal epilepsy identified by waveform cluster analysis" [Clin. Neurophysiol. 137 (2022) 113-121]	Clinical neurophysiology : official journal of the International Federation of Clinical Neurophysiology • 202210. 2022 Oct; 142:277	Original Article

88	Sultana S, Hitomi T, Daifu Kobayashi M et al.	脳神経内科	Corrigendum: A Long Time Constant May Endorse Sharp Waves and Spikes Over Sharp Transients in Scalp Electroencephalography: A Comparison of After-Slow Among Different Time Constants Concordant With High-Frequency Activity Analysis	Frontiers in human neuroscience • 2022. 2022 May; 16:889046	Original Article
89	Togo M, Matsumoto R, Usami K et al.	脳神経内科	Distinct connectivity patterns in human medial parietal cortices: Evidence from standardized connectivity map using cortico-cortical evoked potential	NeuroImage • 20220922. 2022 Nov; 263:119639	Original Article
90	Inoue R, Sawamura M, Yoshimura M et al.	脳神経内科	Dropped head syndrome due to chemoradiotherapy for nasal lymphoma, characterised by short tau inversion recovery high signal intensity in the cervical paraspinal muscles	BMJ case reports • 20221111. 2022 Nov; 15(11):e252446	Original Article
91	Minamiyama S, Sakai M, Yamaguchi Y et al.	脳神経内科	Efficacy of oligodendrocyte precursor cells as delivery vehicles for single-chain variable fragment to misfolded SOD1 in ALS rat model	Molecular Therapy – Methods & Clinical Development • 202302. 2023 Feb; 28:312–329	Original Article
92	Sawamura M, Onoe H, Tsukada H et al.	脳神経内科	Lewy Body Disease Primate Model with α -Synuclein Propagation from the Olfactory Bulb	Movement disorders : official journal of the Movement Disorder Society • 20220821. 2022 Oct; 37(10):2033–2044	Original Article
93	Furukawa K, Shima A, Kambe D et al.	脳神経内科	Motor Progression and Nigrostriatal Neurodegeneration in Parkinson Disease	Annals of neurology • 20220415. 2022 Jul; 92(1):110–121	Original Article
94	Bayasgalan B, Matsuhashi M, Fumuro T et al.	脳神経内科	Neural Sources of Vagus Nerve Stimulation-Induced Slow Cortical Potentials	Neuromodulation: Technology at the Neural Interface • 202204. 2022 Apr; 25(3):407–413	Original Article

95	Tsukita K, Kitamata M, Kashihara H et al.	脳神経内科	Phase separation of an actin nucleator by junctional microtubules regulates epithelial function	Science advances • 20230215. 2023 Feb; 9(7):eadf6358	Original Article
96	Imamura K, Izumi Y, Nagai M et al.	脳神経内科	Safety and tolerability of bosutinib in patients with amyotrophic lateral sclerosis (iDReAM study): A multicentre, open-label, dose-escalation phase 1 trial	eClinicalMedicine • 202210. 2022 Oct; 53:101707	Original Article
97	Tamaki Y, Ross JP, Alipour P et al.	脳神経内科	Spinal cord extracts of amyotrophic lateral sclerosis spread TDP-43 pathology in cerebral organoids	PLoS genetics • 20230206. 2023 Feb; 19(2):e1010606	Original Article
98	Okuda S, Nakayama T, Uemura N et al.	脳神経内科	Striatal-Inoculation of α -Synuclein Preformed Fibrils Aggravated the Phenotypes of REM Sleep without Atonia in A53T BAC-SNCA Transgenic Mice	International journal of molecular sciences • 20221102. 2022 Nov; 23(21):13390	Original Article
99	Hamatani M, Ochi H, Kimura K et al.	脳神経内科	T cells from MS Patients with High Disease Severity Are Insensitive to an Immune-Suppressive Effect of Sulfatide	Molecular neurobiology • 20220611. 2022 Sep; 59(9):5276-5283	Original Article
100	Kajikawa S, Matsuhashi M, Kobayashi K et al.	脳神経内科	Two types of clinical ictal direct current shifts in invasive EEG of intractable focal epilepsy identified by waveform cluster analysis	Clinical neurophysiology : official journal of the International Federation of Clinical Neurophysiology • 202205. 2022 May; 137:113-121	Original Article
101	Sugawara Y, Hirakawa Y, Nagasu H et al.	腎臓内科	Genome-wide association study of the risk of chronic kidney disease and kidney-related traits in the Japanese population: J-Kidney-Biobank	Journal of human genetics • 20221121. 2023 Feb; 68(2):55-64	Original Article
102	Kaneko K, Sato Y, Uchino E et al.	腎臓内科	Lineage tracing analysis defines erythropoietin-producing cells as a distinct subpopulation of resident fibroblasts with unique behaviors	Kidney international • 202208. 2022 Aug; 102(2):280-292	Original Article

103	Arai H, Yokoi H, Cho K et al.	腎臓内科	Resuscitation from severe accidental hypothermia by active core rewarming via an indwelling peritoneal dialysis catheter	The American journal of emergency medicine • 202205. 2022 May;55:226	Original Article
104	Nakamura J, Yamamoto T, Takabatake Y et al.	腎臓内科	TFEB-mediated lysosomal exocytosis alleviates high-fat diet-induced lipotoxicity in the kidney	JCI insight • 20230117. 2023 Feb;8(4):e162498	Original Article
105	Choi J, Matoba N, Setoyama D et al.	腎臓内科	The SGLT2 inhibitor empagliflozin improves cardiac energy status via mitochondrial ATP production in diabetic mice	Communications biology • 20230317. 2023 Mar; 6(1):278	Original Article
106	Ikuta K, Nakagawa S, Yamawaki C et al.	腎臓内科	Use of proton pump inhibitors and macrolide antibiotics and risk of acute kidney injury: a self-controlled case series study	BMC nephrology • 20221130. 2022 Nov; 23(1):383	Original Article
107	Uneno Y, Iwai M, Morikawa N et al.	腫瘍内科	Development of a national health policy logic model to accelerate the integration of oncology and palliative care: a nationwide Delphi survey in Japan	International Journal of Clinical Oncology • 202209. 2022 Sep; 27(9):1529-1542	Original Article
108	Inoue T, Ishihara R, Shibata T et al.	腫瘍内科	Endoscopic imaging modalities for diagnosing the invasion depth of superficial esophageal squamous cell carcinoma: a systematic review	Esophagus : official journal of the Japan Esophageal Society • 202207. 2022 Jul; 19(3):375-383	Original Article
109	Nihei K, Minashi K, Yano T et al.	腫瘍内科	Final Analysis of Diagnostic Endoscopic Resection Followed by Selective Chemoradiotherapy for Stage I Esophageal Cancer: JCOG0508	Gastroenterology • 20221011. 2023 Feb; 164(2):296-299	Original Article

110	Ioka T, Kanai M, Kobayashi S et al.	腫瘍内科	Randomized phase III study of gemcitabine, cisplatin plus S-1 versus gemcitabine, cisplatin for advanced biliary tract cancer (KHBO1401-MITSUBA)	Journal of hepato-biliary-pancreatic sciences • 20220728. 2023 Jan; 30(1):102-110	Original Article
111	Suzuki T, Tsunoda S, Yamashita K et al.	消化管外科	A Simple Preparation Method of Gelatin Hydrogels Incorporating Cisplatin for Sustained Release	Pharmaceutics • 20221125. 2022 Nov; 14(12):2601	Original Article
112	Kawada K, Hanada K, Yokoyama D et al.	消化管外科	Combined laparoscopic and transperineal total pelvic exenteration for recurrent rectal cancer—a video vignette	Colorectal disease : the official journal of the Association of Coloproctology of Great Britain and Ireland • 20220824. 2023 Feb; 25(2):333-334	Original Article
113	Kawada K, Wada T, Yamamoto T et al.	消化管外科	Correlation between Colon Perfusion and Postoperative Fecal Output through a Transanal Drainage Tube during Laparoscopic Low Anterior Resection	Cancers • 20220508. 2022 May; 14(9):2328	Original Article
114	Sakamoto Y, Sasaki K, Omatsu M et al.	消化管外科	Differential involvement of LUBAC-mediated linear ubiquitination in intestinal epithelial cells and macrophages during intestinal inflammation	The Journal of pathology • 20221201. 2023 Mar; 259(3):304-317	Original Article
115	Hanada K, Kawada K, Okada T et al.	消化管外科	Laparoscopic redo coloanal anastomosis for rectovaginal fistula following transanal total mesorectal excision – a video vignette	Colorectal disease : the official journal of the Association of Coloproctology of Great Britain and Ireland • 20220825. 2023 Feb; 25(2):335-336	Original Article
116	Aisu Y, Okada T, Sumii A et al.	消化管外科	Laparoscopic surgery for median arcuate ligament syndrome using real-time stereotactic navigation	Asian journal of endoscopic surgery • 202204. 2022 Apr; 15(2):443-448	Original Article

117	Murakami K, Obama K, Kanaya S et al.	消化管外科	Mesenteric closure after laparoscopic total gastrectomy with Roux-en-Y reconstruction is effective for prevention of internal hernia: a multicenter retrospective study	Surgical endoscopy • 202206. 2022 Jun; 36(6):4181-4188	Original Article
118	Kawai K, Shiomi A, Miura T et al.	消化管外科	Optimal diagnostic criteria for lateral lymph node dissection using magnetic resonance imaging: a multicenter prospective study	ANZ journal of surgery • 20220907. 2023 Jan; 93(1-2):206-213	Original Article
119	Wada T, Kawada K, Hanada K et al.	消化管外科	Quantitative Analysis of Colonic Perfusion Using ICG Fluorescence Angiography and Its Consequences for Anastomotic Healing in a Rat Model	Cancers • 20220820. 2022 Aug; 14(16):4024	Original Article
120	Kawada K, Itatani Y, Horie A et al.	消化管外科	Robotic Posterior Exenteration for Locally Advanced Rectal Cancer with Rectovaginal Fistula	Annals of surgical oncology • 20220823. 2022 Dec; 29(13):8211-8212	Original Article
121	Kawada K, Okada T, Masui K et al.	消化管外科	Robotic supralevator total pelvic exenteration with lateral pelvic sidewall dissection for rectal cancer	Techniques in coloproctology • 202209. 2022 Sep; 26(9):761-762	Original Article
122	Shimoike N, Nishigori T, Yamashita Y et al.	消化管外科	Safety assessment of robotic gastrectomy and analysis of surgical learning process: a multicenter cohort study	Gastric cancer : official journal of the International Gastric Cancer Association and the Japanese Gastric Cancer Association • 202207. 2022 Jul; 25(4):817-826	Original Article
123	Ideyama R, Okuchi Y, Kawada K et al.	消化管外科	Strangulated small bowel obstruction caused by isolated obturator nerve and pelvic vessels after pelvic lymphadenectomy in gynecologic surgery: two case reports	Surgical case reports • 20220530. 2022 May; 8(1):104	Original Article

124	Kinoshita H, Kawada K, Itatani Y et al.	消化管外科	Timing of real-time indocyanine green fluorescence visualization for lymph node dissection during laparoscopic colon cancer surgery	Langenbeck's Archives of Surgery • 20230118. 2023 Jan; 408(1):38	Original Article
125	Mori T, Okamoto Y, Mu A et al.	乳腺外科	Lack of impact of the ALDH2 rs671 variant on breast cancer development in Japanese BRCA1/2-mutation carriers	Cancer medicine • 20221107. 2023 Mar; 12(6):6594-6602	Original Article
126	Vandenbon A, Mizuno R, Konishi R et al.	乳腺外科	Murine breast cancers disorganize the liver transcriptome in a zoned manner	Communications biology • 20230124. 2023 Jan; 6(1):97	Original Article
127	Saji S, Taira N, Kitada M et al.	乳腺外科	Switch maintenance endocrine therapy plus bevacizumab after bevacizumab plus paclitaxel in advanced or metastatic oestrogen receptor-positive, HER2-negative breast cancer (BOOSTER): a randomised, open-label, phase 2 trial	The Lancet. Oncology • 202205. 2022 May; 23(5):636-649	Original Article
128	Kawaguchi K, Maeshima Y, Toi M.	乳腺外科	Tumor immune microenvironment and systemic response in breast cancer	Medical oncology (Northwood, London, England) • 20220929. 2022 Sep; 39(12):208	Original Article
129	Cui G, Shimba A, Jin J et al.	肝胆胰・移植外科	A circulating subset of iNKT cells mediates antitumor and antiviral immunity	Science immunology • 20221028. 2022 Oct; 7(76):eabj8760	Original Article
130	Yoh T, Ishii T, Nishio T et al.	肝胆胰・移植外科	A Conceptual Classification of Resectability for Hepatocellular Carcinoma	World journal of surgery • 202303. 2023 Mar; 47(3):740-748	Original Article
131	Yao S, Iwashita A, Yagi S et al.	肝胆胰・移植外科	Acute coronary syndrome after liver transplantation in a young primary biliary cholangitis recipient with dyslipidemia: a case report	Surgical case reports • 20220617. 2022 Jun; 8(1):113	Original Article

132	Uemoto Y, Taura K, Nakamura D et al.	肝胆膾・移植外科	Bile Duct Regeneration with an Artificial Bile Duct Made of Gelatin Hydrogel Nonwoven Fabrics	Tissue engineering. Part A•20220621. 2022 Sep; 28(17-18):737-748	Original Article
133	Kimura Y, Koyama Y, Taura K et al.	肝胆膾・移植外科	Characterization and role of collagen gene expressing hepatic cells following partial hepatectomy in mice	Hepatology (Baltimore, Md.)•20220523. 2023 Feb;77(2):443-455	Original Article
134	Yoh T, Ishii T, Nishio T et al.	肝胆膾・移植外科	Correction: A Conceptual Classification of Resectability for Hepatocellular Carcinoma	World journal of surgery• 202303. 2023 Mar; 47(3):749	Original Article
135	Nishio T, Ito T, Hata K et al.	肝胆膾・移植外科	Current status of liver transplantation for non-B non-C liver cirrhosis and hepatocellular carcinoma	Annals of gastroenterological surgery•202301. 2022 Aug;7(1):42-52	Original Article
136	Kawai T, Ishii T, Uchida Y et al.	肝胆膾・移植外科	Impact of anatomical liver resection on patient survival in KRAS-wild-type colorectal liver metastasis: A multicenter retrospective study	Surgery•202210. 2022 Oct;172(4):1133-1140	Original Article
137	Hori Y, Seo S, Yoh T et al.	肝胆膾・移植外科	Impact of Preoperative CEA Uptrend on Survival Outcomes in Patients with Colorectal Liver Metastasis After Hepatectomy	Annals of surgical oncology•20220612. 2022 Oct;29(11):6745-6754	Original Article
138	Hai Nam N, Taura K, Koyama Y et al.	肝胆膾・移植外科	Increased Expressions of Programmed Death Ligand 1 and Galectin 9 in Transplant Recipients Who Achieved Tolerance After Immunosuppression Withdrawal	Liver transplantation : official publication of the American Association for the Study of Liver Diseases and the International Liver Transplantation Society• 202204. 2022 Apr; 28(4):647-658	Original Article

139	Yao S, Taura K, Yoh T et al.	肝胆膺・移植外科	Nonsuperiority of technetium-99m-galactosyl human serum albumin scintigraphy over conventional volumetry for assessing the future liver remnant in patients undergoing hepatectomy after portal vein embolization	Surgery・202302. 2023 Feb;173(2):435-441	Original Article
140	Nagai K, Masui T, Kyogoku T et al.	肝胆膺・移植外科	Pancreatoduodenectomy with portal vein resection for pancreatic body cancer in a patient with situs inversus totalis	Surgical oncology・20220708. 2022 Aug; 43:101815	Original Article
141	Itohara K, Yano I, Nakagawa S et al.	肝胆膺・移植外科	Population pharmacokinetics of everolimus in adult liver transplant patients: Comparison to tacrolimus disposition and extrapolation to pediatrics	Clinical and translational science・20220825. 2022 Nov;15(11):2652-2662	Original Article
142	Okura K, Seo S, Shimizu H et al.	肝胆膺・移植外科	Primary hepatic extranodal marginal zone B-cell mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma treated by laparoscopic partial hepatectomy: a case report	Surgical case reports・20230227. 2023 Feb; 9(1):29	Original Article
143	Makino K, Ishii T, Yoh T et al.	肝胆膺・移植外科	The usefulness of preoperative bile cultures for hepatectomy with biliary reconstruction	Heliyon・202212. 2022 Dec;8(12):e12226	Original Article
144	Konegawa Y, Kuwahara T, Jo JI et al.	心臟血管外科	Pioglitazone-incorporated microspheres targeting macrophage polarization alleviates cardiac dysfunction after myocardial infarction	European journal of cardio-thoracic surgery : official journal of the European Association for Cardio-thoracic Surgery・20220810. 2022 Oct; 62(5):ezac414	Original Article
145	Yutaka Y, Sato T, Date H.	呼吸器外科	[Intraoperative Margin Assessment during Thoracoscopic Sublobar Resection Using Radiofrequency Identification Microchip]	Kyobu geka. The Japanese journal of thoracic surgery・202301. 2023 Jan;76(1):26-32	Original Article

146	Ishikawa H, Menju T, Toyazaki T et al.	呼吸器外科	A novel cell-based assay for the high-throughput screening of epithelial-mesenchymal transition inhibitors: Identification of approved and investigational drugs that inhibit epithelial-mesenchymal transition	Lung cancer (Amsterdam, Netherlands)•202301. 2023 Jan; 175:36-46	Original Article
147	Katada Y, Nakagawa S, Itohara K et al.	呼吸器外科	Association between time in therapeutic range of tacrolimus blood concentration and acute rejection within the first three months after lung transplantation	Journal of pharmaceutical health care and sciences• 20221001. 2022 Oct; 8(1):25	Original Article
148	Miyamoto A, Michimae H, Nakahara Y et al.	呼吸器外科	Chemotherapy versus best supportive care in advanced lung cancer and idiopathic interstitial pneumonias: A retrospective multi-centre cohort study	Respiratory investigation• 20221207. 2023 Mar; 61(2):284-295	Original Article
149	Yutaka Y, Tanaka S, Yamada Y et al.	呼吸器外科	Fissure-last technique for left upper lobe lung cancer with interlobar invasion: how to do it?	General thoracic and cardiovascular surgery• 20220613. 2022 Sep; 70(9):828-831	Original Article
150	Umemura K, Katada Y, Nakagawa S et al.	呼吸器外科	Improved absorption of itraconazole tablet by co-administration with lemon beverages in a lung transplant recipient: A case report	Journal of infection and chemotherapy : official journal of the Japan Society of Chemotherapy• 202208. 2022 Aug; 28(8):1203-1207	Original Article
151	Yutaka Y, Kawashima M, Toshi M et al.	呼吸器外科	Indocyanine green-enhanced thoroscopic localization of parasternal lymph node: How to do it	Asian cardiovascular & thoracic annals•20220426. 2022 Jul; 30(6):743-745	Original Article
152	Yutaka Y, Date H.	呼吸器外科	Is a single port enough for the learned thoracic surgeons?	Journal of thoracic disease•20230228. 2023 Feb; 15(2):250-252	Original Article

153	Fujimoto R, Nakajima D, Yutaka Y et al.	呼吸器外科	Long-Term Persisting Donor-Derived Human Leukocyte Antigen Antibody as a Possible Passenger Lymphocyte Syndrome Following Lung Transplantation: A Case Report	Transplantation proceedings • 202209. 2022 Sep; 54(7):1913-1917	Original Article
154	Miyata R, Hasegawa K, Menju T et al.	呼吸器外科	Lung fibrogenic microenvironment in mouse reconstitutes human alveolar structure and lung tumor	iScience • 20220916. 2022 Aug; 25(9):104912	Original Article
155	Tamari S, Menju T, Toyazaki T et al.	呼吸器外科	Nrf2/p-Fyn/ABCB1 axis accompanied by p-Fyn nuclear accumulation plays pivotal roles in vinorelbine resistance in non-small cell lung cancer	Oncology reports • 202210. 2022 Oct; 48(4):171	Original Article
156	Yamada Y, Sato T, Harada N et al.	呼吸器外科	Perioperative diabetes mellitus affects the outcomes of lung transplant recipients	European journal of cardio-thoracic surgery : official journal of the European Association for Cardio-thoracic Surgery • 20220615. 2022 Jun; 62(1):ezac344	Original Article
157	Miyata R, Hamaji M, Nakakura A et al.	呼吸器外科	Postoperative tegafur-uracil for stage I lung adenocarcinoma: first real-world data with an exploratory subgroup analysis	Surgery today • 202301. 2023 Jan; 53(1):135-144	Original Article
158	Yutaka Y, Terada K, Tanaka S et al.	呼吸器外科	Prognostic impact of pathologically confirmed rib invasion in patients with lung cancer requiring chest wall resection	JOURNAL OF THORACIC DISEASE • 202211. 2022 Dec; 14(12):4660-4668	Original Article
159	Sato T, Tanaka S, Akazawa C et al.	呼吸器外科	Provider-Documented Dyspnea in Intensive Care Unit After Lung Transplantation	Transplantation Proceedings • 202209. 2022 Oct; 54(8):2337-2343	Original Article
160	Ohsumi A, Yutaka Y, Date H.	呼吸器外科	Robot-assisted segmentectomy for small lung cancer using a radiofrequency identification marker	Asian cardiovascular & thoracic annals • 202302. 2023 Feb; 31(2):151-153	Original Article

161	Hashimoto R, Takahashi J, Shirakura K et al.	呼吸器外科	SARS-CoV-2 disrupts respiratory vascular barriers by suppressing Claudin-5 expression	Science advances • 20220923. 2022 Sep; 8(38):eabo6783	Original Article
162	Ohsumi A, Kayawake H, Yamada Y et al.	呼吸器外科	Strategy for lung parenchyma-sparing bronchial resection: a case series report	Interactive cardiovascular and thoracic surgery • 20220709. 2022 Jul; 35(2):ivac166	Original Article
163	Date N, Yutaka Y, Date H.	呼吸器外科	Successful lung-sparing carinal reconstruction after induction chemoradiotherapy for carinal cancer via median sternotomy: Reefing bronchial membrane technique	JTCVS techniques • 202302. 2022 Oct; 17:170-173	Original Article
164	Nishi H, Ikeda H, Ishii A et al.	脳神経外科	A multicenter prospective registry of Borden type I dural arteriovenous fistula: results of a 3-year follow-up study	Neuroradiology • 202204. 2022 Apr; 64(4):795-805	Original Article
165	Hattori EY, Masuda T, Mineharu Y et al.	脳神経外科	A RUNX-targeted gene switch-off approach modulates the BIRC5/PIF1-p21 pathway and reduces glioblastoma growth in mice	Communications biology • 20220909. 2022 Sep; 5(1):939	Original Article
166	Hattori EY, Masuda T, Mineharu Y et al.	脳神経外科	Author Correction: A RUNX-targeted gene switch-off approach modulates the BIRC5/PIF1-p21 pathway and reduces glioblastoma growth in mice	Communications biology • 20220927. 2022 Sep; 5(1):1021	Original Article
167	Oichi Y, Mineharu Y, Agawa Y et al.	脳神経外科	Characterization of Moyamoya and Middle Cerebral Artery Diseases by Carotid Canal Diameter and RNF213 p.R4810K Genotype	Journal of stroke and cerebrovascular diseases : the official journal of National Stroke Association • 20220414. 2022 Jun; 31(6):106481	Original Article
168	Matsui Y, Mineharu Y, Noguchi Y et al.	脳神経外科	Chlorambucil-conjugated PI-polyamides (Chb-M'), a transcription inhibitor of RUNX family, has an anti-tumor activity against SHH-type medulloblastoma with p53 mutation	Biochemical and biophysical research communications • 20220910. 2022 Sep; 620:150-157	Original Article

169	Ueda M, Usami K, Yamao Y et al.	脳神経外科	Correlation between brain functional connectivity and neurocognitive function in patients with left frontal glioma	Scientific reports • 20221108. 2022 Nov; 12(1):18302	Original Article
170	Mitani K, Funaki T, Tanji M et al.	脳神経外科	Detecting immunoglobulin G4- related intracranial arteriopathy with magnetic resonance vessel wall imaging: a preliminary experience in two cases	BMC neurology • 20221212. 2022 Dec; 22(1):476	Original Article
171	Kawasaki T, Kikuchi T, Otani K et al.	脳神経外科	Intraoperative cone- beam CT with metal artifact reduction for assessment of the electrode position and the intracranial structures during deep brain stimulation procedure	Acta neurochirurgica • 202209. 2022 Sep; 164(9):2309–2316	Original Article
172	Nakamura Y, Mineharu Y, Kamata T et al.	脳神経外科	Lack of Association between Seropositivity of Vasculopathy- Related Viruses and Moyamoya Disease	Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases • 202207. 2022 Jul; 31(7):106509	Original Article
173	Funaki T, Miyakoshi A, Kataoka H et al.	脳神経外科	Larger Posterior Revascularization Associated with Reduction of Choroidal Anastomosis in Moyamoya Disease: A Quantitative Angiographic Analysis	AJNR. American journal of neuroradiology • 202209. 2022 Sep; 43(9):1279– 1285	Original Article
174	Yoshida K, Funaki T, Okawa M et al.	脳神経外科	Long Sylvian Approach for Proximal Middle Cerebral Artery Aneurysm	World neurosurgery • 202208. 2022 Aug; 164:347	Original Article
175	Natsume A, Arakawa Y, Narita Y et al.	脳神経外科	The first-in-human phase I study of a brain-penetrant mutant IDH1 inhibitor DS-1001 in patients with recurrent or progressive IDH1- mutant gliomas	Neuro-oncology • 20220620. 2023 Feb; 25(2):326–336	Original Article

176	Morino K, Miyake M, Kamei T et al.	眼科	Association between central serous chorioretinopathy susceptibility genes and choroidal parameters	Japanese journal of ophthalmology•20221001. 2022 Nov;66(6):504-510	Original Article
177	Yoshida M, Suda K, Oishi A et al.	眼科	Bilateral Orbital Inflammation as a Manifestation of Paraneoplastic Syndrome	Case reports in ophthalmology•2022. 2022 Jul;13(2):534-541	Original Article
178	Iwai S, Hasegawa T, Ikeda HO et al.	眼科	Branched Chain Amino Acids Promote ATP Production Via Translocation of Glucose Transporters	Investigative Ophthalmology & Visual Science•20220805. 2022 Aug;63(9):7	Original Article
179	Okamoto Y, Akagi T, Kameda T et al.	眼科	Changes in the deep vasculature assessed using anterior segment OCT angiography following trabecular meshwork targeted minimally invasive glaucoma surgery	Scientific reports• 20221013. 2022 Oct;12(1):17187	Original Article
180	Tagawa M, Ooto S, Yamashiro K et al.	眼科	Choriocapillaris flow deficit in a pachychoroid spectrum disease using en face optical coherence tomography angiography averaging	PloS one•2022. 2022 Sep;17(9):e0271747	Original Article
181	Kamei T, Ooto S, Uji A et al.	眼科	CHORIOCAPILLARIS STRUCTURE IN THE FELLOW EYES OF PATIENTS WITH NEOVASCULAR AGE-RELATED MACULAR DEGENERATION: An OCT Angiography Image Averaging Study	Retina•202302. 2023 Feb;43(2):286-293	Original Article
182	Terada N, Murakami T, Ishihara K et al.	眼科	Clinical Relevance of Parafoveal Intercapillary Spaces and Foveal Avascular Zone in Diabetic Retinopathy Without Macular Edema	Investigative Ophthalmology & Visual Science•20221102. 2022 Nov;63(12):4	Original Article

183	Kawai K, Murakami T, Mori Y et al.	眼科	Clinically Significant Nonperfusion Areas on Widefield OCT Angiography in Diabetic Retinopathy	Ophthalmology Science • 202303. 2022 Nov; 3(1):100241	Original Article
184	Ura S, Miyata M, Ooto S et al.	眼科	CONTRAST-TO- NOISE RATIO IS A USEFUL PREDICTOR OF EARLY DISPLACEMENT OF LARGE SUBMACULAR HEMORRHAGE BY INTRAVITREAL SF6 GAS INJECTION	Retina (Philadelphia, Pa.) • 20220401. 2022 Apr; 42(4):661-668	Original Article
185	Sakaguchi S, Muraoka Y, Nishigori N et al.	眼科	DETECTION AND CHARACTERISTICS OF UNRUPTURED RETINAL ARTERIAL MACROANEURYSM S	Retina • 202210. 2022 Oct; 42(10):1909-1914	Original Article
186	Aisu N, Miyake M, Hosoda Y et al.	眼科	Effectiveness of Reduced-fluence Photodynamic Therapy for Chronic Central Serous Chorioretinopathy: A Propensity Score Analysis	Ophthalmology Science • 202204. 2022 Apr; 2(2):100152	Original Article
187	Nishikawa K, Murakami T, Ishihara K et al.	眼科	Factors predicting the treatment frequency of ranibizumab injections during the second year in diabetic macular edema	Japanese Journal of Ophthalmology • 202205. 2022 May; 66(3):296-304	Original Article
188	Mori Y, Miyake M, Hosoda Y et al.	眼科	Genome-wide Survival Analysis for Macular Neovascularization Development in Central Serous Chorioretinopathy Revealed Shared Genetic Susceptibility with Polypoidal Choroidal Vasculopathy	Ophthalmology • 20220428. 2022 Sep; 129(9):1034- 1042	Original Article
189	Miyake M, Akiyama M, Kashiwagi K et al.	眼科	Japan Ocular Imaging Registry: a national ophthalmology real- world database	Japanese journal of ophthalmology • 20220923. 2022 Nov; 66(6):499-503	Original Article

190	Nishigori N, Muraoka Y, Ishikura M et al.	眼科	MACULAR BLOOD FLOW CHANGES IN BRANCH RETINAL VEIN OCCLUSION EXAMINED BY OPTICAL COHERENCE TOMOGRAPHY ANGIOGRAPHY VARIABLE INTERSCAN TIME ANALYSIS	Retina • 20220815. 2022 Nov; 42(11):2210–2217	Original Article
191	Yagi M, Miyake M, Mori Y et al.	眼科	Natural Course of Pachychoroid Pigment Epitheliopathy	Ophthalmology Science • 202207. 2022 Jul; 2(4):100201	Original Article
192	Ideyama M, Muraoka Y, Kawai K et al.	眼科	Pigmentary lesions in eyes with rhegmatogenous retinal detachment with flap tears: a retrospective observational study	Scientific reports • 20220721. 2022 Jul; 12(1):12470	Original Article
193	Miyata M, Ooto S, Muraoka Y.	眼科	Punctate inner choroidopathy immediately after COVID-19 infection: a case report	BMC ophthalmology • 20220707. 2022 Jul; 22(1):297	Original Article
194	Yoshida M, Oishi A, Miyake M et al.	眼科	Rescue photodynamic therapy for age-related macular degeneration refractory to anti-vascular endothelial growth factor monotherapy	Photodiagnosis and photodynamic therapy • 202206. 2022 Jun; 38:102745	Original Article
195	Ishikura M, Muraoka Y, Nishigori N et al.	眼科	Widefield Choroidal Thickness of Eyes with Central Serous Chorioretinopathy Examined by Swept-Source OCT	Ophthalmology. Retina • 20220415. 2022 Oct; 6(10):949–956	Original Article
196	Okano T, Sakamoto T, Ishikawa S et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Disinfection of otorhinolaryngological endoscopes with electrolyzed acid water: A cross-sectional and multicenter study	PLoS one • 2022. 2022 Oct; 17(10):e0275488	Original Article
197	Tanigami Y, Kawai Y, Kaba S et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Establishment of a radiation-induced vocal fold fibrosis mouse model	Biochemical and biophysical research communications • 20220423. 2022 Apr; 601:31–37	Original Article

198	Kawai Y, Mizuta M, Tateya I et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Intraoperative computed tomography imaging for laryngoplasty	Auris, nasus, larynx• 202302. 2023 Feb; 50(1):94-101	Original Article
199	Iemura-Kashiwagi M, Okano T, Iwai N et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Prognosis of otitis media with effusion in pediatric patients with cleft palate during language-acquisition period treated by simultaneous tympanostomy tube placement with palatoplasty	International journal of pediatric otorhinolaryngology• 202204. 2022 Apr; 155:111071	Original Article
200	Matsunaga M, Yamamoto R, Kita T et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Stepwise fate conversion of supporting cells to sensory hair cells in the chick auditory epithelium	iScience•20230217. 2023 Jan;26(2):106046	Original Article
201	Kashiwagi M, Nakao K, Yamanaka S et al.	歯科口腔外科	Circulatory C-type natriuretic peptide reduces mucopolysaccharidosis-associated craniofacial hypoplasia in vivo	PloS one•2022. 2022 Nov; 17(11):e0277140	Original Article
202	Kashiwagi M, Nakao K, Yamanaka S et al.	歯科口腔外科	Effect of C-type natriuretic peptide on craniofacial skeletogenesis in mice during the pubertal growth spurt	Archives of oral biology• 202207. 2022 Jul; 139:105433	Original Article
203	Watanabe T, Yoshida T, Akizuki S et al.	歯科口腔外科	Nonexposed antiresorptive agent-related osteomyelitis of the jaw: a single-center cohort study	Journal of bone and mineral metabolism• 202207. 2022 Jul; 40(4):657-662	Original Article
204	Kawai S, Sunaga J, Nagata S et al.	整形外科	3D osteogenic differentiation of human iPSCs reveals the role of TGF β signal in the transition from progenitors to osteoblasts and osteoblasts to osteocytes	Scientific reports• 20230119. 2023 Jan; 13(1):1094	Original Article

205	Masuda S, Fujibayashi S, Takemoto M et al.	整形外科	Association of two- staged surgery with systemic perioperative complications in lateral lumbar interbody fusion for adult spinal deformity: a propensity score- weighted study	European Spine Journal • 202303. 2023 Mar; 32(3):950-956	Original Article
206	Ikeda N, Fujibayashi S, Yamaguchi S et al.	整形外科	Bioactivity and antibacterial activity of iodine-containing calcium titanate against implant- associated infection	Biomaterials advances • 202207. 2022 Jul; 138:212952	Original Article
207	Kawai T, Nishitani K, Okuzu Y et al.	整形外科	Bisphosphonate use is associated with a decreased joint narrowing rate in the non-arthritic hip	Bone & joint research • 202211. 2022 Nov; 11(11):826-834	Original Article
208	Okuzu Y, Goto K, Kuroda Y et al.	整形外科	Closed suction drainage is not beneficial in hybrid total hip arthroplasty with intra-articular administration of tranexamic acid: a propensity score- matched cohort study	International orthopaedics • 20220402. 2022 Jun; 46(6):1281- 1287	Original Article
209	Otsuki B, Miyazaki K, Kakutani K et al.	整形外科	Comparative Study of Circumferential Decompression and Posterior Decompression in Palliative Surgery for Metastatic Thoracic Spinal Tumors	Clinical spine surgery • 20220509. 2022 Nov; 35(9):E685-E692	Original Article
210	Okae Y, Nishitani K, Sakamoto A et al.	整形外科	Estimation of Minimum Biofilm Eradication Concentration (MBEC) on In Vivo Biofilm on Orthopedic Implants in a Rodent Femoral Infection Model	Frontiers in cellular and infection microbiology • 2022. 2022 Jul; 12:896978	Original Article
211	Kawai T, Goto K, Kuroda Y et al.	整形外科	High Subsidence Rate After Primary Total Hip Arthroplasty Using a Zweymüller- type Noncemented Implant With a Matte Surface	Journal of the American Academy of Orthopaedic Surgeons. Global research & reviews • 20220601. 2022 Jun; 6(6):e21	Original Article

212	Fujibayashi S, Takemoto M, Ishii K et al.	整形外科	Multicenter Prospective Study of Lateral Lumbar Interbody Fusions Using Bioactive Porous Titanium Spacers without Bone Grafts	Asian spine journal • 20221205. 2022 Dec; 16(6):890-897	Original Article
213	Ikeguchi R, Aoyama T, Tanaka M et al.	整形外科	Nerve regeneration using the Bio 3D nerve conduit fabricated with spheroids	Journal of artificial organs : the official journal of the Japanese Society for Artificial Organs • 202212. 2022 Dec; 25(4):289-297	Original Article
214	Honda S, Fujibayashi S, Shimizu T et al.	整形外科	Neurological severity evaluation using magnetic resonance imaging in acute spontaneous spinal epidural haematomas	International orthopaedics • 202210. 2022 Oct; 46(10):2347-2355	Original Article
215	Maekawa H, Jin Y, Nishio M et al.	整形外科	Recapitulation of pro-inflammatory signature of monocytes with ACVR1A mutation using FOP patient-derived iPSCs	Orphanet journal of rare diseases • 20220921. 2022 Sep; 17(1):364	Original Article
216	Masuda S, Fukasawa T, Takeuchi M et al.	整形外科	Reoperation Rates of Microendoscopic Discectomy Compared With Conventional Open Lumbar Discectomy: A Large-database Study	Clinical Orthopaedics & Related Research • 20220715. 2023 Jan; 481(1):145-154	Original Article
217	Nakano T, Yamanaka H, Sakamoto M et al.	形成外科	Adjustable biodegradability of low-swelling hydrogels prepared from recombinant peptides based on human collagen type 1	Journal of Biomaterials Applications • 20220825. 2022 Nov; 37(5):881-890	Original Article
218	Katsube M, Yamada S, Utsunomiya N et al.	形成外科	Application of geometric morphometrics for facial congenital anomaly studies	Congenital anomalies • 202205. 2022 May; 62(3):88-95	Original Article
219	Tsuge I, Yamanaka H, Katsube M et al.	形成外科	Central Mandibular Reconstruction by Semiopen Wedge Osteotomy Double-barrel Fibula Flap for a Slim Aesthetic Appearance	Plastic and reconstructive surgery. Global open • 202212. 2022 Dec; 10(12):e4716	Original Article

220	Li Y, Sakamoto M, Sawaragi E et al.	形成外科	Comparison of Wound Healing Effect of Skin Micrograft Impregnated into Two Kinds of Artificial Dermis in a Murine Wound Model	Plast Reconstr Surg Glob Open. •202212. 2022 Nov;10(11):e4636	Original Article
221	Li Y, Katayama Y, Nie I et al.	形成外科	Development of a novel regenerative therapy for malignant bone tumors using an autograft containing tumor inactivated by high hydrostatic pressurization (HHP)	Regenerative Therapy • 202303. 2023 Mar; 22:224–231	Original Article
222	Li Y, Sawaragi E, Sakamoto M et al.	形成外科	Development of gelatin hydrogel nonwoven fabrics (Genocel®) as a novel skin substitute in murine skin defects	Regenerative Therapy • 202212. 2022 Jun;21:96–103	Original Article
223	Tsuge I, Yamanaka H, Katsube M et al.	形成外科	Double-flap Mandibular Reconstruction around the Condylar Head Using Fibula and Anterolateral Thigh Flaps	Plastic and reconstructive surgery. Global open • 202211. 2022 Nov; 10(11):e4607	Original Article
224	Nakano T, Sakamoto M, Katayama Y et al.	形成外科	Dried human-cultured epidermis accelerates wound healing in a porcine partial-thickness skin defect model	Regenerative Therapy • 202303. 2023 Feb; 22:203–209	Original Article
225	Nakano T, Katayama Y, Sakamoto M et al.	形成外科	Establishment of a keratinocyte and fibroblast bank for clinical applications in Japan	Journal of artificial organs : the official journal of the Japanese Society for Artificial Organs • 20220505. 2023 Mar; 26(1):45–52	Original Article
226	Tsuge I, Matsui M, Nakamura T et al.	形成外科	Group A Streptococcal Rapid Antigen Detection Test: A Clinical Study to Evaluate the Reproducibility Using Human Wound Samples	Eplasty • 2022. 2022 Nov; 22:e53	Original Article

227	Tsuge I, Matsui M, Yamanaka H et al.	形成外科	Group G Streptococcal Necrotizing Soft Tissue Infection: A Pitfall of Rapid Antigen Detection Test for Group A	Eplasty•202204. 2022 Apr;22:e7	Original Article
228	Nohara A, Owaki N, Matsubayashi J et al.	形成外科	Morphometric analysis of secondary palate development in human embryos	Journal of anatomy• 20220819. 2022 Dec; 241(6):1287-1302	Original Article
229	Sowa Y, Inafuku N, Tsuge I et al.	形成外科	Patient-Reported Outcomes After Autologous Fat Grafting in Prosthetic Breast Reconstruction: Prospective Cohort Study Using a Multivariate Analysis	Annals of Plastic Surgery• 202301. 2023 Feb; 90(2):123-127	Original Article
230	Tsuge I, Sowa Y, Yamanaka H et al.	形成外科	Real-time Navigation for Vascularized Lymph-node Transplantation Using Projection Mapping with Indocyanine Green Fluorescence	Plastic and reconstructive surgery. Global open• 202301. 2023 Jan; 11(1):e4743	Original Article
231	Shiraishi M, Sowa Y, Tsuge I et al.	形成外科	Risk factors associated with chronic pain after mastectomy: a prospective study with a 5-year follow-up in Japan	Breast Cancer•202208. 2022 Nov;29(6):1133-1139	Original Article
232	Egawa N, Izumi Y, Suzuki H et al.	形成外科	TDP-43 regulates cholesterol biosynthesis by inhibiting sterol regulatory element-binding protein 2	Scientific Reports•202205. 2022 May; 12(1):7988	Original Article
233	Munisso MC, Saito S, Tsuge I et al.	形成外科	Three-dimensional analysis of load-dependent changes in the orientation of dermal collagen fibers in human skin: A pilot study	Journal of the Mechanical Behavior of Biomedical Materials•202302. 2023 Feb; 138:105585	Original Article

234	Shimizu H, Saito S, Yoshikawa A et al.	形成外科	Three-dimensional visualization of thoracodorsal artery perforators using photoacoustic imaging(☆,☆☆)	Journal of Plastic, Reconstructive & Aesthetic Surgery• 202206. 2022 Sep; 75(9):3166-3173	Original Article
235	Sugimoto R, Yamanaka H, Tsuge I et al.	形成外科	Two-stage skin grafting using a basic fibroblast growth factor-impregnated artificial dermis	Regenerative therapy• 202212. 2022 Aug; 21:258-262	Original Article
236	Saito S, Makino A, Yamanaka H et al.	形成外科	Use of the duplication range concept for understanding morphology and predicting prognosis in thumb polydactyly	Journal of Hand Surgery: European Volume• 202210. 2023 Jan; 48(1):10-19	Original Article
237	Suminaga Y, Taki M, Okamoto H et al.	産科婦人科	A Case of a Patient with Adhesive Small Bowel Obstruction in Pregnancy after Extensive Myomectomy for Diffuse Uterine Leiomyomatosis	Case reports in obstetrics and gynecology• 2022. 2022 Sep; 2022:3601945	Original Article
238	Ohsuga T, Egawa M, Kii M et al.	産科婦人科	Association between non-anemic iron deficiency in early pregnancy and perinatal mental health: A retrospective pilot study	The journal of obstetrics and gynaecology research• 202211. 2022 Nov; 48(11):2730-2737	Original Article
239	Ueda Y, Mogami H, Kawamura Y et al.	産科婦人科	Cervical MUC5B and MUC5AC are Barriers to Ascending Pathogens During Pregnancy	The Journal of clinical endocrinology and metabolism• 20220916. 2022 Nov; 107(11):3010-3021	Original Article
240	Motoki T, Chigusa Y, Tomotaki S et al.	産科婦人科	Clinical Features of Neurodevelopmental Outcomes in Children with Preterm Severe Fetal Growth Restriction: A Retrospective Observational Study	JMA journal• 20220715. 2022 Jul; 5(3):341-348	Original Article
241	Ukita M, Hamanishi J, Yoshitomi H et al.	産科婦人科	CXCL13-producing CD4+ T cells accumulate in the early phase of tertiary lymphoid structures in ovarian cancer	JCI insight• 20220512. 2022 Jun; 7(12):e157215	Original Article

242	Higashiyama N, Yamaguchi K, Yamamoto Y et al.	産科婦人科	Development of healthy lifestyle consciousness index for gynecological cancer patients	Supportive care in cancer : official journal of the Multinational Association of Supportive Care in Cancer•20220608. 2022 Sep ; 30(9):7569–7574	Original Article
243	Abiko K, Hamanishi J, Matsumura N et al.	産科婦人科	Dynamic host immunity and PD-L1/PD-1 blockade efficacy: developments after “IFN- γ from lymphocytes induces PD-L1 expression and promotes progression of ovarian cancer”	British Journal of Cancer• 20220906. 2023 Feb ; 128(3):461–467	Original Article
244	Mizuta K, Katou Y, Nakakita B et al.	産科婦人科	Ex vivo reconstitution of fetal oocyte development in humans and cynomolgus monkeys	The EMBO Journal• 20220915. 2022 Sep ; 41(18):e110815	Original Article
245	Kawamura Y, Mogami H, Yasuda E et al.	産科婦人科	Fetal macrophages assist in the repair of ruptured amnion through the induction of epithelial–mesenchymal transition	Science signaling• 20220913. 2022 Sep ; 15(751):eabi5453	Original Article
246	Yoshimura K, Yamanoi K, Kanai M et al.	産科婦人科	Nivolumab for malignant transformation of ovarian mature cystic teratoma	Gynecologic oncology reports•202212. 2022 Dec ; 44:101115	Original Article
247	Kawata M, Kondo J, Onuma K et al.	産科婦人科	Polarity switching of ovarian cancer cell clusters via SRC family kinase is involved in the peritoneal dissemination	Cancer science•20220718. 2022 Oct ; 113(10):3437–3448	Original Article
248	Inayama Y, Mizuno K, Yamaguchi K et al.	産科婦人科	Real-world practice of estrogen therapy after surgery for endometrial cancer: a descriptive study using a Japanese claims database	International journal of clinical oncology•202303. 2023 Mar ; 28(3):445–453	Original Article

249	Mizuno R, Hojo H, Takahashi M et al.	産科婦人科	Remote solid cancers rewire hepatic nitrogen metabolism via host nicotinamide-N-methyltransferase	Nature communications • 20220615. 2022 Jun; 13(1):3346	Original Article
250	Takamatsu S, Brown JB, Yamaguchi K et al.	産科婦人科	Utility of Homologous Recombination Deficiency Biomarkers Across Cancer Types	JCO precision oncology • 202205. 2022 May; 6:e2200085	Original Article
251	Dong L, Takeda C, Yamazaki H et al.	麻酔科	Association between intraoperative end-tidal carbon dioxide and postoperative nausea and vomiting in gynecologic laparoscopic surgery	Scientific reports • 20220427. 2022 Apr; 12(1):6865	Original Article
252	Hamada M, Takeda C, Dong L et al.	麻酔科	Relationship between the Use of Fentanyl-Based Intravenous Patient-Controlled Analgesia and Clinically Significant Events in Laparoscopic Gynecological Surgery: A Single-Center Retrospective Cohort Study	Journal of clinical medicine • 20220606. 2022 Jun; 11(11):3235	Original Article
253	Hirotsu A, Miyao M, Tatsumi K et al.	麻酔科	Sepsis-associated neuroinflammation in the spinal cord	PloS one • 2022. 2022 Jun; 17(6):e0269924	Original Article
254	Uchihara Y, Kato I, Hanaki R et al.	小児科	Autologous Recovery With Chromosomal Abnormalities After Unrelated Umbilical Cord Blood Transplantation With Myeloablative Conditioning in a Case of Pediatric Acute Lymphoblastic Leukemia	Journal of pediatric hematology/oncology • 20230101. 2023 Jan; 45(1):e142-e144	Original Article
255	Kawabata N, Hiramatsu H, Mikami T et al.	小児科	Chimeric antigen receptor T-cell therapy for a patient with Philadelphia chromosome-positive acute lymphoblastic leukemia and leukoencephalopathy who relapsed after bone marrow transplantation	Pediatric blood & cancer • 20220422. 2022 Nov; 69(11):e29734	Original Article

256	Umeda K, Taura K, Kato I et al.	小児科	Intensive Multimodal Therapy Combined With Long-term Temozolomide and Etoposide Treatment for Recurrent Osteosarcoma to the Liver and Stomach	Journal of pediatric hematology/oncology • 20220501. 2022 May; 44(4):175-177	Original Article
257	Hiwatari M, Seki M, Matsuno R et al.	小児科	Novel TENM3-ALK fusion is an alternate mechanism for ALK activation in neuroblastoma	Oncogene • 202205. 2022 May; 41(20):2789-2797	Original Article
258	Tasaka K, Ueno H, Yamasaki K et al.	小児科	Oncogenic FGFR1 mutation and amplification in common cellular origin in a composite tumor with neuroblastoma and pheochromocytoma	Cancer science • 202204. 2022 Apr; 113(4):1535-1541	Original Article
259	Nakajima K, Kubota H, Kato I et al.	小児科	PAX5 alterations in an infant case of KMT2A-rearranged leukemia with lineage switch	Cancer science • 20220425. 2022 Jul; 113(7):2472-2476	Original Article
260	Mikami M, Masuda T, Kanatani T et al.	小児科	RUNX1-Survivin Axis Is a Novel Therapeutic Target for Malignant Rhabdoid Tumors	Molecules and cells • 20221231. 2022 Dec; 45(12):886-895	Original Article
261	Tateishi Y, Sakanaka K, Hirashima H et al.	放射線治療科	A case of a pregnant woman with locally advanced cervical esophageal cancer treated with definitive chemoradiotherapy	International cancer conference journal • 202210. 2022 Jul; 11(4):292-297	Original Article
262	Torizuka H, Inoue M, Iizuka Y et al.	放射線治療科	Anaplastic Transformation of Follicular Thyroid Carcinoma in Pulmonary Metastasis With Gradually Progressive Intra-tumoral Cavitation: A Case Report	Cureus • 20221129. 2022 Nov; 14(11):e31999	Original Article
263	Ono T, Kido T, Nakamura M et al.	放射線治療科	Automatic measurement of beam-positioning accuracy at off-isocenter positions	Journal of Applied Clinical Medical Physics • 20221124. 2023 Mar; 24(3):e13844	Original Article

264	Aizawa R, Tsuzuki T, Haga H et al.	放射線治療科	Clinical significance of IDC-P as predictive factor after intensity-modulated radiation therapy	Cancer Science•202207. 2022 Jul;113(7):2425-2433	Original Article
265	Zhou D, Nakamura M, Sawada Y et al.	放射線治療科	Development of independent dose verification plugin using Eclipse scripting API for brachytherapy	Journal of radiation research•20221009. 2023 Jan;64(1):180-185	Original Article
266	Iizuka Y, Hiraoka M, Kokubo M et al.	放射線治療科	Dynamic tumor-tracking stereotactic body radiotherapy with real-time monitoring of liver tumors using a gimbal-mounted linac: A multi-institutional phase II study	Clinical and translational radiation oncology• 202303. 2023 Feb; 39:100591	Original Article
267	Asada H, Takahashi Y, Ono Y et al.	放射線治療科	Emotional Experiences of Skin Markings Among Patients Undergoing Radiotherapy and Related Factors: A Questionnaire-Based Cross-Sectional Study	Patient preference and adherence•2022. 2022 May;16:1359-1369	Original Article
268	Tsuruta Y, Nakamura M, Nakata M et al.	放射線治療科	Evaluation of correlation between intrafractional residual setup errors and accumulation of delivered dose distributions in single isocenter volumetric modulated arc therapy for multiple brain metastases	Physica medica : PM : an international journal devoted to the applications of physics to medicine and biology : official journal of the Italian Association of Biomedical Physics (AIFB)•20220428. 2022 Jun;98:45-52	Original Article
269	Ueki K, Matsuo Y, Takeda A et al.	放射線治療科	Impact of Local Recurrence on Cause-Specific Death After Stereotactic Body Radiotherapy for Early-Stage Non-Small Cell Lung Cancer: Dynamic Prediction Using Landmark Model	International Journal of Radiation Oncology*Biography*Physics •202204. 2022 Apr; 112(5):1135-1143	Original Article

270	Kishi N, Matsuo Y, Hanazawa H et al.	放射線治療科	Lack of an association between marital status and survival in patients receiving stereotactic body radiotherapy for early-stage non-small-cell lung cancer	PloS one•2022. 2022 Jun; 17(6):e0269463	Original Article
271	Mitsuyoshi T, Ono Y, Ashida R et al.	放射線治療科	Multi-institutional phase II study of ultra-hypofractionated whole-breast irradiation after breast-conserving surgery for breast cancer in Japan: Kyoto Radiation Oncology Study Group (UPBEAT study)	Japanese journal of clinical oncology•20221123. 2023 Jan;53(2):174-178	Original Article
272	Matsuo Y, Hiraoka M, Karasawa K et al.	放射線治療科	Multi-institutional phase II study on the safety and efficacy of dynamic tumor tracking-stereotactic body radiotherapy for lung tumors	Radiotherapy and oncology : journal of the European Society for Therapeutic Radiology and Oncology•20220502. 2022 Jul;172:18-22	Original Article
273	Arakawa Y, Mineharu Y, Uto M et al.	放射線治療科	Optimal managements of elderly patients with glioblastoma	Japanese journal of clinical oncology•20220512. 2022 Aug;52(8):833-842	Original Article
274	Takehana K, Sakamoto R, Fujimoto K et al.	放射線治療科	Peritumoral radiomics features on preoperative thin-slice CT images can predict the spread through air spaces of lung adenocarcinoma	Scientific reports• 20220620. 2022 Jun; 12(1):10323	Original Article
275	Ogawa A, Nakamura M, Iramina H et al.	放射線治療科	Potential utility of cone-beam CT-guided adaptive radiotherapy under end-exhalation breath-hold conditions for pancreatic cancer	Journal of applied clinical medical physics• 20221031. 2023 Feb; 24(2):e13827	Original Article
276	Kishi N, Matsuo Y, Menju T et al.	放射線治療科	Propensity score-based analysis of stereotactic body radiotherapy, lobectomy and sublobar resection for stage I non-small cell lung cancer	Journal of radiation research•20220711. 2022 Sep;63(5):758-771	Original Article

277	Kishi N, Matsuo Y, Shintani T et al.	放射線治療科	Recurrence patterns and progression-free survival after chemoradiotherapy with or without consolidation durvalumab for stage III non-small cell lung cancer	Journal of radiation research • 20220922. 2023 Jan; 64(1):142-153	Original Article
278	Ono T, Kawata K, Nakamura M et al.	放射線治療科	Small-field dosimetry with detector-specific output correction factor for single-isocenter stereotactic radiotherapy of single and multiple brain metastases	Radiological physics and technology • 20221022. 2023 Mar; 16(1):10-19	Original Article
279	Tamari K, Nagata Y, Mizowaki T et al.	放射線治療科	The impact of the COVID-19 pandemic on radiotherapy in Japan: nationwide surveys from May 2020 through June 2021	Journal of radiation research • 20220916. 2023 Jan; 64(1):126-132	Original Article
280	Watanabe T, Sato GE, Yoshimura M et al.	放射線治療科	The mutual relationship between the host immune system and radiotherapy: stimulating the action of immune cells by irradiation	International journal of clinical oncology • 20220512. 2023 Feb; 28(2):201-208	Original Article
281	Ueki K, Matsuo Y, Kishi N et al.	放射線治療科	Usefulness of pro-gastrin-releasing peptide as a predictor of the incidence of brain metastasis and effect of prophylactic cranial irradiation in patients with limited-stage small-cell lung cancer	Journal of radiation research • 20220702. 2022 Jul; 63(4):636-645	Original Article

282	Otani S, Himoto Y, Nishio M et al.	放射線診断科	Corrigendum to "Radiomic machine learning for pretreatment assessment of prognostic risk factors for endometrial cancer and its effects on radiologists' decisions of deep myometrial invasion" [Magnetic Resonance Imaging 85 (2022) 161–167]	Magnetic Resonance Imaging•202301. 2023 Jan;95:119–120	Original Article
283	Nishio M, Matsuo H, Kurata Y et al.	放射線診断科	Label Distribution Learning for Automatic Cancer Grading of Histopathological Images of Prostate Cancer	Cancers•20230228. 2023 Feb;15(5):1535	Original Article
284	Kataoka M.	放射線診断科	Mammographic Density for Personalized Breast Cancer Risk	Radiology•20220920. 2023 Feb;306(2):e222129	Original Article
285	Nakamoto Y, Kitajima K, Torihara A et al.	放射線診断科	Recent topics of the clinical utility of PET/MRI in oncology and neuroscience	Annals of Nuclear Medicine•202209. 2022 Sep;36(9):798–803	Original Article
286	Yuge S, Miyake KK, Ishimori T et al.	放射線診断科	Reproducibility assessment of uptake on dedicated breast PET for noise discrimination	Annals of Nuclear Medicine•20221125. 2023 Feb;37(2):121–130	Original Article
287	Kataoka M.	放射線診断科	The Contribution of Imaging as a Prognostic Marker of Luminal Breast Cancer	Radiology•20220510. 2022 Aug;304(2):320–321	Original Article
288	Wada S, Komori T, de Jesus CS et al.	皮膚科	Anti-BP180, pruritus, and thymus and activation-regulated chemokines as surrogate markers for disease activity in bullous pemphigoid	Journal of the European Academy of Dermatology and Venereology : JEADV•20220720. 2022 Dec;36(12):e1061–e1063	Original Article

289	Tsujihana K, Tanegashima K, Santo Y et al.	皮膚科	Circadian protection against bacterial skin infection by epidermal CXCL14-mediated innate immunity	Proceedings of the National Academy of Sciences • 20220621. 2022 Jun; 119(25):e2116027119	Original Article
290	Miyake T, Egawa G, Chow Z et al.	皮膚科	Circadian rhythm affects the magnitude of contact hypersensitivity response in mice	Allergy • 20220415. 2022 Sep; 77(9):2748-2759	Original Article
291	Adachi A, Honda T, Egawa G et al.	皮膚科	Estradiol suppresses psoriatic inflammation in mice by regulating neutrophil and macrophage functions	The Journal of allergy and clinical immunology • 20220504. 2022 Oct; 150(4):909-919	Original Article
292	Nakashima C, Doi H, Nakajima S et al.	皮膚科	Filaggrin-deficient rats generated using zinc-finger nucleases spontaneously exhibit dry scaly skin	Allergology international : official journal of the Japanese Society of Allergology • 20220508. 2022 Oct; 71(4):545-547	Original Article
293	Keith YH, Honda T, Ono S et al.	皮膚科	Infiltration and local differentiation of bone marrow-derived integrin β 7-positive mast cell progenitors in atopic dermatitis-like skin	The Journal of allergy and clinical immunology • 20220917. 2023 Jan; 151(1):159-171	Original Article
294	Goto K, Kogame T, Kusuba N et al.	皮膚科	Necrotizing fasciitis with slow progression in a patient with rheumatoid arthritis receiving tocilizumab	European journal of dermatology : EJD • 20220401. 2022 Apr; 32(2):279-280	Original Article
295	Takimoto-Ito R, Ma N, Kishimoto I et al.	皮膚科	The Potential Role of Basophils in Urticaria	Frontiers in immunology • 2022. 2022 May; 13:883692	Original Article
296	Yoshihara Y, Kato T, Watanabe D et al.	精神科神経科	Altered white matter microstructure and neurocognitive function of HIV-infected patients with low nadir CD4	Journal of neurovirology • 20220701. 2022 Jun; 28(3):355-366	Original Article

297	Hirata R, Kawashima H, Tsuboi T et al.	精神科神経科	An Online Survey About Electroconvulsive Therapy in Japan During the COVID-19 Pandemic: Comparison of Early and Recent Stages	Neuropsychiatric disease and treatment • 2022. 2022 Jun; 18:1277-1285	Original Article
298	Abdelrahman HAF, Ubukata S, Ueda K et al.	精神科神経科	Combining Multiple Indices of Diffusion Tensor Imaging Can Better Differentiate Patients with Traumatic Brain Injury from Healthy Subjects	Neuropsychiatric Disease and Treatment • 202208. 2022 Aug; 18:1801-1814	Original Article
299	Sakata M, Toyomoto R, Yoshida K et al.	精神科神経科	Components of smartphone cognitive-behavioural therapy for subthreshold depression among 1093 university students: a factorial trial	Evidence-based mental health • 20220516. 2022 Dec; 25(e1):e18-e25	Original Article
300	Toyomoto R, Sakata M, Yoshida K et al.	精神科神経科	Corrigendum to "Prognostic factors and effect modifiers for personalisation of internet-based cognitive behavioural therapy among university students with subthreshold depression: A secondary analysis of a factorial trial" [J. Affect. Disord. 322 (2023) 1	Journal of affective disorders • 20230315. 2023 Mar; 325:824-825	Original Article
301	Ubukata S, Ueda K, Fujimoto G et al.	精神科神経科	Extracting Apathy From Depression Syndrome in Traumatic Brain Injury by Using a Clustering Method	The Journal of Neuropsychiatry and Clinical Neurosciences • 202204. 2022 Spr; 34(2):158-167	Original Article
302	Itahashi T, Yamashita A, Takahara Y et al.	精神科神経科	Generalizable neuromarker for autism spectrum disorder across imaging sites and developmental stages: A multi-site study	bioRxiv : the preprint server for biology • 20230328. 2023 Mar; 3	Original Article

303	Hanyu S, Kojima Y, Murai T et al.	精神科神経科	Lurasidone-induced hyperosmolar hyperglycemic syndrome: A case report	Neuropsychopharmacology Reports • 20220524. 2022 Sep; 42(3):377-379	Original Article
304	Noda T, Isobe M, Mishima R et al.	精神科神経科	Neural correlates of a mindfulness-based intervention in anorexia nervosa	BJPsych open • 20230202. 2023 Feb; 9(1):e22	Original Article
305	Toyomoto R, Sakata M, Yoshida K et al.	精神科神経科	Prognostic factors and effect modifiers for personalisation of internet-based cognitive behavioural therapy among university students with subthreshold depression: A secondary analysis of a factorial trial	Journal of affective disorders • 20221112. 2023 Feb; 322:156-162	Original Article
306	Yoshimura S, Shibata M, Kyruragi Y et al.	精神科神経科	The Japanese version of the Generalized Problematic Internet Use Scale 2 (GPIUS2): Psychometric evaluation and analysis of the theoretical model	PloS one • 2022. 2022 Nov; 17(11):e0273895	Original Article
307	Matsuoka K, Takado Y, Tagai K et al.	精神科神経科	Two pathways differentially linking tau depositions, oxidative stress, and neuronal loss to apathetic phenotypes in progressive supranuclear palsy	Journal of the Neurological Sciences • 20221130. 2023 Jan; 444:120514	Original Article
308	Toyomoto R, Sakata M, Yoshida K et al.	精神科神経科	Validation of the Japanese Big Five Scale Short Form in a University Student Sample	Frontiers in Psychology • 20220623. 2022 Jun; 13:862646	Original Article
309	Nankaku M, Ikeguchi R, Aoyama T et al.	リハビリテーション科	A First View of the Effect of a Trial of Early Mobilization on the Muscle Strength and Activities of Daily Living in Mechanically Ventilated Patients With COVID-19	Archives of rehabilitation research and clinical translation • 20220610. 2022 Sep; 4(3):100201	Original Article

310	Hamada S, Tanabe N, Hirai T.	リハビリテーション科	Air Collection in the Intrathoracic Extrapleural Space- like Pneumothorax	Internal medicine (Tokyo, Japan)•20220402. 2022 Nov;61(21):3311-3312	Original Article
311	Hamakawa Y, Tanabe N, Shima H et al.	リハビリテーション科	Associations of pulmonary and extrapulmonary computed tomographic manifestations with impaired physical activity in symptomatic patients with chronic obstructive pulmonary disease	Scientific reports• 20220404. 2022 Apr; 12(1):5608	Original Article
312	Sato S, Oga T, Muro S et al.	リハビリテーション科	Changes in mortality among patients with chronic obstructive pulmonary disease from the 1990s to the 2000s: a pooled analysis of two prospective cohort studies	BMJ open•20230307. 2023 Mar;13(3):e065896	Original Article
313	Terada K, Tanabe N, Shiraishi Y et al.	リハビリテーション科	Chronic obstructive pulmonary disease features in patients visiting primary respiratory clinic and tertiary hospital in Japan	Respiratory investigation• 202301. 2023 Jan; 61(1):40-44	Original Article
314	Tanabe N, Masuda I, Shiraishi Y et al.	リハビリテーション科	Clinical relevance of multiple confirmed preserved ratio impaired spirometry cases in adults	Respiratory investigation• 20220919. 2022 Nov; 60(6):822-830	Original Article
315	Hamada R, Oshima Y, Yoshioka Y et al.	リハビリテーション科	Comparison of international and Japanese predictive equations for maximal respiratory mouth pressures	Respiratory Investigation• 202208. 2022 Nov; 60(6):847-851	Original Article
316	Kawano T, Nankaku M, Muraio M et al.	リハビリテーション科	Development of a Clinical Prediction Rule to Identify Physical Activity After Total Hip Arthroplasty	Archives of physical medicine and rehabilitation•20220411. 2022 Oct;103(10):1975- 1982	Original Article
317	Tanabe N, Rhee CK, Park HY et al.	リハビリテーション科	Editorial: The heterogeneity in COPD phenotypes	Frontiers in medicine• 2022. 2022 Aug;9:982121	Original Article

318	Yuri T, Nankaku M, Kawano T et al.	リハビリテーション科	Evaluating the contribution of fat infiltration in anterior gluteus minimus muscle to walking ability in female with unilateral hip osteoarthritis and candidates for total hip arthroplasty	Clinical biomechanics (Bristol, Avon)•20230220. 2023 Mar;103:105909	Original Article
319	Yoshioka Y, Oshima Y, Hata K et al.	リハビリテーション科	Factors associated with early postoperative exercise tolerance after living-donor liver transplantation	Clinical transplantation• 20220822. 2022 Nov; 36(11):e14800	Original Article
320	Takeuchi H, Sakamoto A, Ikeguchi R et al.	リハビリテーション科	Muscle Grafts with Doxorubicin Pretreatment Produce "Empty Tubes" in the Basal Laminae, Promote Contentious Maturation of the Regenerated Axons, and Bridge 20-mm Sciatic Nerve Defects in Rats	Journal of reconstructive microsurgery•20220718. 2023 Feb;39(2):120-130	Original Article
321	Hamakawa Y, Sato S, Tanabe N et al.	リハビリテーション科	Non-respiratory symptom dominance is associated with depression in patients with chronic obstructive pulmonary disease	Respiratory medicine• 20220531. 2022 Sep; 201:106895	Original Article
322	Maetani T, Tanabe N, Terada S et al.	リハビリテーション科	Physiological impacts of computed tomography airway dysanapsis, fractal dimension, and branch count in asymptomatic never smokers	Journal of applied physiology (Bethesda, Md. : 1985)•20221021. 2023 Jan; 134(1):20-27	Original Article
323	Shiraishi Y, Shimada T, Tanabe N et al.	リハビリテーション科	The prevalence and physiological impacts of centrilobular and paraseptal emphysema on computed tomography in smokers with preserved ratio impaired spirometry	ERJ open research• 202204. 2022 Jun; 8(2):00063-2022	Original Article

324	Sano T, Fukui T, Makita N et al.	病理診断科	A novel missense mutation in the folliculin gene associated with the renal tumor-only phenotype of Birt-Hogg-Dubé syndrome	Cancer Genetics•202208. 2022 Aug;266-267:28-32	Original Article
325	Miyamoto T, Honda Y, Izawa K et al.	病理診断科	Assessment of type I interferon signatures in undifferentiated inflammatory diseases: A Japanese multicenter experience	Frontiers in immunology• 2022. 2022 Sep; 13:905960	Original Article
326	Makino Y, Kamiyama Y, Brown JB et al.	病理診断科	Author Correction: Comprehensive genomics in androgen receptor-dependent castration-resistant prostate cancer identifies an adaptation pathway mediated by opioid receptor kappa 1	Communications biology• 20220719. 2022 Jul; 5(1):718	Original Article
327	Makino Y, Kamiyama Y, Brown JB et al.	病理診断科	Comprehensive genomics in androgen receptor-dependent castration-resistant prostate cancer identifies an adaptation pathway mediated by opioid receptor kappa 1	Communications biology• 20220401. 2022 Apr; 5(1):299	Original Article
328	Sugimoto A, Fujimoto M, Fujii H et al.	病理診断科	Fatal case of methotrexate-associated primary cutaneous extranodal NK/T-cell lymphoma of gamma delta phenotype	Histopathology•20220912. 2022 Dec;81(6):849-852	Original Article
329	Wang Y, Teramoto Y, Weisenthal SJ et al.	病理診断科	The Clinical Impact of Comedonecrosis Within Intraductal Carcinoma of the Prostate	Archives of pathology & laboratory medicine• 20220426. 2023 Jan; 147(1):94-99	Original Article
330	Tajima T, Hata K, Kusakabe J et al.	病理診断科	The impact of human leukocyte antigen mismatch on recipient outcomes in living-donor liver transplantation	Liver transplantation : official publication of the American Association for the Study of Liver Diseases and the International Liver Transplantation Society• 20220523. 2022 Oct; 28(10):1588-1602	Original Article

331	Miyazaki Y, Goto T, Li X et al.	病理診断科	Up-regulation of secretory leukocyte protease inhibitor in human samples might have a potential role of predicting prostate cancer recurrence and progression after surgery and hormonal therapy	Cancer Medicine• 20220813. 2023 Feb; 12(3):3328-3342	Original Article
332	Noguchi T, Sakamoto A, Murotani Y et al.	臓器移植医療部	Inhibition of RANKL Expression in Osteocyte-like Differentiated Tumor Cells in Giant Cell Tumor of Bone After Denosumab Treatment	Journal of Histochemistry & Cytochemistry• 20230327. 2023 Mar; 71(3):131-138	Original Article
333	Nagai K, Masui T, Anazawa T et al.	臓器移植医療部	Laparoscopic pancreatoduodenectomy for a metastatic tumor in a portal annular pancreas	Surgical oncology•202206. 2022 Jun;42:101772	Original Article
334	Okamoto T, Okajima H, Uebayashi EY et al.	臓器移植医療部	Management of Epstein-Barr Virus Infection and Post-Transplant Lymphoproliferative Disorder in Pediatric Liver Transplantation	Journal of Clinical Medicine•20220413. 2022 Apr; 11(8):2166	Original Article
335	Honda M, Kataoka M, Iima M et al.	臓器移植医療部	Visual Evaluation of Ultrafast MRI in the Assessment of Residual Breast Cancer after Neoadjuvant Systemic Therapy: A Preliminary Study Association with Subtype	Tomography•202206. 2022 Jun;8(3):1522-1533	Original Article
336	Muramoto Y, Nihira H, Shiokawa M et al.	総合周産期母子医療センター	Anti-Integrin $\alpha v \beta 6$ Antibody as a Diagnostic Marker for Pediatric Patients With Ulcerative Colitis	Gastroenterology•202210. 2022 Oct;163(4):1094- 1097	Original Article
337	Aoki M, Izawa K, Tanaka T et al.	総合周産期母子医療センター	Case Report: A Pediatric Case of Familial Mediterranean Fever Concurrent With Autoimmune Hepatitis	Frontiers in immunology• 2022. 2022 Jun; 13:917398	Original Article

338	Araki R, Tomotaki S, Akita M et al.	総合周産期母子医療センター	Effect of doxapram on the electrical activity of the diaphragm waveform pattern of preterm infants	Pediatric Pulmonology• 202206. 2022 Jun; 57(6):1483-1488	Original Article
339	Kouzuki K, Umeda K, Kawasaki H et al.	総合周産期母子医療センター	Immature teratoma of the ovary associated with Cowden syndrome	Pediatric blood & cancer• 202207. 2022 Jul; 69(7):e29555	Original Article
340	Kato I, Sakaguchi H, Kato S et al.	総合周産期母子医療センター	Impact of human leukocyte antigen mismatch on outcomes after unrelated bone marrow transplantation in paediatric patients: A retrospective analysis by the JSTCT HLA working group	British journal of haematology•20220827. 2022 Nov;199(3):392-400	Original Article
341	Tanaka T, Shiba T, Honda Y et al.	総合周産期母子医療センター	Induced Pluripotent Stem Cell-Derived Monocytes/Macrophages in Autoinflammatory Diseases	Frontiers in immunology• 2022. 2022 May; 13:870535	Original Article
342	Miyazawa T, Arahoru H, Ohnishi S et al.	総合周産期母子医療センター	Mortality and morbidity of extremely low birth weight infants in Japan, 2015	Pediatrics International• 202301. 2023 Jan; 65(1):e15493	Original Article
343	Kanazawa H, Yamada Y, Tanaka K et al.	総合周産期母子医療センター	Open-ended movements structure sensorimotor information in early human development	Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America• 20230103. 2023 Jan; 120(1):e2209953120	Original Article
344	Kuchitsu Y, Mukai K, Uematsu R et al.	総合周産期母子医療センター	STING signalling is terminated through ESCRT-dependent microautophagy of vesicles originating from recycling endosomes	Nature cell biology• 202303. 2023 Mar; 25(3):453-466	Original Article

345	Tanaka K, Kato I, Dobashi Y et al.	総合周産期母子医療センター	The first Japanese biobank of patient-derived pediatric acute lymphoblastic leukemia xenograft models	Cancer science•202211. 2022 Nov;113(11):3814-3825	Original Article
346	Nishitani-Isa M, Mukai K, Honda Y et al.	総合周産期母子医療センター	Trapping of CDC42 C-terminal variants in the Golgi drives pyrin inflammasome hyperactivation	The Journal of experimental medicine• 20220606. 2022 Jun; 219(6):e20211889	Original Article
347	Sagae Y, Horie A, Yanai A et al.	総合周産期母子医療センター	Versican provides the provisional matrix for uterine spiral artery dilation and fetal growth	Matrix biology : journal of the International Society for Matrix Biology• 20221121. 2023 Jan; 115:16-31	Original Article
348	Jo T, Yoshihara S, Hada A et al.	検査部	A Clinically Applicable Prediction Model to Improve T Cell Collection in Chimeric Antigen Receptor T Cell Therapy	Transplantation and cellular therapy•202207. 2022 Jul;28(7):365	Original Article
349	Kamio N, Yokota A, Tokuda Y et al.	検査部	A Novel CD135(+) Subset of Mouse Monocytes with a Distinct Differentiation Pathway and Antigen-Presenting Properties	Journal of immunology (Baltimore, Md. : 1950)• 20220715. 2022 Aug; 209(3):498-509	Original Article
350	Wada F, Kondo T, Yamamoto R et al.	検査部	Addition and drug monitoring of mycophenolate mofetil for GVHD prophylaxis in unrelated bone marrow transplantation	Bone Marrow Transplantation•202207. 2022 Jul;57(7):1198-1200	Original Article
351	Morita-Fujita M, Arai Y, Kondo T et al.	検査部	Adult patients with Ph+ ALL benefit from conditioning regimen of medium-dose VP16 plus CY/TBI	Hematological oncology• 20220705. 2022 Dec; 40(5):1041-1055	Original Article
352	Jo T, Arai Y, Kondo T et al.	検査部	Advantages of peripheral blood stem cells from unrelated donors versus bone marrow transplants in outcomes of adult acute myeloid leukemia patients	Cytotherapy•202206. 2022 Oct;24(10):1013-1025	Original Article

353	Nagao M, Matsumura Y, Yamamoto M et al.	検査部	Analysis of a city- wide COVID-19 prevention strategy for aged-care facilities during third and fifth waves of COVID-19 in Kyoto City, Kyoto, Japan	Influenza and other respiratory viruses • 202207. 2022 Jul; 16(4):690-695	Original Article
354	Matsumura Y, Yamazaki W, Noguchi T et al.	検査部	Analytical and clinical performances of seven direct detection assays for SARS-CoV-2	Journal of Clinical Virology Plus •202301. 2023 Feb;3(1):100138	Original Article
355	Hamada R, Sato S, Miyasaka J et al.	検査部	Belt Electrode- Skeletal Muscle Electrical Stimulation During Early Hematopoietic Post- Transplantation To Prevent Skeletal Muscle Atrophy and Weakness	Transplantation and cellular therapy • 20221007. 2023 Jan; 29(1):51	Original Article
356	Shinohara K, Matsumura Y, Sakagami T et al.	検査部	Cervical abscess caused by Mycobacterium tilburgii in a patient carrying anti- interferon gamma autoantibody: A case report and literature review	Journal of infection and chemotherapy : official journal of the Japan Society of Chemotherapy • 202205. 2022 May; 28(5):699-704	Original Article
357	Gomi R, Yamamoto M, Tanaka M et al.	検査部	Chromosomal integration of bla (CTX-M) genes in diverse Escherichia coli isolates recovered from river water in Japan	Current Research in Microbial Sciences •2022. 2022 Jun;3:100144	Original Article
358	Shinohara K, Murase K, Tsuchido Y et al.	検査部	Clonal Expansion of Multidrug-Resistant Streptococcus dysgalactiae Subspecies equisimilis Causing Bacteremia, Japan, 2005-2021	Emerging infectious diseases •20230301. 2023 Mar;29(3):528-539	Original Article
359	Iemura T, Arai Y, Kitawaki T et al.	検査部	Coexistence of HLA and KIR ligand mismatches as a risk factor for viral infection early after cord blood transplantation	Bone Marrow Transplantation •202205. 2022 May;57(5):781-789	Original Article

360	Nakamura N, Arai Y, Kitawaki T et al.	検査部	Decreased serum phosphate levels are a useful biomarker to predict occurrence and severity of cytokine release syndrome in chimeric antigen receptor T-cell therapy	British Journal of Haematology•20221011. 2023 Jan;200(1):e1-e3	Original Article
361	Deguchi S, Kosugi K, Hashimoto R et al.	検査部	Elucidation of the liver pathophysiology of COVID-19 patients using liver-on-a-chips	PNAS nexus•202303. 2023 Mar;2(3):pgad029	Original Article
362	Yi R, Hashimoto R, Sakamoto A et al.	検査部	Exocyst complex component 2 is a potential host factor for SARS-CoV-2 infection	iScience•20221118. 2022 Nov;25(11):105427	Original Article
363	Shinohara K, Fujisawa T, Chang B et al.	検査部	Frequent Transmission of Streptococcus pneumoniae Serotype 35B and 35D, Clonal Complex 558 Lineage, across Continents and the Formation of Multiple Clades in Japan	Antimicrobial Agents and Chemotherapy•20230216. 2023 Feb;67(2):e0108322	Original Article
364	Kato ET, Morrow DA, Guo J et al.	検査部	Growth differentiation factor 15 and cardiovascular risk: individual patient meta-analysis	European heart journal• 20221028. 2023 Jan; 44(4):293-300	Original Article
365	Nagano H, Shin JH, Kunisawa S et al.	検査部	Impact of the cefazolin shortage on the selection and cost of parenteral antibiotics during the supply disruption period in Japan: A controlled interrupted time series analysis	Journal of Infection and Public Health•202303. 2023 Mar;16(3):467-473	Original Article
366	Hamada R, Asano T, Muraio M et al.	検査部	Intramuscular Adipose Tissue Content Predicts Patient Outcomes after Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation	Transplantation and cellular therapy• 20220619. 2022 Sep; 28(9):602	Original Article

367	Sugimoto N, Kanda J, Nakamura S et al.	検査部	iPLAT1: the first-in-human clinical trial of iPSC-derived platelets as a phase 1 autologous transfusion study	Blood•20220916. 2022 Dec;140(22):2398-2402	Original Article
368	Ohsumi A, Takamatsu J, Yuasa I et al.	検査部	Living-Donor Lung Transplantation for Post-COVID-19 Respiratory Failure	The Annals of thoracic surgery•202207. 2022 Jul; 114(1):e21-e24	Original Article
369	Asif H, Rahaghi FF, Ohsumi A et al.	検査部	Management of nontuberculous mycobacteria in lung transplant cases: an international Delphi study	ERJ open research• 202303. 2023 Mar; 9(2):00377-2022	Original Article
370	Tanaka S, Kayawake H, Yamada Y et al.	検査部	Outcome After Lung Transplantation From a Donor With Bacterial Pneumonia Under the Japanese Donor Evaluation System	Transplantation proceedings•202204. 2022 Apr;54(3):782-788	Original Article
371	Yamasaki-Morita M, Arai Y, Ishihara T et al.	検査部	Relative hypercoagulation induced by suppressed fibrinolysis after tisagenlecleucel infusion in malignant lymphoma	Blood advances• 20220726. 2022 Jul; 6(14):4216-4223	Original Article
372	Nakamura N, Wada F, Kondo T et al.	検査部	Significance of Omitting Day 11 Mini-Dose Methotrexate for GVHD Prophylaxis After Unrelated Bone Marrow Transplantation	Transplantation and Cellular Therapy•202211. 2023 Feb;29(2):119	Original Article
373	Tada M, Yamada N, Matsumoto T et al.	手術部	Ultrasound guidance versus landmark method for peripheral venous cannulation in adults	The Cochrane database of systematic reviews• 20221212. 2022 Dec; 12(12):CD013434	Original Article
374	Kidera E, Koyasu S, Hayakawa N et al.	放射線部	Association between diffuse renal uptake of (18)F-FDG and acute kidney injury	Annals of nuclear medicine•202204. 2022 Apr;36(4):351-359	Original Article

375	Moribata Y, Kurata Y, Nishio M et al.	放射線部	Automatic segmentation of bladder cancer on MRI using a convolutional neural network and reproducibility of radiomics features: a two-center study	Scientific reports • 20230112. 2023 Jan; 13(1):628	Original Article
376	Fukushima Y, Fushimi Y, Funaki T et al.	放射線部	Evaluation of moyamoya disease in CT angiography using ultra-high-resolution computed tomography: Application of deep learning reconstruction	European Journal of Radiology • 202204. 2022 Jun; 151:110294	Original Article
377	Tanji M, Mineharu Y, Sakata A et al.	放射線部	High intratumoral susceptibility signal grade on susceptibility-weighted imaging: a risk factor for hemorrhage after stereotactic biopsy	Journal of neurosurgery • 20220513. 2022 May; 138(1):120-127	Original Article
378	Jin S, Jin B, Ishikawa T et al.	放射線部	Loss of ATF6 α in a human carcinoma cell line is compensated not by its paralogue ATF6 β but by sustained activation of the IRE1 and PERK arms for tumor growth in nude mice	Molecular Biology of the Cell • 202301. 2023 Mar; 34(3):ar20	Original Article
379	Yajima R, Kido A, Minamiguchi S et al.	放射線部	MR findings of polypoid endometriosis of female genital organs: report of three cases	Abdominal radiology (New York) • 202206. 2022 Jun; 47(6):1968-1974	Original Article
380	Someya Y, Koyasu S, Ohnishi Y et al.	放射線部	Pancreatic enlargement in a patient receiving therapy with vasodilators for pulmonary arterial hypertension: a case report	Abdominal radiology (New York) • 202206. 2022 Jun; 47(6):1948-1953	Original Article
381	Himoto Y, Fujimoto K, Kido A et al.	放射線部	Risk Stratification for Pregnancies Diagnosed With Fetal Growth Restriction Based on Placental MRI	Journal of magnetic resonance imaging : JMRI • 20220617. 2022 Dec; 56(6):1650-1658	Original Article

382	Wicaksono KP, Fujimoto K, Fushimi Y et al.	放射線部	Super-resolution application of generative adversarial network on brain time-of-flight MR angiography: image quality and diagnostic utility evaluation	European Radiology • 20220825. 2023 Feb; 33(2):936-946	Original Article
383	Ikeda S, Sakata A, Fushimi Y et al.	放射線部	Telomerase reverse transcriptase promoter mutation and histologic grade in IDH wild-type histological lower-grade gliomas: The value of perfusion-weighted image, diffusion-weighted image, and (18)F-FDG-PET	European journal of radiology • 202302. 2023 Feb; 159:110658	Original Article
384	Fushimi Y, Yoshida K, Okawa M et al.	放射線部	Vessel wall MR imaging in neuroradiology	La radiologia medica • 20220730. 2022 Sep; 127(9):1032-1045	Original Article
385	Koyasu S, Horita S, Saito K et al.	放射線部	ZBTB2 links p53 deficiency to HIF-1-mediated hypoxia signaling to promote cancer aggressiveness	EMBO reports • 20221107. 2023 Jan; 24(1):e54042	Original Article
386	Hasegawa T, Arakawa Y, Minamiguchi S et al.	病理部	Cerebral Tufted Angioma with Gradually Developing Peritumoral Edema: A Case Report	NMC case report journal • 2022. 2022 Jun; 9:187-192	Original Article
387	Yamada A, Yamamoto Y, Minamiguchi S et al.	病理部	Clinicopathological and molecular characterization of deficient mismatch repair colorectal cancer	Human pathology • 20220920. 2022 Dec; 130:1-9	Original Article
388	Kondo T, Yamamoto Y, Fukuyama K et al.	病理部	Germline sequencing for presumed germline pathogenic variants via tumor-only comprehensive genomic profiling	International journal of clinical oncology • 20220514. 2022 Aug; 27(8):1256-1263	Original Article

389	Quy PN, Fukuyama K, Kanai M et al.	病理部	Inter-assay variability of next-generation sequencing-based gene panels	BMC medical genomics• 20220415. 2022 Apr; 15(1):86	Original Article
390	Ishida K, Ashihara T, So M et al.	病理部	Synchronous ovarian and uterine mesonephric-like carcinoma that potentially arose from endometrioid adenofibroma: A case report	Journal of Obstetrics and Gynaecology Research• 20230103. 2023 Mar; 49(3):1052-1056	Original Article
391	Kusudo E, Murata Y, Matsumoto T et al.	集中治療部	Platelet function of whole blood after short-term cold storage: A prospective in vitro observational study	Transfusion•20221207. 2023 Feb;63(2):384-392	Original Article
392	Marui S, Nishikawa Y, Shiokawa M et al.	内視鏡部	Context-Dependent Roles of Hes1 in the Adult Pancreas and Pancreatic Tumor Formation	Gastroenterology•202212. 2022 Dec;163(6):1613- 1629	Original Article
393	Murakami T, Aizawa R, Matsuo Y et al.	内視鏡部	Efficacy and Safety of External-beam Radiation Therapy for Unresectable Primary or Local Recurrent Cholangiocarcinoma	Cancer diagnosis & prognosis•2022. 2022 Nov;2(6):634-640	Original Article
394	Ueda A, Nakakita B, Chigusa Y et al.	診療報酬センター	Impact of efforts to prevent maternal deaths due to obstetric hemorrhage on trends in epidemiology and management of severe postpartum hemorrhage in Japan: a nationwide retrospective study	BMC pregnancy and childbirth•20220617. 2022 Jun;22(1):496	Original Article

395	Sengoku T, Ishizaki T, Goto Y et al.	診療報酬センター	Prevalence of type 2 diabetes by age, sex and geographical area among two million public assistance recipients in Japan: a cross-sectional study using a nationally representative claims database	Journal of epidemiology and community health • 202204. 2022 Apr; 76(4):391-397	Original Article
396	Tsuji N, Takahashi Y, Sakai M et al.	診療報酬センター	Trend of anticoagulant therapy in elderly patients with atrial fibrillation considering risks of cerebral infarction and bleeding	Scientific reports • 20230105. 2023 Jan; 13(1):192	Original Article
397	Shima K, Nomura T, Yonekura S et al.	総合臨床教育・研修センター	Immunohistochemical study of annular erythema appearing in a patient with sub-acute cutaneous lupus erythematosus	Skin Health and Disease • 20220615. 2022 Jun; 2(3):e124	Original Article
398	Kogame T, Yonekura S, Lovato P et al.	総合臨床教育・研修センター	Interleukin-13 inhibition by tralokinumab reduces inducible T-cell costimulator-positive innate lymphoid cells in skin lesions of atopic dermatitis	The British journal of dermatology • 20230123. 2023 Jan; 188(1):146-148	Original Article
399	Yonekura S, Komori T, Ishida Y et al.	総合臨床教育・研修センター	Treatment With Topical Sirolimus for Recurrent Lymphatic Malformation of the External Urethral Meatus	JAMA dermatology • 20220831. 2022 Nov; 158(11):1331-1332	Original Article
400	Kimura M, Matsuzaki S, Ishii K et al.	倫理支援部	Individual experiences and issues in predictive genetic testing for untreatable hereditary neuromuscular diseases in Japan	European Journal of Medical Genetics • 202211. 2023 Jan; 66(1):104667	Original Article
401	Hanada K, Tsunoda S, Nomura M et al.	先端医療研究開発機構	A case of long-term survival treated with three metastasectomies and two subsequent adjuvant nivolumab therapies for recurrent malignant melanoma of the esophagus	Surgical case reports • 20221104. 2022 Nov; 8(1):206	Original Article

402	Washida K, Kato T, Ozasa N et al.	先端医療研究開発機構	A comparison between hospital follow-up and collaborative follow- up in patients with acute heart failure	ESC heart failure•202210. 2023 Feb;10(1):353-365	Original Article
403	Yamashita Y, Morimoto T, Klok FA et al.	先端医療研究開発機構	Anticoagulation strategies and clinical outcomes after bleeding events during anticoagulation therapy for venous thromboembolism in the practice-based Japanese registry	Journal of thrombosis and thrombolysis•202210. 2022 Oct;54(3):524-534	Original Article
404	Yamamoto E, Kato T, Yaku H et al.	先端医療研究開発機構	Appetite loss at discharge from acute decompensated heart failure: Observation from KCHF registry	PloS one•202205. 2022 May;17(5):e0267327	Original Article
405	Hamatani Y, Kato T, Morimoto T et al.	先端医療研究開発機構	Association of intravenous heparin administration with in-hospital clinical outcomes among hospitalized patients with acute heart failure	International journal of cardiology•202211. 2023 Jan;370:229-235	Original Article
406	Yamashita Y, Morimoto T, Kadota K et al.	先端医療研究開発機構	Causes of long-term mortality in patients with venous thromboembolism in the real world: From the COMMAND VTE registry	Thrombosis research• 202209. 2022 Nov; 219:30-39	Original Article
407	Omori A, Tsunoda S, Nishigori T et al.	先端医療研究開発機構	Clinical Benefits of Routine Feeding Jejunostomy Tube Placement in Patients Undergoing Esophagectomy	Journal of gastrointestinal surgery : official journal of the Society for Surgery of the Alimentary Tract• 202204. 2022 Apr; 26(4):733-741	Original Article
408	Ohashi A, Kataoka M, Iima M et al.	先端医療研究開発機構	Comparison of Ultrafast Dynamic Contrast-Enhanced (DCE) MRI with Conventional DCE MRI in the Morphological Assessment of Malignant Breast Lesions	Diagnostics•20230315. 2023 Mar;13(6):1105	Original Article

409	Ohki A, Sagawa H, Iima M et al.	先端医療研究開発機構	Evaluation of apparent diffusion coefficient of two- dimensional BLADE turbo gradient- and spin-echo diffusion- weighted imaging with a breast phantom	Radiological physics and technology•20230103. 2023 Mar;16(1):118-126	Original Article
410	Seko Y, Yamamoto E, Kato T et al.	先端医療研究開発機構	Insomnia in patients with acute heart failure: from the KCHF registry	ESC Heart Failure• 202206. 2022 Oct; 9(5):2988-2996	Original Article
411	Someya Y, Iima M, Imai H et al.	先端医療研究開発機構	Investigation of breast cancer microstructure and microvasculature from time-dependent DWI and CEST in correlation with histological biomarkers	Scientific reports• 20220420. 2022 Apr; 12(1):6523	Original Article
412	Furuya F, Fujita Y, Matsuo N et al.	先端医療研究開発機構	Liver autophagy- induced valine and leucine in plasma reflect the metabolic effect of sodium glucose co- transporter 2 inhibitor dapagliflozin	EBioMedicine•20221121. 2022 Dec;86:104342	Original Article
413	Kataoka M, Iima M, Miyake KK et al.	先端医療研究開発機構	Multiparametric imaging of breast cancer: An update of current applications	Diagnostic and Interventional Imaging• 202211. 2022 Dec; 103(12):574-583	Original Article
414	Nagai S, Nishihara H, Suzuki T et al.	先端医療研究開発機構	Recommendations related to the analytical equivalence assessment of gene panel testing	Cancer science•20220730. 2022 Oct;113(10):3282- 3290	Original Article
415	Takami T, Itatani Y, Shibuya R et al.	先端医療研究開発機構	Single-incision laparoscopic partial cecectomy for appendiceal mucocele in a patient with porphyria photosensitivity	Asian journal of endoscopic surgery• 20220703. 2023 Jan; 16(1):86-89	Original Article
416	Iima M, Le Bihan D.	先端医療研究開発機構	The road to breast cancer screening with diffusion MRI	Frontiers in Oncology• 20230221. 2023 Feb; 13:993540	Original Article

417	Hiramatsu Y, Utsumi T, Higuchi H et al.	先端医療研究開発機構	Thermal tissue damage caused by new endoscope model due to light absorption	Journal of gastroenterology and hepatology•20220721. 2022 Sep;37(9):1801-1805	Original Article
418	Utsumi T, Horimatsu T, Sano Y et al.	先端医療研究開発機構	Warning from artificial intelligence against inaccurate polyp size estimation	Digestive endoscopy : official journal of the Japan Gastroenterological Endoscopy Society• 202209. 2022 Sep; 34(6):1196-1197	Original Article
419	Hatoko T, Harada N, Tokumoto S et al.	先制医療・生活習慣病研究センター	An analysis of intestinal morphology and incretin-producing cells using tissue optical clearing and 3-D imaging	Scientific reports• 20221020. 2022 Oct; 12(1):17530	Original Article
420	Matsumori T, Uza N, Shiokawa M et al.	先制医療・生活習慣病研究センター	Clinical impact of a novel device delivery system in the diagnosis of bile duct lesions: A single-center experience	Journal of gastroenterology and hepatology•20220417. 2022 Jul;37(7):1360-1366	Original Article
421	Noguchi S, Nishio M, Sakamoto R et al.	先制医療・生活習慣病研究センター	Deep learning-based algorithm improved radiologists' performance in bone metastases detection on CT	European radiology• 20220408. 2022 Nov; 32(11):7976-7987	Original Article
422	Mitani Y, Ohashi S, Kikuchi O et al.	先制医療・生活習慣病研究センター	HER2 G776S mutation promotes oncogenic potential in colorectal cancer cells when accompanied by loss of APC function	Scientific reports• 20220602. 2022 Jun; 12(1):9213	Original Article
423	Yoshikawa T, Fukuda A, Omatsu M et al.	先制医療・生活習慣病研究センター	JNK pathway plays a critical role for expansion of human colorectal cancer in the context of BRG1 suppression	Cancer Science• 20220817. 2022 Oct; 113(10):3417-3427	Original Article
424	Fukunaga Y, Fukuda A, Omatsu M et al.	先制医療・生活習慣病研究センター	Loss of Arid1a and Pten in Pancreatic Ductal Cells Induces Intraductal Tubulopapillary Neoplasm via the YAP/TAZ Pathway	Gastroenterology• 20220425. 2022 Aug; 163(2):466-480	Original Article
425	Nagao M, Mizukoshi K, Nakayama S et al.	先制医療・生活習慣病研究センター	p53 protects against formation of extrahepatic biliary precancerous lesions in the context of oncogenic Kras	Oncotarget•20230331. 2023 Mar;14:276-279	Original Article

426	Takeuchi Y, Mineharu Y, Arakawa Y et al.	クリニカルバイオリソースセンター	A novel SREBF1::NACC1 gene fusion in an unclassifiable intracranial tumour	Neuropathology and applied neurobiology • 20220728. 2022 Dec; 48(7):e12843	Original Article
427	Takeuchi S, Arakawa Y, Takeuchi Y et al.	クリニカルバイオリソースセンター	Central nervous system mature teratoma producing carbohydrate antigen 19-9: illustrative case	Journal of neurosurgery. Case lessons • 20220815. 2022 Aug; 4(7):CASE22230	Original Article
428	Ota R, Kataoka M, Iima M et al.	クリニカルバイオリソースセンター	Evaluation of pathological complete response after neoadjuvant systemic treatment of invasive breast cancer using diffusion-weighted imaging compared with dynamic contrast-enhanced based kinetic analysis	European Journal of Radiology • 202209. 2022 Sep; 154:110372	Original Article
429	Takeuchi Y, Yoshida K, Halik A et al.	クリニカルバイオリソースセンター	The landscape of genetic aberrations in myxofibrosarcoma	International journal of cancer • 20220429. 2022 Aug; 151(4):565-577	Original Article
430	Yamashita H, Arakawa Y, Terada Y et al.	クリニカルバイオリソースセンター	Whole-genome sequencing analysis of an atypical teratoid/rhabdoid tumor in a patient with Phelan-McDermid syndrome: a case report and systematic review	Brain tumor pathology • 20220624. 2022 Oct; 39(4):232-239	Original Article
431	Ejima A, Abe S, Shimba A et al.	呼吸管理睡眠制御学講座	Androgens Alleviate Allergic Airway Inflammation by Suppressing Cytokine Production in Th2 Cells	Journal of immunology (Baltimore, Md. : 1950) • 20220817. 2022 Sep; 209(6):1083-1094	Original Article
432	Kogo M, Sato S, Muro S et al.	呼吸管理睡眠制御学講座	Development of airflow limitation, dyspnoea, and both in the general population: the Nagahama study	Scientific reports • 20221121. 2022 Nov; 12(1):20060	Original Article

433	Hamada S, Yoshino A, Togawa J et al.	呼吸管理睡眠制御学講座	Exacerbation of ventricular arrhythmias by continuous positive airway pressure treatment in idiopathic dilated cardiomyopathy	Respiratory investigation • 20220712. 2022 Sep; 60(5):729-733	Original Article
434	Sato T, Sato S, Oshima Y et al.	呼吸管理睡眠制御学講座	Impact of inspiratory muscle strength on exercise capacity after lung transplantation	Physiotherapy research international : the journal for researchers and clinicians in physical therapy • 20220409. 2022 Jul; 27(3):e1951	Original Article
435	Ogawa M, Uchiumi A, Sato S et al.	呼吸管理睡眠制御学講座	Preliminary study of assessing cognitive impairment in older patients with chronic obstructive pulmonary disease by using a cognitive functional assessment tool via a touchscreen personal computer	Multidisciplinary Respiratory Medicine • 20230201. 2023 Feb; 1.3694444444444444	Original Article
436	Sato S, Muro S, Aoyama T et al.	呼吸管理睡眠制御学講座	Quantitative computed tomography-based evaluation of skeletal muscle and presence of sarcopenia in patients with chronic obstructive pulmonary disease	Respiratory investigation • 20220526. 2022 Sep; 60(5):709-712	Original Article
437	Sato S, Miyazaki S, Tamaki A et al.	呼吸管理睡眠制御学講座	Respiratory sarcopenia: A position paper by four professional organizations	Geriatrics & gerontology international • 202301. 2023 Jan; 23(1):5-15	Original Article
438	Watanabe R, Kadoba K, Tamamoto A et al.	リウマチ性疾患先進医療学講座(寄附)	CD8(+) Regulatory T Cell Deficiency in Elderly-Onset Rheumatoid Arthritis	Journal of clinical medicine • 20230317. 2023 Mar; 12(6):2342	Original Article
439	Nakayama Y, Watanabe R, Murakami K et al.	リウマチ性疾患先進医療学講座(寄附)	Differential efficacy of TNF inhibitors with or without the immunoglobulin fragment crystallizable (Fc) portion in rheumatoid arthritis: the ANSWER cohort study	Rheumatology international • 202207. 2022 Jul; 42(7):1227-1234	Original Article

440	Iwasaki T, Watanabe R, Ito H et al.	リウマチ性疾患先進医療学講座(寄附)	Dynamics of Type I and Type II Interferon Signature Determines Responsiveness to Anti-TNF Therapy in Rheumatoid Arthritis	Frontiers in immunology • 2022. 2022 Jun; 13:901437	Original Article
441	Shirakashi M, Maruya M, Hirota K et al.	リウマチ性疾患先進医療学講座(寄附)	Effect of Impaired T Cell Receptor Signaling on the Gut Microbiota in a Mouse Model of Systemic Autoimmunity	Arthritis & rheumatology (Hoboken, N.J.) • 202204. 2022 Apr; 74(4):641-653	Original Article
442	Umemoto A, Kuwada T, Murata K et al.	リウマチ性疾患先進医療学講座(寄附)	Identification of anti-citrullinated osteopontin antibodies and increased inflammatory response by enhancement of osteopontin binding to fibroblast-like synoviocytes in rheumatoid arthritis	Arthritis research & therapy • 20230217. 2023 Feb; 25(1):25	Original Article
443	Masui S, Yonezawa A, Yokoyama K et al.	リウマチ性疾患先進医療学講座(寄附)	N-terminus of Etanercept is Proteolytically Processed by Dipeptidyl Peptidase-4	Pharmaceutical Research • 20220819. 2022 Oct; 39(10):2541-2554	Original Article
444	Furukawa Y, Luo Y, Funada S et al.	リウマチ性疾患先進医療学講座(寄附)	Optimal duration of antibiotic treatment for community-acquired pneumonia in adults: a systematic review and duration-effect meta-analysis	BMJ open • 20230322. 2023 Mar; 13(3):e061023	Original Article
445	Okabayashi S, Yamazaki H, Yamamoto R et al.	地域医療システム学講座(寄附)	Certolizumab pegol for maintenance of medically induced remission in Crohn's disease	The Cochrane database of systematic reviews • 20220630. 2022 Jun; 6(6):CD013747	Original Article
446	Anan K, Kataoka Y, Ichikado K et al.	地域医療システム学講座(寄附)	Early corticosteroid dose tapering in patients with acute exacerbation of idiopathic pulmonary fibrosis	Respiratory research • 20221026. 2022 Oct; 23(1):291	Original Article

447	Kohjitani H, Koda S, Himeno Y et al.	地域医療システム学講座(寄附)	Gradient-based parameter optimization method to determine membrane ionic current composition in human induced pluripotent stem cell-derived cardiomyocytes	Scientific reports• 20221109. 2022 Nov; 12(1):19110	Original Article
448	Martinez-Ordoñez A, Duran A, Ruiz-Martinez M et al.	地域医療システム学講座(寄附)	Hyaluronan driven by epithelial aPKC deficiency remodels the microenvironment and creates a vulnerability in mesenchymal colorectal cancer	Cancer cell•20221206. 2023 Feb;41(2):252-271	Original Article
449	Okabayashi S, Yamazaki H, Tominaga K et al.	地域医療システム学講座(寄附)	Lower effectiveness of intravenous steroid treatment for moderate-to-severe ulcerative colitis in hospitalised patients with older onset: a multicentre cohort study	Alimentary pharmacology & therapeutics•202206. 2022 Jun;55(12):1569-1580	Original Article
450	Okamura T, Hamaguchi M, Hasegawa Y et al.	地域医療システム学講座(寄附)	Oral Exposure to Polystyrene Microplastics of Mice on a Normal or High-Fat Diet and Intestinal and Metabolic Outcomes	Environmental health perspectives•202302. 2023 Feb;131(2):27006	Original Article
451	Zhao Z, Ito A, Nakahata A et al.	運動器機能再建学講座(寄附)	One session of 20 N cyclic compression induces chronic knee osteoarthritis in rats: A long-term study	Osteoarthritis and cartilage open•202212. 2022 Dec;4(4):100325	Original Article
452	Onuma K, Inoue M.	クリニカルバイオリソース研究開発講座(産学共同)	Abnormality of apico-basal polarity in adenocarcinoma	Cancer Science• 20220914. 2022 Nov; 113(11):3657-3663	Original Article
453	Coppo R, Kondo J, Iida K et al.	クリニカルバイオリソース研究開発講座(産学共同)	Distinct but interchangeable subpopulations of colorectal cancer cells with different growth fates and drug sensitivity	iScience•20230217. 2023 Jan;26(2):105962	Original Article

454	Ito Y, Kondo J, Masuda M et al.	臨床バイオリソース研究 開発講座(産学共同)	Ex vivo chemosensitivity assay using primary ovarian cancer organoids for predicting clinical response and screening effective drugs	Human cell・202303. 2023 Mar;36(2):752-761	Original Article
455	Gao J, Seki T, Usami K et al.	てんかん・運動異常生理学 講座(産学共同)	Complications associated with the use of enzyme-inducing and non-enzyme-inducing anti-seizure medications in the Japanese population: A retrospective cohort study	Epilepsy & behavior : E&B・202204. 2022 Apr; 129:108610	Original Article
456	Okada T, Fujimoto K, Fushimi Y et al.	リアルワールドデータ研究開 発講座(産学共同)	Neuroimaging at 7 Tesla: a pictorial narrative review	Quantitative imaging in medicine and surgery・ 202206. 2022 Jun; 12(6):3406-3435	Original Article
457	Yamamoto Y, Fukuyama K, Kanai M et al.	リアルワールドデータ研究開 発講座(産学共同)	Prevalence of pathogenic germline variants in the circulating tumor DNA testing	International journal of clinical oncology・ 20220723. 2022 Oct; 27(10):1554-1561	Original Article

計457件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。

記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
~					

計 件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 手順書の主な内容 医の倫理委員会会議録の作成 医の倫理委員会作業手順書、委員名簿、及び会議録概要等の公表 研究者等への教育研修 医の倫理委員会委員及び事務局員への教育研修 年次報告及び中止・終了報告 研究者、研究責任者及び研究機関の長の責務 試料・情報の保管及び他の機関等の試料・情報の利用等 迅速審査に関する手順 多機関共同研究についての事務手続き及び審査の方針 重篤な有害事象・安全性情報の報告 専門小委員会の運用にかかる手順書 不適合に関する報告 中央倫理審査委員会としての一括審査 外部機関の倫理委員会への審査依頼	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 規定の主な内容 利益相反マネジメントの原則、利益相反審査に係る審議体制・手続き等	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年4回
<p>・研修の主な内容</p> <p>臨床研究等倫理講習会 2022年度 臨床研究等倫理講習会 「開会挨拶」 「臨床研究の適正実施に向けた取り組み」 「先進医療・患者申出療養と臨床研究保険について」</p> <p>倫理審査委員教育研修会 2022年度 第1回 「開会挨拶」 「臨床研究の適正実施に向けた取り組み」 「先進医療・患者申出療養と臨床研究保険について」</p> <p>2022年度 第2回 「監査とは」</p> <p>2022年度 第3回 「同意書管理ツールを使った研究管理」</p>	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

京大病院では、単に自立して診療ができるだけでなく、将来的にその領域でリーダーシップがとれるような実力のある専門医の養成をめざしている。

こうした専門医になるためには、固定化した医療環境で、漫然と日常診療をこなすだけでは不十分であり、系統的なプログラムにもとづき、優れた指導医のもとで、さまざまな医療環境を経験することが必要となる。

京大病院は、レベルの高い魅力的な第一線の医療機関が関連病院としてリンクしていることで有名であり、活発に人事交流することが実力のある臨床医を育成する原動力になっている。プログラムは、こうしたアクティビティの高い病院での修練が包括されたものとなっている。その中で大学においては若い医師たちが真摯で刺激的なディスカッションを重ねながら、挑戦的で先進的な課題に取り組む環境が形成されており、京大病院の実績と力に結びついている。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	235 人
-------------	-------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
山下 浩平	血液内科	准教授	30年	
尾野 亘	循環器内科	准教授	33年	
宇座 徳光	消化器内科	講師	25年	
平井 豊博	呼吸器内科	教授	35年	
森信 暁雄	免疫・膠原病内科	教授	35年	
横井 秀基	腎臓内科	講師	29年	
植田 陽平	糖尿病・内分泌・栄養内科	助教	14年	
葛谷 聡	脳神経内科	准教授	27年	
小濱 和貴	消化管外科	教授	28年	
高田 正泰	乳腺外科	准教授	22年	
田浦 康二郎	肝胆膵・移植外科	准教授	29年	
増井 俊彦	小児外科	准教授	29年	
大槻 文悟	整形外科	准教授	26年	

荒川 芳輝	脳神経外科	教授	26年	
湊谷 謙司	心臓血管外科	教授	37年	
森本 尚樹	形成外科	教授	30年	
伊達 洋至	呼吸器外科	教授	39年	
上田 奈央子	眼科	特定病院助教	23年	
堀江 昭史	産科婦人科	講師	24年	
滝田 順子	小児科	教授	32年	
梶島 健治	皮膚科	教授	27年	
齊藤 亮一	泌尿器科	准教授	24年	
大森 孝一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	教授	39年	
磯部 昌憲	精神科神経科	助教	18年	
江木 盛時	麻酔科	教授	24年	
吉村 通央	放射線治療科	准教授	26年	
中本 裕士	放射線診断科	教授	32年	
長尾 美紀	検査部・感染制御部	教授	24年	
羽賀 博典	病理診断科	教授	32年	
大鶴 繁	救急科	教授	26年	
松原 淳一	腫瘍内科	講師	23年	
中尾 一祐	歯科口腔外科	准教授	21年	
橋本 教正	緩和医療科	特定病院助教	13年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）	
1. 研修の主な内容	薬剤師を対象に、調剤業務・病棟薬剤師業務、医薬品安全管理についての知識・技能を修得するための講義研修および症例検討会、臨床上の課題を発見・解決する能力を養うためのセミナーを実施した。
研修の期間・実施回数	2022/4/1～2023/3/31 計70回
研修の参加人数	各10～30名
2. 研修の主な内容	「看護部IVナース認定プログラム」に基づき、下記対象者に下記講義と演習・試験を実施した。 ①レベルⅡ（新規入職看護師対象）に薬剤・安全管理・感染管理・CVポート・PICCの管理・テープ固定時の皮膚障害予防、末梢血管確保・CVポート穿刺演習 ②レベルⅢ（レベルⅡを指導する者対象；インストラクター）に輸液管理・生物学的製剤・UKカテーテル・輸血管理・アナフィラキシー・造影剤・IVインストラクター講習 ③レベルⅣ（レベルⅢ認定者対象）抗がん薬の基礎知識、抗がん薬投与における末梢静脈穿刺
研修の期間・実施回数	のべ1205時間42分、382回（在宅研修・動画講義視聴を含む）
研修の参加人数	のべ705人
3. 研修の主な内容	下記の対象者研修を実施した。 4/1採用者研修・中途採用者研修・勤務復帰者研修、新人看護師・卒後2年看護師・卒後3年看護師・卒後4年看護師研修・クリニカルコーチ研修・教育担当副師長研修・看護補助者研修等を行った。
研修の期間・実施回数	のべ1605時間20分 550回（在宅研修・オンラインライブ研修・動画講義視聴を含む）
研修の参加人数	のべ3059人
4. 研修の主な内容	ICU・CCU/HCU新規入職看護師を対象に「透析看護認定研修」として、「腎不全の病態と血液浄化療法」「血液浄化療法の記録」「血液浄化用訪中の看護」「血液浄化療法について」「血液浄化療法の実際」についての講義・演習・試験を実施した。
研修の期間・実施回数	42時間45分、27回（動画講義視聴を含む）
研修の参加人数	のべ45人

5. 研修の主な内容

検査部の新規採用職員と全職員を対象に、以下の研修を実施した。

1. 新規採用者研修：事務手続き
2. 新規採用者研修：病院（当院の概要）
3. 新規採用者研修：職員として大切なこと（接遇関連）
4. 新規採用者研修：検査部について
5. 新規採用者研修：臨床検査について
6. 新規採用者研修：臨床検査の精度管理（ISO15189を交えて）
7. 新規採用者研修：外来採血室（採血における注意点 RFIDと患者対応）
8. ISO必修トレーニング
 - ①品質マネジメントシステム：2022年度
 - ②災害対策：2022年度
 - ③倫理：2022年度
 - ④廃棄物：2022年度
 - ⑤医療安全の講習会（病院指定 年2回）2022年度
 - ⑥感染対策の講習会（病院指定 年2回）2022年度
9. Clinical Laboratory Conference (CLC 部内研修会)
 - 165回：当直・日直時に知っておくと役立つ知識（血液検査）
 - 166回：輸血当直の今後について
 - 167回：時間外検査室における生化学検査の基礎とTDM項目測定の運用
 - 168回：ICT業務について
 - 169回：日直・当直時の尿検査について
 - 170回：腎機能と透析
 - 171回：薬物血中濃度モニタリング(TDM)
 - 172回：脳波検査における検査技師の役割

研修の期間・実施回数

各年1回（1-7：2022/4/2-4/3，8-①2022/10/3-2023/3/31，
②2022/6/9-2023/3/31，③2023/1/18-2023/3/31，④2023/1/30-3/31，
⑤⑥2022/4/1-2023/10/30，9：165:2022/6/29，166:2022/9/14，
167：2022/10/19，168：2022/11/9，169：2022/11/9，170：2023/1/18，
171：2023/2/16 172：2023/3/8）

研修の参加人数

・1～7は3名、8は129名（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今回は各自web）
・9 各自Web 20～50人

6. 研修の主な内容

診療放射線技師を対象に、以下の研修を実施した。

1. Let's create a new era together! -3rd season-
2. 未来のDXに向けた医療技術者の下ごしらえ
3. Bグループ昨年度検査実績から2022年の方向性（内用療法の管理料も考えてみた）
4. 3.11の語り部となる！～災害が起きたときに何をするか考えてみよう～
5. グループ運用の振り返りと展望
6. Let's challenge the presentation at the conference
7. MRの撮像時間について考える
8. 放射線治療の進化
9. ペプチド受容体放射性核種療法(PRRT)について

研修の期間・実施回数	各30分、9回 (1. 2022/4/28、2. 2022/5/12、3. 2022/5/19、4. 2022/5/26、5. 2022/6/2、6. 2022/6/23、7. 2022/7/14、8. 2022/7/21、9. 2022/8/18)
研修の参加人数	(1. 42名、2. 45名、3. 39名、4. 41名、5. 43名、6. 43名、7. 36名、8. 38名、9. 39名)
7. 研修の主な内容	看護師・臨床工学技士を対象に、人工呼吸器・血液浄化・除細動器・人工心肺装置及び補助循環装置・閉鎖式保育器・新規医療機器の安全な使用方法について実施した。
研修の期間・実施回数	計69回 (2022/4/1～2023/3/31) 及びe-ラーニング
研修の参加人数	1932人
8. 研修の主な内容	令和4年全国国立大学病院栄養部門会議研修会 第2回Advanceコース
研修の期間・実施回数	2022年10月21日～22日
研修の参加人数	43名
9. 研修の主な内容	理学療法士，作業療法士，言語聴覚士を対象に、肩関節の運動障害と筋の画像評価についての研修を実施した。
研修の期間・実施回数	60分、1回 (2022/7/25)
研修の参加人数	24人
10. 研修の主な内容	理学療法士，作業療法士，言語聴覚士を対象に、パーキンソン病の運動障害の発生メカニズムと運動療法についての研修を実施した。
研修の期間・実施回数	60分、1回 (2022/11/28)
研修の参加人数	24人

② 業務の管理に関する研修の実施状況 (任意)	
1. 研修の主な内容	薬剤師を対象に、医薬品情報管理に関する研修を実施した。
研修の期間・実施回数	2022/4/1～2023/3/31 計10回
研修の参加人数	各35～45名
2. 研修の主な内容	看護師を対象に、管理者研修を実施した。
研修の期間・実施回数	のべ7時間00分、7回
研修の参加人数	のべ17人
3. 研修の主な内容	検査部の職員を対象に、以下の研修を実施した。 1. 時間外血液培養検査研修会 2. 患者急変時緊急対応訓練 3. 分析装置研修 (FilmArray:微生物) 4. 分析装置研修 (リムセイブ:微生物) 5. 分析装置研修 (ミュータスワコー g1:微生物) 6. 分析装置研修 (DxM1096マイクロスキャンWalkAway:微生物) 7. ハラスメント研修 (厚生労働省 Webサイト) 8. 耐性菌確認試験の手技について 9. 分析装置研修 (呼吸機能検査CHESTAC精度管理について: 生理) 10. 分析装置研修 (呼吸機能検査CHESTACボディプレチスモグラフについて: 生理) 11. クロスマッチに使用可能な輸血検査用検体について 12. 輸血部門監視システムと点検内容および記録について 13. 赤十字センターへの製剤発注 (Web発注について) 14. 分析装置研修 (Radian, Colibri: 微生物) 15. 分析装置研修 (Wasp-Lab: 微生物)

研修の期間・実施回数	1. 2022/6/9-6/15, 2. 2022/7/11-7/22, 3. 2022/9/8-9/9, 4. 2022/10/20-10/31, 5. 2022/10/20-10/21, 6. 2022/10/18-10/31, 7. 2022/11/1-2022/11/30, 8. 2022/12/23, 9. 2023/1/11-1/31, 10. 2023/2/2-2/15, 11. 2023/1/20-2/5, 12. 2023/1/20-2/5, 13. 2023/2/1-2023/2/15, 14. 2023/3/20-3/31, 15. 2023/2/20-3/7
研修の参加人数	1 : 33人 (2名 : 育児休暇) , 2 : 23人 (2名 : 育児休暇) , 3 : 7人, 4:8人, 5 : 8人, 6 : 8人, 7 : 15人, 8 : 8人, 9 : 18人 (2名 : 育児休暇) , 10 : 17人 (2名 : 育児休暇) , 11 : 17名, 12 : 17名, 13 : 17名, 14 : 7人, 15 : 7人
4. 研修の主な内容	診療放射線技師を対象に、以下の管理業務に関する研修を行った。 ・総務管理 ・医療安全管理 ・感染対策管理 ・情報管理 ・学術法規・災害管理 ・治験・臨床研究管理 ・人材育成管理
研修の期間・実施回数	2022/4/1-2 (各1回)
研修の参加人数	各5名
5. 研修の主な内容	診療放射線技師を対象に、以下の診療業務に関する研修を行った。 1. 勉強と業務と研究 2. 論文化を前提とした学術研究のすすめ方～個人的セブルール～ 3. 乳幼児胸部臥位X線撮影における撮影条件の最適化 4. WEBホスティングサービスを用いたポータルサイトの作成と有用性 5. 血管造影検査における回転撮影とインジェクタ設定の注意点 6. 胸部ポータブル撮影におけるグリッドレスの可能性に関する検討 7. Deep Learning based Spectral CTにおける管球回転速度の違いが仮想単色画像の画質に及ぼす影響 8. Angio装置の術者被ばくについて～側面X線管位置による術者被ばくの変化～ 9. Functional MRI 10. HyperArcの固定具を用いた頭部定位放射線治療の患者固定精度 11. 大動脈弓部を対象とした3D T1-Weighted-SPACE Black Blood MRIの最適化 12. 呼吸のはなし 13. 乳がん検診におけるマンモグラフィと超音波 14. CT画像における新型乳房組織拡張器の金属アーチファクト定量評価
研修の期間・実施回数	各30分、14回 (1. 2022/6/16、2. 2022/6/30、3. 2022/7/7、4. 2022/7/28 、5. 2022/8/25、6. 2022/10/13、7. 2022/10/20、8. 2022/11/10、9. 2022/11/17 、 10. 2022/11/24 、 11. 2022/12/1 、 12. 2023/1/12 、 13. 2023/1/26 、 14. 2023/2/2)
研修の参加人数	(1. 43名、2. 36名、3. 34名、4. 33名、5. 31名、6. 31名、7. 24名、8. 30名 、9. 20名、10. 24名、11. 24名、12. 26名、13. 28名、14. 32名)

6. 研修の主な内容	診療放射線技師を対象に、国立がん研究センター中央病院人事交流成果報告を実施した。
研修の期間・実施回数	30分、1回(2023/2/14)
研修の参加人数	38名
7. 研修の主な内容	診療放射線技師を対象に、以下の他大等との学術交流会を実施した。 京大・東大・がんセンター放射線先端学術交流会(第1部) 現代のニーズに合わせた臨床業務の改善 1.「京大病院の当直quality -放射線部が病院を支える-」、(第2部) 学術研究の最新トピックス 2-1.「Virtual Realityの研究利用と研究費取得に関する私見」、2-2.「CTの位置決め画像,新しくないけど新しいはなし」、2-3.「術後X線撮影における遺残確認を支援する画像処理技術の開発と評価」
研修の期間・実施回数	90分、2022/10/13
研修の参加人数	37名
8. 研修の主な内容	医療器材部職員を対象に臨床工学技士の業務範囲追加に伴う厚生労働大臣指定による研修(基礎研修)
研修の期間・実施回数	2022年度・e-ラーニング
研修の参加人数	14名
9. 研修の主な内容	インスリンポンプについて、MCTとリハビリ栄養について、栄養剤の特徴等について、BCPマニュアルについて、他
研修の期間・実施回数	年間11回
研修の参加人数	1回約20人
10. 研修の主な内容	理学療法士, 作業療法士, 言語聴覚士を対象に、医療安全(部署で生じたインシデント・リスクの共有)についての研修を実施した。
研修の期間・実施回数	60分、1回(2022/5/23)
研修の参加人数	26人
11. 研修の主な内容	理学療法士, 作業療法士, 言語聴覚士を対象に、感染対策とPPEの適切な装着に関する実技研修を実施した。
研修の期間・実施回数	60分, 1回(2022/6/27)
研修の参加人数	27人

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の状況
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 ・研修機関・実施回数 ・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 高折 晃史	
管理担当者氏名	総務課長 植村 博樹 医療サービス課長 藤岡 一敏 医療安全管理室長 松村 由美 感染制御部長 長尾 美紀 医療器材部長 小濱 和貴	医務課長 西井 美歩 臨床研究戦略課 藤村 浩樹 医療情報企画部長 黒田 知宏 薬剤部長 寺田 智祐 倫理支援部 中山 健夫

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	医療情報企画部 ・ 医務課
		処方せん	薬剤部
		手術記録	医療情報企画部 ・ 医務課
		看護記録	医療情報企画部 ・ 医務課
		検査所見記録	医療情報企画部 ・ 医務課
		エックス線写真	医療情報企画部 ・ 医務課
		紹介状	医療情報企画部 ・ 医務課
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医療情報企画部 ・ 医務課
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	医務課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医療サービス課・ 倫理支援部・ 臨床研究戦略課
		高度の医療の研修の実績	総務課
		閲覧実績	総務課
		紹介患者に対する医療提供の実績	医務課
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医務課・薬剤部
	規則第一條の十に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理室・ 医療サービス課
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理室・ 医療サービス課
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理室・ 医療サービス課
		医療機関内における事故報告等	医療安全管理室・
			・カルテは電子カルテと紙カルテの2種類を管理及び保管している。 ・2005年に電子カルテを導入しており、それ以前の紙カルテについては20年の保存期間を設けて病歴管理室にて保管している。また、紙媒体で生成される各種検査資料及び同意書等については、原則、電子印章付きのスキヤナで取り込み、電子データを原本として電子カルテに保存している。 ・画像フィルムは、2013年4月に全てのモダリティのフィルムレス化を実施しており、それ以降原則、現物保管はしていない。 ・カルテを病院外に持ち出すことは個人情報保護のため認めていない。
			パソコンの電子ファイルおよび紙媒体で管理。 パソコンの電子ファイルおよび紙媒体で管理。

		の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療サービス課	
			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部	パソコンの電子ファイルおよび紙媒体で管理。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部・医療サービス課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部・医療サービス課	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部・医療サービス課	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療器材部	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療器材部・医療サービス課	
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療器材部			
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療器材部			

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全管理室・医療サービス課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療サービス課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療サービス課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医務課
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理室・医療サービス課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療サービス課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療サービス課
		監査委員会の設置状況	総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理室・医療サービス課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全管理室・医療サービス課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理室・医療サービス課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課
		職員研修の実施状況	医療サービス課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療サービス課
管理者が有する権限に関する状況	総務課		
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	監査室・医療サービス課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状
閲覧責任者氏名	事務部長 久保 公四郎
閲覧担当者氏名	総務課長 植村 博樹
閲覧の求めに応じる場所	総務課内
閲覧の手続の概要 1. 閲覧申込 総務課 2. 承認者 事務部長 3. 閲覧方法 指定した日時総務課内 4. 返却方法 当日総務課へ返却	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本理念 2. 組織と体制 3. 医療事故収集とサーベイランス 4. 重大事故発生時の報告体制 5. 安全管理に係る研修の実施 6. マニュアル・対応指針等の作成 7. 診療情報等の共有と開示 8. 患者および家族からの相談等への対応 9. その他医療安全の推進のために必要な基本方針 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ） ・ 開催状況：年12回 ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 本院における医療事故の防止及び医療の安全性確保に関すること。 2. 本院において重大な問題その他、委員会において取り扱うことが適当な問題が発生した場合における、速やかな原因究明のための調査及び分析に関すること。 3. 2. の分析の結果を活用した、医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の立案及び実施、並びに職員等への周知に関すること。 4. 3. の改善のための方策の実施の状況の調査及び必要に応じた当該方策の見直しに関すること。 5. 医療に係る安全管理のため、職員等の医療の安全に関する意識、他の職員等と相互に連携して業務を行うことについての認識、業務を安全に行うための技能の向上等を目的として、医療に係る安全管理のための基本的な事項及び具体的な方策についての職員等研修に関すること。 6. 医療に関する安全管理指針の策定及び変更に関すること。 7. その他医療安全管理に関すること。 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年10回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて）： <ol style="list-style-type: none"> 1. 『特定機能病院として職員研修で周知が求められている項目』 2. 『個人情報保護法改正を受けて』 3. 『インスリンバイアル製剤の事故をゼロにする』 4. 『心理的安全性』 5. 『コミュニケーションって難しい！？』 6. 『本当にあった患者誤認の話』 7. 『肺血栓塞栓症』 8. 『知れば納得！アドレナリンの基礎知識』 9. 『暴言・暴力事例に関する対応方法』 10. 『薬剤死亡事例分析提言』 	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ） ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 各種安全管理マニュアル・指針等の整備と運用状況のモニター、改訂作業 	

2. 安全に関する部門連携・委員会活動
 - ・医療安全管理委員会の定期開催
 - ・リスクマネージャー会議の定期開催
 - ・医療安全、医薬品安全管理、医療機器安全管理、臨床研究安全管理、医療放射線安全管理に関する小委員会の定期開催
 - ・多職種間（部門横断的）インシデント検討会の定期開催
 - ・各種WG開催
 - ・高難度医療・未承認医薬品等管理室との連携
3. 職員への安全教育
 - ・e-learning、院内事例報告会
 - ・医療安全ニュース、周知依頼事項の配信
 - ・リスクマネージャーメールマガジンの発行

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染対策に関する基本方針 ・ 感染対策組織の概要 ・ 各種委員会および会議の開催 ・ 感染制御部（ICT）の業務内容 ・ 感染アウトブレイク（集団発生）時の対応 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年120回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内感染対策委員会 1回/月（必要に応じて随時開催） 2. AST会議 1回/週（必要に応じて随時開催） 3. ICT会議 1回/週（必要に応じて随時開催） 4. 感染対策業務会議 必要に応じて随時開催 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年5回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて）： <ol style="list-style-type: none"> 1. 『手指衛生』 2. 『標準予防策』 3. 『PPE』 4. 『抗菌薬のTDM』 5. 『抗菌薬適正使用について』 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 （ 有・無 ） ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 感染対策サーベイランスの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 薬剤耐性菌サーベイランス ・ 中心静脈カテーテル関連血流感染（CLABSI）サーベイランス ・ カテーテル由来血流感染（CRBSI）サーベイランス ・ 手術部位感染サーベイランス ・ 抗菌薬サーベイランス ・ 手指消毒剤使用量サーベイランス ・ 手指衛生モニタリング 2. 職業感染防止及び血液体液曝露後の対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 入職時の抗体価確認（B型肝炎、麻疹、水痘、ムンプス、風疹） ・ ワクチン接種（B型肝炎、インフルエンザ、麻疹、水痘、風疹、ムンプス） ・ 針刺し防止マニュアル作成・周知、針刺し防止器材の積極的な導入 ・ 職業感染曝露後の対応 <ul style="list-style-type: none"> - 針刺し、血液・体液曝露対応（検査、ワクチン、グロブリン、予防投薬等） - 結核（IGRA：インターフェロン-γ遊離試験、予防投薬） - 小児ウイルス性疾患（抗体確認、緊急ワクチン接種、休務規定） - インフルエンザ（検査、休務規定、予防投薬） ・ 結核感染高リスク部署の職員への結核定期検診 ・ 透析スタッフへの肝炎検査 3. 新型コロナウイルス対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 週に2回、病院長を中心に執行部・感染制御部によるCOVID-19対策会議を開催 基本的な病院の方針を同会議で決定。 実際の運用内容を各担当者が決定し、院内全体に周知。 （例：COVID-19患者の応需、休務方針、COVID-19スクリーニング体制など） 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年76回
<p>・ 研修の主な内容： 医薬品関連の事故防止に係る本院職員の意識向上と知識習得のため次の通り研修会を実施した。</p> <p>医師・看護師・薬剤師対象 1. 院内動画配信（e-learning） 2022年4月～ 1回 ・ 医薬品の安全使用について 病棟スタッフ対象 1. 看護師・医師を主な対象とした研修会 24回 ・ 医薬品の使用上の注意点等について 薬剤師対象 1. 採用医薬品説明会 10回 ・ 新規採用医薬品の説明と位置づけ ・ 添付文書改訂情報、安全性情報、医薬品の取扱い情報 2. 薬剤部部員会 12回 ・ 警鐘すべきインシデント事例の情報共有 ・ 再発防止策の検討と注意喚起 3. 薬剤師レジデント勉強会 25回 ・ 業務内容及び業務マニュアルの確認と解説 ・ 処方監査・疑義照会のポイント解説 新採用者対象 1. 研修医・医師オリエンテーション講義（動画視聴） 2022年4月3日 1回 2. 看護部新規採用者オリエンテーション講義（動画視聴） 2022年4～5月 1回 3. 薬剤部新入職員講義 2022年4月3日 1回 4. 看護部静脈注射輸液管理認定プログラム講義（動画視聴） 2022年4～5月 1回</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 （ 有・無 ） ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： 1. 医薬品の採用に関すること 2. 医薬品の購入に関すること 3. 薬剤部における医薬品の管理に関すること 4. 病棟・各部門への医薬品の供給に関すること 5. 外来患者への医薬品使用に関すること 6. 病棟・外来・中央診療施設における医薬品の管理に関すること 7. 入院患者への医薬品使用に関すること 8. 医薬品の適正使用・安全使用に係る情報に関すること 9. 他施設（医療機関・薬局等）との連携に関すること 以上の業務内容について、手順書に基づく業務の実施状況を確認した。医薬品安全管理補助者の指名を受けた薬剤師が、チェックリスト「医薬品安全使用の業務手順書遵守確認票」を用いて現場ラウンド及びヒアリングにより確認し、不十分な点は改善指導した。医薬品安全管理責任者は結果の報告を受けるとともに、記入済みのチェックリストを確認した。 ・ 病棟・外来・中央診療棟：2022年7月～2023年3月に実施 ・ 薬剤部：2023年3月に実施</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 （ 有・無 ） ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： 別紙1「未承認等の医薬品の具体的な使用事例」 ・ その他の改善のための方策の主な内容：</p>	

- 1) 副薬剤部長1名が薬剤部リスクマネージャーを兼任し、毎週開催される医療安全小委員会にて院内の情報を収集し、業務改善を協議すると共に、医薬品関連のインシデントレポートをもとに薬剤部内に警鐘事例を周知している。また薬剤部長・副薬剤部長間でインシデント情報を共有し、薬剤業務改善の方策を立てることで医薬品安全使用の質的改善を推進している。
- 2) 処方・注射オーダーリングシステムに対し、インシデントレポートで提議された報告を基に薬剤誤投与防止機能について運用を含めて修正し、医師の業務負担を軽減し、医療事故を未然に防止すると共に、必要なデータベースを構築し、維持・管理している。
- 3) 全職員を対象に、緊急安全性情報や医薬品・医療機器等安全性情報などの注意喚起情報、医薬品の採用・削除などの医薬品情報をアナウンスメールで発信している。アナウンスメールしたものの中からピックアップして、リスクマネージャー会議で周知依頼するとともに、周知状況を確認している。
- 4) オーダーリングシステムによる警告（相互作用、過量投与、アレルギー既往歴、妊婦禁忌、等を含む）を通過した処方せんは、調剤時に薬剤師が電子カルテ記載内容を確認し、処方内容に疑義がある場合は医師に照会している。適応外使用や禁忌の使用については「適応外・禁忌・未承認薬データベース」に入力している。
- 5) 入院患者の持参薬の内容確認を薬剤師が行い、患者と面談して服薬状況等を情報収集するとともに、個々の患者に合わせたより適正な使用となるよう、医師に服薬計画を提案している。
- 6) 病棟薬剤師が電子カルテ上で処方内容評価をする際、用法・用量等のチェックに加えて、未承認薬や適応外使用に該当しないか、禁忌に該当しないかを把握し、該当する場合は医師に必要性を確認している。収集した情報は「適応外・禁忌・未承認薬データベース」に入力している。医薬品安全管理補助者がデータベースの内容を確認してまとめ、医薬品安全管理責任者に報告している。
- 7) 医師との連携により、院外処方せん交付患者に対して初回投与時の抗がん薬の服薬指導を行い、副作用等の説明及びその対処を指導して、医薬品安全使用を推進している。
- 8) 外来患者の臨床検査値の一部を院外処方せんに記載し、保険薬局での処方監査時に検査値を参照できるようにしている。また、保険薬局にて患者から聴き取った情報のうち、処方医師への提供が望ましいと判断された内容を服薬情報提供書（トレーシングレポート）で受け付けている。トレーシングレポートの送受信はFAXに加えて、電子的に管理できるシステムを導入し、送受信に係る業務の効率化・処方医師と薬剤師の情報連携強化を推進している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年123回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>1. 放射線関連機器について</p> <p>○高度管理医療機器の研修として、以下の研修を実施した。 診療用高エネルギー放射線発生装置と診療用放射線照射装置に関し以下の研修を実施した。</p> <p>1) 令和4年10月17日～10月31日に関連する医療従事者を対象に第1回 診療用高エネルギー放射線発生装置のwebを用いた研修を実施した。（参加者73名）</p> <p>2) 令和4年10月17日～10月31日に関連する医療従事者を対象に第1回 診療用放射線照射装置のwebを用いた研修を実施した。（参加者70名）</p> <p>3) 令和5年3月27日に関連する医療従事者を対象に第2回 診療用高エネルギー放射線発生装置の研修を中央診療棟地階第6待合室にて実施した。（参加者62名）</p> <p>4) 令和5年3月27日に関連する医療従事者を対象に第2回 診療用放射線照射装置の研修を中央診療棟地階第6待合室にて実施した。（参加者60名）</p> <p>* 欠席者に対しては資料確認により補講を実施した。</p> <p>○新規・更新装置導入時の研修として、以下の研修を実施した。</p> <p>1) X線CT撮影：Aquilion ONE（安全操作説明・緊急時対応）第3治療計画室移設導入時研修。令和4年4月11日、13日 出席18名（資料確認4名）。</p> <p>2) X線血管造影撮影装置D室：Interact DiscoveryRT（IVR-CT）システムの（安全操作説明・緊急時対応）新規導入時研修。令和4年4月6～8日 出席68名。</p> <p>3) X線CT撮影：Aquilion precision（安全操作説明・緊急時対応）第3CT室新規導入時研修。令和4年4月28日、30日 出席29名。</p> <p>2. ME関連機器について</p> <p>1) 2022年度中に医師・看護師・臨床工学技士を対象として人工呼吸器・血液浄化装置・除細動器・人工心肺装置及び補助循環装置等・閉鎖式保育器の安全な使用方法についての研修を計24回実施した。除細動器及び人工呼吸器、血液浄化に関してはe-ラーニングでの研修を実施している。その他医療機器・新規医療機器についての研修を計46回実施した。</p> <p>2) 2022年4月に新人看護師、研修医を対象として、輸液・シリンジポンプ・人工呼吸器の使用方法について研修を実施した。</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る計画の策定 （ 有・無 ）</p> <p>・ 機器ごとの保守点検の主な内容：</p> <p>1. 放射線関連機器について</p> <p>・ 放射線機器等については年度点検実施計画を作成し、各部門担当者を決めて以下の内容について定期的な点検を実施している。</p> <p>→機器の動作状況、設定状況、制御状況、画質の確認・検査・清掃・試験・調整・記録及び医療機器安全管理責任者が確認、押印している。</p> <p>→日々の始業終業点検について、各部門において担当者を決めて点検表にて確認、記録及び医療機器安全管理責任者が確認、押印している。</p> <p>→高度な技術を要する修理、オーバーホールはメーカーに依頼している。</p> <p>2. ME関連機器について</p>	

- ・医療機器の点検周期に沿って、院内点検とメーカー点検を実施している。
 - 臨床工学技士の点検においては、実施可能なバッテリー交換・各種センサー・フィルタ等の定期交換を実施している。
 - 高度な技術を要する修理、オーバーホールはメーカーに依頼している。

④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集
その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有 ・ 無)
- ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例 (あれば) : 該当なし
- ・ その他の改善のための方策の主な内容 :
 1. 放射線関連機器について
 - ・ 血管造影、CT・透視、MR、RI、放射線治療系の各部門において、多職種 (医師、看護師、技師) での品質管理 (QA) 委員会を、月例開催または2~3ヶ月に1回開催している。
 - ・ 一般撮影+血管造影+CT・透視グループ、MR+RIグループ、放射線治療の3つのグループにおいて、診療放射線技師の定例会議を月例で開催している。
 2. ME関連機器について
 - ・ 医療機器に関する安全情報は医療安全管理室と協力して医療従事者に周知する体制をとっている。
 - ・ 医療機器の安全使用を目的として、中央管理機種の一掃を推し進めている。
 - ・ 電子カルテ用端末にて、中央管理を行っている機器の取扱い説明書が確認出来る。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・ 責任者の資格（医師・歯科医師）</p> <p>・ 医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>常勤医師の副病院長（医療安全担当）を医療安全管理責任者として配置している。また、医療安全管理責任者は医療安全管理委員会の委員長であり、医療安全管理委員会のもとに医薬品安全管理小委員会（委員長：医薬品安全管理責任者）、医療機器安全管理小委員会（委員長：医療機器安全管理責任者）、医療放射線安全管理小委員会（委員長：医療放射線安全管理責任者）、臨床研究安全管理小委員会（委員長：臨床研究安全管理責任者）を統括している体制となっている。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（14名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・ 医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 原則として月1回、電子カルテのアプリケーション「医薬品使用状況」などを用い、医薬品の投薬及び注射の状況の把握を行っている。 (2) 医薬品医療機器情報配信サービス（PMDAメディナビ）等を利用して、医薬品・医療機器の安全性に関する特に重要な情報を入手している。医薬品製造販売業者、卸売販売業者からの情報収集は、医薬品情報管理室で一元的に行っている。要対応と判断した事例は、随時、医薬品安全管理責任者に報告している。 (3) 院内で発生した医薬品の副作用、インシデント等の情報は、病棟薬剤師が随時収集・評価を行っている。また、医薬品の新規採用後6ヶ月、1年を経過した時点で、採用依頼を提出した医師に副作用調査票の提出を委嘱し、医薬品情報管理室で集約している。 (4) 全職員を対象に、緊急安全性情報や医薬品・医療機器等安全性情報などの注意喚起情報、インシデント報告から安全使用上周知が必要と思われる医薬品情報などをアナウンスメールで発信している。これらをまとめた「適正な医薬品使用のための情報」を全リスクマネージャー宛に周知依頼し、各部署からの周知完了日等の報告をもって、実施状況を確認している。 (5) 薬剤使用時の注意点や薬剤に関する情報を適宜「DIニュース」等で院内に提供している。病棟薬剤師は資料を担当診療科・病棟にて周知し記録を残している。 (6) 病棟薬剤師は、医薬品の使用上の注意点等について、病棟毎のニーズに合わせて、看護師・医師を対象とした説明会を行い、実施の記録を残している。 <p>・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 調剤室等の薬剤師及び病棟薬剤師は処方情報から適応外・禁忌・未承認の医薬品使用を把握し、医師に必要性を確認している。医師がその医薬品を使用する場合は、患者への説明とカルテ記載を依頼し、リスクに応じて、医薬品安全管理小委員会あるいは高難度医療・未承認医薬品等管理室への申請が必要なことを伝えている。収集した情報は「適応外・禁忌・未承認薬データベース」に入力している。 (2) 「適応外・禁忌・未承認薬データベース」に入力された情報は、病棟業務リーダー（医薬品安全管理補助者）が並行して確認し妥当性を評価している。さらに一覧表形式にまとめて毎月、医薬品安全管理責任者に報告し、指示事項があれば、病棟薬剤師を通じて医師にフィードバックしている。 (3) 薬剤師が把握した未承認等の医薬品の使用に関する情報は「医薬品安全管理小委員会」に報告し情報共有している。 <p>・ 担当者の指名の有無（有）・無</p> <p>・ 担当者の所属・職種：別紙2「医薬品安全管理補助者指名書」の通り</p>	

(所属： , 職種) (所属： , 職種)	(所属： , 職種) (所属： , 職種)
(所属： , 職種) (所属： , 職種)	(所属： , 職種) (所属： , 職種)
(所属： , 職種) (所属： , 職種)	(所属： , 職種) (所属： , 職種)
(所属： , 職種) (所属： , 職種)	(所属： , 職種) (所属： , 職種)
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況 <input checked="" type="checkbox"/>有・無	
<ul style="list-style-type: none"> ・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (<input checked="" type="checkbox"/>有・無) ・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 年4回、診療科(部)毎に1か月5例を無作為に選択し、インフォームド・コンセントの過程がわかるように説明内容、説明時反応、同席者が記載されているか等、チェック項目に基づき確認を行っている。適切でない事例が認められた場合は、IC責任者より、上記の評価結果を医療問題対策・臨床倫理委員会へ報告するとともに、病棟医長・看護師長会議や病院協議会等を通じ、院内の各部署へ周知する。また、インフォームド・コンセントを受けた患者に対して、同席者の有無、理解、納得について年3回のアンケート調査を行い、インフォームド・コンセントの質向上に努めている。 	

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況 <input checked="" type="checkbox"/>有・無	
<ul style="list-style-type: none"> ・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 責任者の監督下において診療情報管理士による診療録監査を実施している。 京都大学医学部附属病院規程第3条に定める診療科のうち、主科として患者を受け入れる診療科を対象として年2回行う。ただし1回で対象とする診療科数は10以内とし、2会計年度をあけず、対象の診療科が全て監査を受けるよう計画する。 監査結果は病院長報告後に各診療科へフィードバックを行っている。 	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況 <input checked="" type="checkbox"/>有・無	
<ul style="list-style-type: none"> ・所属職員：専従(3)名、専任(1)名、兼任(3)名 <ul style="list-style-type: none"> うち医師：専従(1)名、専任()名、兼任(2)名 うち薬剤師：専従(1)名、専任()名、兼任()名 うち看護師：専従(1)名、専任(1)名、兼任(1)名 (注) 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること ・活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・インシデント・アクシデント報告に関すること。 ・医療安全管理対策の調査・分析及び指導に関すること。 ・医療安全管理対策の教育・研修に関すること。 ・定められた手順やルールが実践されているかどうかのモニタリング。 <ul style="list-style-type: none"> ①画像診断結果報告書の未確認件数(月別、診療科別) <ul style="list-style-type: none"> (ルール：放射線診断科医が読影診断結果を報告している。オーダー診療科の医師が報告内容を確認後、確認ボタンを押すと、報告書の内容がカルテに転記される。カルテへの転記がない場合、報告内容の確認がされていない可能性があるため、診断結果の見落としエラー対策 	

として作成したルールである。併せて、未読影率をフィードバックする。)

- ②注射薬を患者に投与する直前に、照合端末を用いて、薬剤ラベルと患者リストバンドを照合した率（月別、病棟別）
(ルール：注射薬投与時は患者誤認事故をゼロにするため、ひとによる確認+器械による確認を組み合わせる。)
- ③抗がん剤の調製確定後の変更件数（月別、診療科別）
(ルール：医師が抗がん剤を前日締め切り時刻までにオーダーし、前日締め切り後に薬剤師が監査する。当日10時までに医師は、患者に投与してよいか患者の状態やデータで判断し、調製確定を入力する。薬剤師は確定されたオーダーに基づいて薬剤を調製する。)
- ④バイタルデータターミナルを用いてバイタルデータを転送している率（月別、病棟別）
(ルール：血圧、体温、SpO2、脈拍などのデータは、患者ベッドサイドに設置した端末にかざすことで、当該患者の電子カルテにタイムリーに転送される。今までは、看護師が電子カルテに転記していたため、測定時刻から転記まで時間がかかっていた。また誤記も散見された。)
- ⑤患者誤認報告件数
(ルール：全ての医療・看護行為を実施する際は、患者自身にフルネームで名乗らせる。名乗れない場合は、リストバンドもしくは診察券で確認をする。)
- ⑥患者受け持ち忘れ報告件数
(ルール：受け持ち看護師は、勤務初めに受け持ち登録を実施する。各勤務帯リーダー看護師は、勤務開始後1時間以内に受け持ち患者登録漏れがないかを確認する。)
- ⑦肺血栓塞栓症予防対策
(ルール：マニュアルに沿った予防対策に取り組む。)

・ルールの逸脱（やむを得ない場合も含む）をインシデント報告対象として、逸脱件数を測定する。

- ①入院患者へのリストバンド未装着（月別、病棟別）
(全員にリストバンドを装着するルールがあるが、皮膚の脆弱性などでやむを得ない場合も含め、未装着は全例報告する。)
- ②高濃度カリウム製剤投与に関する院内規程からの逸脱事例
(医学的理由があっても、ルールから逸脱している場合には報告しておく。)

・リスクアセスメント（褥瘡リスク・転倒リスク）のアウトカムを評価するための事故件数のモニタリング

- ①院内褥瘡発生率
- ②転倒転落事故発生

・その他医療安全管理対策に関すること。

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（14件）、及び許可件数（14件）
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（・無）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（・無）
- ・活動の主な内容：
「京都大学医学部附属病院高難度新規医療技術取扱規程」に、高難度新規医療技術の定義、高難度新規医療技術の提供に係る申請事項（既存の技術との優位性、医療提供体制の整備状況、執刀医等の経験、患者への説明同意の取得方法等）、倫理委員会審査の受審、実施体制の確認及び報告、遵守状況の確認、病院長への報告など、高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合における必要な事項、遵守・確認すべき事項を定め活動している。

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (・ 無)
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無 (・ 無)

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数 (5件)、及び許可件数 (3件)
- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無 (・ 無)
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無 (・ 無)
- ・ 活動の主な内容 :
 「京都大学医学部附属病院未承認新規医薬品等取扱規程」に、未承認新規医薬品等を用いた医療の定義、未承認新規医薬品等を用いた医療の提供に係る申請事項 (既存の医薬品等との優位性、未承認新規医薬品等の使用条件、有害事象の把握方法、患者への説明同意の取得方法等)、倫理委員会審査の受審、実施体制の確認及び報告、遵守状況の確認、病院長への報告など、未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合における必要な事項、遵守・確認すべき事項を定め活動している。
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (・ 無)
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (・ 無)

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況 : 年 239 件
- ・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況 : 年 123 件
- ・ 上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
 医療サービスに起因し、影響度レベルが重症・重大なものについて、医療安全管理室は、毎月開催の医療安全管理委員会にて報告する。委員会では、これらのうち、調査が必要と判断したものについては、外部委員を含めるか含めないかなども含め、調査方法を決定する。また、影響度レベルが 3a 以下または未遂であっても、インシデントが潜在的に危険を有しているものがあれば、調査を命じることがある。医療安全管理委員会の審議結果は病院長に報告される。調査結果についても医療安全管理委員会及び病院長に報告される。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（（病院名：新潟大学））・無
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（（病院名：鹿児島大学））・無
- ・技術的助言の実施状況
特になし

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況
本院には患者やその家族からの相談、苦情に対して適切な処理を行うことを目的とする患者相談窓口がある。
各診療科（部）は、患者等からの相談内容について、患者相談窓口から対応を要請された場合は、責任をもって協力するものとする。
各診療科（部）に患者支援担当者を置き、患者等からの相談内容について患者相談窓口と連携し、責任をもって対応するものとする。
各診療科（部）のリスクマネージャーが、患者支援担当者として兼務する。
相談内容が医療安全に関する事項については、インシデント報告を行い、医療安全管理部門が把握する。

⑫ 職員研修の実施状況

- ・研修の実施状況

いつでも受講可能な e-learning 整備し、受講状況をモニタリングしている。

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

- ・研修の実施状況

管理者 : 特定機能病院管理者研修（令和4年12月7日）
医療安全管理責任者 : 特定機能病院管理者研修（令和4年11月21日）
医薬品安全管理責任者 : 特定機能病院管理者研修（令和4年12月7日）
医療機器安全管理責任者 : 特定機能病院管理者研修（令和4年11月21日）

（注）前年度の実績を記載すること

⑭ 医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

- ・第三者による評価の受審状況

2020年度（2021年1月12日～1月15日にISO9001審査）に審査を受けたため、2022年度は審査は受けていない。

- ・ 評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況
- ・ 評価を踏まえ講じた措置

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基準の主な内容 <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療法第10条に規定された病院の管理者として要件を満たす医師であること。 2. 大学附属病院の管理運営に必要な資質・能力を有すること。 3. 医療安全確保のために必要な資質・能力を有すること。 4. 京都大学医学部附属病院の基本理念を理解し、その実現に向けた強い意思とリーダーシップを有すること。 ・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無) ・ 公表の方法 大学ホームページに掲載 https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/publication/conference/ihoukoku/hospital/rinen

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無) ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無) ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無) ・ 公表の方法 大学ホームページに掲載 https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/publication/conference/ihoukoku/hospital/ninmei 	

管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の 関係
岩井 一宏	理事(企画・調整、附属病院)	○	病院担当の理事	有
伊佐 正	医学部		医学部長	有
宮本 享	医学部附属病院		医学部附属病院長	有
伊達 洋至	医学部附属病院		医学部附属病院副病院長 (診療、労務担当 ※選定当時)	有
平井 豊博	医学部附属病院		医学部附属病院副病院長 (医療安全担当 ※選定当時)	有
井川 順子	医学部附属病院看護部		医学部附属病院看護部長	有

久保 公四郎	医学部附属病院事務局		医学部附属病院事務部長	有
邊見 公雄	公益社団法人 全国自治体病院協議会 (名誉会長)		医学・医療に関し識見を有する 学外者	無
松井 道宣	京都府医師会 (会長)		医学・医療に関し識見を有する 学外者	無
古川 博規	京都府 (副知事)		医学・医療に関し識見を有する 学外者	無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無		有・無	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 合議体の主要な審議内容 病院運営に関する重要事項を協議するため、協議会を置く。 協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、協議会が定める。 ・ 審議の概要の従業者への周知状況 院内ホームページに議事要旨を掲載 ・ 合議体に係る内部規程の公表の有無（ 有・無 ） <ul style="list-style-type: none"> ・ 公表の方法 ・ 外部有識者からの意見聴取の有無（ 有・無 ） 			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
別紙3のとおり			

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有・）
- ・ 公表の方法

- ・ 規程の主な内容：別紙4のとおり

- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割

副院長（診療、労務、病床管理担当）、副院長（経営、施設担当）、副院長（研究経営戦略担当）、副院長（医療安全、安全衛生、広報担当）、副院長（教育、人事、男女共同参画推進担当）、院長補佐（院長が指示した特定の事項について企画立案及び連絡調整を行う。）、運営企画室（院長の指示により病院運営及び経営に関し、情報の収集及び分析を行うとともに必要事項について企画立案し、院長に提言する。）

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
 - ・ 国立大学病院長会議が主催する「病院長塾」に副院長及び院長補佐が参加。
 - ・ 病院協議会構成員を院長補佐へ積極的に選任し、週1回開催される執行部会議に出席させることで病院マネジメントを経験させている。
 - ・ 本院が開講する「実践的医療経営プロフェッショナル教育事業プログラム（KUMAHOPE）」を職員に受講させている。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年2回</p> <p>・ 活動の主な内容： 本院における医療安全管理に係る業務執行状況の監査、及び監査結果に基づき、必要に応じて総長や病院長に対し是正措置を講じるよう意見する。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>有・無）</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>有・無）</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>有・無）</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>有・無）</p> <p>・ 公表の方法： 京都大学ホームページに掲載</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
笠井 正俊	京都大学法学 研究科		総長が指名する 副学長	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	3
平野 哲郎	立命館大学 法科大学院		法律に関する専 門的知識を有す る者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
中村 猛	京都府立医科 大学医療安全 推進部		医療に係る安全 管理に関する専 門的知識を有す る者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
伊藤 英樹	広島大学病院 医療安全管理 部		医療に係る安全 管理に関する専 門的知識を有す る者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
山口 育子	認定 NPO 法人 ささえあい医 療人権センタ ーCOML	○	医療を受ける者 その他の医療従 事者以外の者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

- ・体制の整備状況及び活動内容
総長の命により実施する内部監査として、本学の監査担当部署が病院管理者の業務が法令に適合していることを確保するための監査を行っている。
- ・ 専門部署の設置の有無 (・ 無)
- ・ 内部規程の整備の有無 (・ 無)
- ・ 内部規程の公表の有無 (・ 無)
- ・ 公表の方法: ホームページに掲載

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 以下に掲げる委員7名以上で組織されており、うち過半数は②の委員で構成されている。 ①総長が指名する理事又は副学長 ②本学の役員又は職員以外の者のうちから総長が任命するもの ③その他本学の教職員のうちから総長が必要と認める者 若干名 議長は①の委員のうち、総長が指名するものを充てており、委員の半数以上の出席で会議を開会する。 ・ 会議体の実施状況（ 年1回 ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ）（ 年1回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ） ・ 公表の方法 京都大学ホームページに掲載 https://www.kyoto-u.ac.jp/uni_int/kitei/reiki_honbun/w002RG00001420.html 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：医学部附属病院業務監督会議			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
笠井 正俊	京都大学副学長	○	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
江上 雅彦	京都大学理事（財務、施設、環境担当）		<input checked="" type="checkbox"/> ・無
黒田 啓史	京都市立病院機構 京都市立病院 院長		有・ <input checked="" type="checkbox"/>
小西 靖彦	静岡県立総合病院 院長		有・ <input checked="" type="checkbox"/>
邊見 公雄	全国自治体病院協議会 名誉会長		有・ <input checked="" type="checkbox"/>
松井 道宜	京都府医師会 会長		有・ <input checked="" type="checkbox"/>
山口 育子	認定 NPO 法人 ささえあい医療人権センターCOML 理事長		有・ <input checked="" type="checkbox"/>

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)・ 通報件数 (年0件)・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)・ 周知の方法 院内ホームページに掲載

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・情報発信の方法、内容等の概要 病院ホームページ(https://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp)および広報誌「京大病院広報」「京大病院のご案内」(https://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp/relation/publish.html)、YouTubeの京大病院公式チャンネル (https://www.youtube.com/c/KUHPofficial) において、各診療科の紹介や院内活動の報告、疾患の情報提供等を行っている。	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 1) 「集学的がん診療ユニット」と呼ばれる診療科横断的な診療体制を構築している。がん種ごとに専門とする内科医・外科医・放射線治療医、あるいは病理診断医・放射線診断医・各種医療スタッフが、診療科・職種を越えてカンファレンス・診療を行い、迅速かつ最適な治療を提供している。また、がん種ごとに毎週定期カンファレンスを実施することにより、患者の情報および専門性の高い知識を共有することで医療の質を高め、専門医・スタッフの教育の場としても大きな効果を上げている。さらに、分子標的薬やがん免疫チェックポイント阻害薬の普及により、全身管理を必要とする有害事象対策が求められており、非がん領域の様々な診療科との連携体制を構築し、治療を受ける患者の安全対策に万全を期している。 2) 2019年6月より遺伝子パネル検査が保険適応となり、がんゲノム医療中核拠点病院としてがんゲノム医療を先進的に提供する体制を構築している。全国の18のがんゲノム医療連携病院と連携し遺伝子パネル検査施行症例に関して、京大をホストに各施設とWeb会議でエキスパートパネルを開催している。エキスパートパネルでは、各施設から腫瘍内科医、病理医、腫瘍外科医、婦人科医、脳外科医、小児科医、臨床遺伝専門医、遺伝カウンセラーなどの複数の職種が参加して、非常に活発な議論を行い治療方針を提示し、高度な医療を提供している。	

未承認等の医薬品の具体的な使用事例

適応外・禁忌・未承認のデータベース集計

2022/4/1～2023/3/31

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2022/04/04	適応外	抗がん剤	ラステットSカプセル25mg、 テモゾロミド錠100mg/20mg	小児科	再発神経芽腫
2022/04/05	適応外	抗がん剤	スチバーガ	小児科	肝細胞癌
2022/04/07	適応外	抗がん剤	エンハーツ	腫瘍内科	ERBB2(HER2)陽性の 再発卵巣癌
2022/04/08	適応外	抗がん剤	オンコビン注射用1mg (EMA-CO)	産婦人科	絨毛癌
2022/04/06	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	バイアスピリン錠100mg	産婦人科	抗リン脂質抗体症候群の 妊婦での妊娠予後の改善
2022/04/14	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	スロンノンHI	脳神経内科	アルガトロバン持続投与
2022/04/01	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2022/04/01	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用 カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2022/04/11	適応外	その他	クリアクター静注用 40万国際単位	眼科	黄斑下出血
2022/04/11	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2022/04/11	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2022/04/11	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用 カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2022/04/11	適応外	その他	グラニセトロンシリンジ	麻酔科	術後の悪心・嘔気
2022/04/15	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用 カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2022/04/11	適応外	その他	インテバン坐剤25	産婦人科	子宮収縮抑制
2022/04/14	禁忌	その他	乾燥弱毒 生おたふくかぜワクチン	小児外科	感染予防
2022/04/14	禁忌	その他	乾燥弱毒 生風しんワクチン	小児外科	感染予防

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2022/04/18	適応外	抗がん剤	イムラン錠50mg	消化器内科	クローン病
2022/04/25	適応外	抗がん剤	シスプラチン	乳腺外科	乳癌
2022/04/27	適応外	抗がん剤	ニボルマブ	腫瘍内科	胆のうNEC
2022/05/02	適応外	抗がん剤	メソトレキセート注	眼科	眼内悪性リンパ腫
2022/05/06	適応外	抗がん剤	ベルケイド注射用3mg	肝・胆・膵外科	肝移植後の 抗体関連拒絶の抑制
2022/05/11	適応外	抗がん剤	カルセド	呼吸器内科	胸腺癌
2022/05/12	適応外	抗がん剤	ダラザレックス	肝・胆・膵外科	肝移植後の 抗体関連拒絶の抑制
2022/04/20	適応外	その他	クリアクター静注用 40万国際単位	眼科	黄斑出血に対するt-PA製 剤の使用
2022/05/02	適応外	その他	ガバペン錠200mg	循環器内科	咳嗽
2022/05/02	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2022/05/06	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2022/5/10	適応外	その他	シロスタゾール錠100mg	循環器内科	洞不全症候群
2022/5/10	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2022/5/11	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2022/5/13	適応外	その他	クリアクター静注用 40万国際単位	眼科	黄斑下出血に対する t-PA製剤の使用
2022/5/11	適応外	麻薬	オキシコンチンTR錠5mg、 オキノーム散5mg	呼吸器内科	呼吸困難
2022/5/9	禁忌	その他	乾燥弱毒生水痘ワクチン	小児外科	感染予防のため
2022/5/9	禁忌	その他	乾燥弱毒生水痘ワクチン	肝胆膵・移植 外科	感染予防のため

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2022/05/25	適応外	抗がん剤	イリノテカン塩酸塩注	腫瘍内科	神経内分泌腫瘍NEC
2022/06/03	適応外	抗がん剤	アブラキサン/ カルボプラチン	呼吸器内科	胸腺癌
2022/06/06	適応外	抗がん剤	1%5FU点眼液	眼科	結膜悪性黒色腫
2022/06/14	適応外	抗がん剤	シスプラチン	乳腺外科	乳がん
2022/05/23	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	セルセプトカプセル	消化器内科	irAE 胆管炎
2022/05/25	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	レミケード注	小児科	ADA2欠損症
2022/06/01	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	トラクリア 小児用分散錠32mg	脳神経外科	ACTA2 遺伝子変異（多系統平滑筋機能不全症候群）に伴う脳血管狭窄症
2022/06/01	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	デュピクセント	小児科	ネザートン症候群
2022/06/03	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	リウマトレックス カプセル2mg	免疫 膠原病内科	ステロイド・MTXへの治療抵抗性難治性筋炎
2022/06/10	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	リツキシマブ注	免疫 膠原病内科	ステロイド・MTXへの治療抵抗性難治性筋炎
2022/06/13	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	デキサート	産婦人科	HELLP症候群
2022/05/17	適応外	その他	インテバン坐剤25	産婦人科	子宮収縮抑制
2022/05/18	適応外	その他	リアルダ錠1200mg	小児科	潰瘍性大腸炎
2022/05/24	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用 カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2022/05/24	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用 カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2022/05/24	適応外	その他	ミダゾラム注	呼吸器内科	終末期鎮静
2022/05/26	適応外	その他	コルヒチン錠0.5mg	皮膚科	水疱性類天疱瘡
2022/05/27	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用 カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2022/05/30	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用 カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2022/05/31	適応外	その他	オクトレオチド皮下注	消化器内科	DBE穿通後の 消化器症状
2022/06/06	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2022/06/10	適応外	その他	ランプレンカプセル50mg	免疫 膠原病内科	非結核性抗酸菌感染症
2022/06/13	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2022/06/13	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用 カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2022/06/13	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用 カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2022/06/07	禁忌	その他	乾燥弱毒 生麻しんワクチン	小児外科	感染予防
2022/06/07	禁忌	その他	乾燥弱毒 生おたふくかぜワクチン	小児外科	感染予防

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2022/06/20	適応外	抗がん剤	カルボプラチン/ アムルビシン	呼吸器内科	胸腺癌
2022/06/28	適応外	抗がん剤	シスプラチン	乳腺外科	乳がん
2022/07/07	適応外	抗がん剤	カルボプラチン/ パクリタキセル	泌尿器科	去勢抵抗性前立腺癌
2022/06/16	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	インフリキシマブ BS点滴用100mg	リウマチ センター	再発性多発軟骨炎
2022/06/21	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	エフィエント錠3.75mg	脳神経外科	内頸動脈瘤に対する 血管内手術予定患者
2022/06/22	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2022/06/22	適応外	その他	アドシルカ錠20mg	免疫 膠原病内科	全身性強皮症に伴う 皮膚潰瘍治療
2022/06/23	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2022/07/01	適応外	その他	クリアクター静注用 40万国際単位	眼科	黄斑出血に対する t-PA製剤の使用
2022/07/04	適応外	その他	オクトレオチド 酢酸塩皮下注100 μ g	耳鼻咽喉科	乳び胸
2022/07/08	適応外	その他	クリアクター静注用 40万国際単位	眼科	黄斑出血に対する t-PA製剤の使用
2022/07/08	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2022/07/11	適応外	その他	ゼンタコートカプセル3mg	血液内科	上部消化管GVHD
2022/07/11	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2022/07/11	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用 カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2022/07/12	適応外	その他	クリアクター静注用 40万国際単位	眼科	黄斑出血に対する t-PA製剤の使用
2022/07/13	適応外	その他	コレバイン錠500mg	糖内栄	バセドウ病 腸管からの 甲状腺ホルモン吸収 阻害目的
2022/07/14	禁忌	その他	乾燥弱毒 生おたふくかぜワクチン	小児外科	感染予防のため
2022/07/14	禁忌	その他	乾燥弱毒 生おたふくかぜワクチン	小児外科	感染予防のため
2022/07/14	禁忌	その他	乾燥弱毒生風しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2022/07/14	禁忌	その他	乾燥弱毒生水痘ワクチン	小児外科	感染予防のため
2022/07/14	禁忌	その他	乾燥弱毒生風しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2022/07/14	禁忌	その他	乾燥弱毒 生おたふくかぜワクチン	小児外科	感染予防のため

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2022/07/26	適応外	抗がん剤	テモゾロミド、エトポシド	整形外科	再発骨肉腫
2022/08/12	適応外	抗がん剤	リウマトレックス カプセル2mg	免疫 膠原病内科	高安動脈炎治療
2022/07/19	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	アクテムラ 点滴静注用80mg	免疫 膠原病内科	巨細胞性動脈炎
2022/07/11	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2022/07/18	適応外	その他	シムレクト静注用20mg	呼吸器外科	肺移植後の拒絶抑制
2022/07/19	適応外	その他	クリアクター静注用 40万国際単位	眼科	黄斑出血に対する t-PA製剤の使用
2022/07/19	適応外	その他	クリアクター静注用 40万国際単位	眼科	黄斑出血に対する t-PA製剤の使用
2022/07/20	適応外	その他	シムレクト静注用20mg	呼吸器外科	肺移植後の拒絶抑制
2022/07/21	適応外	その他	ラニブ`ス`マブ` BS 硝子体内注射用キット	眼科	びまん性ぶどう膜 メラノサイト増殖症の 進行抑制
2022/07/21	適応外	その他	ビスダイン静注用15mg	眼科	びまん性ぶどう膜 メラノサイト増殖症の 進行抑制
2022/07/21	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用 カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2022/07/25	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2022/07/27	適応外	その他	ブロムヘキシン 塩酸塩錠4mg	小児科	蛋白栓の分解
2022/08/01	適応外	その他	トービイ吸入液300mg	呼吸器外科	点滴抗菌薬を使用しても 改善しない、緑膿菌による 難治性の呼吸器感染症 治療
2022/08/01	適応外	その他	デトキソール注	皮膚科 腎臓内科	カルシフィラキシス
2022/08/02	適応外	その他	ノイキノン錠10mg	呼吸器内科	ミトコンドリア病
2022/08/04	適応外	その他	コルヒチン錠0.5mg	循環器内科	心膜炎
2022/08/09	適応外	その他	クリアクター静注用 40万国際単位	眼科	黄斑出血に対する t-PA製剤の使用
2022/08/01	禁忌	その他	乾燥弱毒生風しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2022/08/01	禁忌	その他	乾燥弱毒生水痘ワクチン	小児外科	感染予防のため
2022/08/01	禁忌	その他	乾燥弱毒 生おたふくかぜワクチン	小児外科	感染予防のため

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2022/09/07	適応外	抗がん剤	オプジーボ	腫瘍内科	前立腺癌
2022/08/17	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	リンデロン注	産婦人科	妊娠34～36週の切迫早産 症例に対する新生児 呼吸窮迫症候群予防
2022/08/29	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	リンデロン注	産婦人科	妊娠34～37週の切迫早産 症例に対する新生児 呼吸窮迫症候群予防
2022/08/29	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	リンデロン注	産婦人科	妊娠34～38週の切迫早産 症例に対する新生児 呼吸窮迫症候群予防
2022/08/29	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	エフィエント錠3.75mg	脳神経外科	未破裂動脈瘤に対する 血管内手術予定
2022/08/29	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	エフィエント錠3.75mg	脳神経外科	未破裂動脈瘤に対する 血管内手術予定
2022/08/31	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	リウマトレックス カプセル2mg	免疫 膠原病内科	成人Still病
2022/09/09	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	バイアスピリン錠100mg	産婦人科	妊娠高血圧腎症の 発症抑制
2022/08/17	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用 カプセル	産婦人科	切迫流産・絨毛膜下血腫
2022/08/17	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2022/08/23	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮頸管短縮
2022/08/25	適応外	その他	コルヒチン錠0.5mg	循環器内科	心膜炎治療
2022/08/29	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2022/08/29	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2022/08/29	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2022/08/29	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2022/08/29	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2022/08/29	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用 カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2022/08/29	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用 カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2022/08/29	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用 カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2022/08/30	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2022/08/30	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用 カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2022/08/31	適応外	その他	ピシバニール	皮膚科	皮膚腫瘍術後の創部閉鎖
2022/08/31	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮頸管短縮予防

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2022/08/31	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用 カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2022/08/31	適応外	その他	オクトレオチド 酢酸塩皮下注100 μ g	耳鼻科	リンパ漏
2022/09/01	適応外	その他	アンチレクス静注	循環器内科	アブレーション時の 心室性期外収縮の誘発
2022/09/02	適応外	その他	クリアクター静注用 40万国際単位	眼科	黄斑出血に対する t-PA製剤の使用
2022/09/02	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2022/09/05	適応外	その他	オクトレオチド 酢酸塩皮下注100 μ g	泌尿器科	乳び漏
2022/09/07	禁忌	麻薬	フェンタニル	消化器内科	鎮痛目的
2022/09/14	禁忌	その他	乾燥弱毒 生おたふくかぜワクチン	小児外科	感染予防のため
2022/09/14	禁忌	その他	乾燥弱毒生麻しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2022/09/14	禁忌	その他	乾燥弱毒 生おたふくかぜワクチン	小児外科	感染予防のため

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2022/09/28	適応外	抗癌剤	カルボプラチン、イリノテカン、テモゾロミド	小児科	神経芽腫
2022/09/26	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	リンデロン注	産婦人科	妊娠34～35週の切迫早産症例に対する新生児呼吸窮迫症候群予防
2022/10/06	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	リンデロン注	産婦人科	妊娠34～36週の切迫早産症例に対する新生児呼吸窮迫症候群予防
2022/10/14	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	セルセプトカプセル250	消化器内科	irAE胆管炎治療
2022/10/14	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	セルセプトカプセル250	腫瘍内科	irAE肝障害治療
2022/09/16	適応外	その他	クリアクター静注用40万	眼科	黄斑出血に対するt-PA製剤の使用
2022/9/16	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2022/09/16	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2022/09/16	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2022/09/21	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2022/09/21	適応外	その他	献血ヴェノグロブリンIH 10%静注	小児科	IgA血管炎 大量グロブリン療法
2022/09/22	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2022/09/22	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2022/09/26	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2022/10/03	適応外	その他	アルプロスタジル アルファデクス	麻酔科	肝肺症候群の呼吸不全におけるNO吸入の代替
2022/10/6	適応外	その他	バファリン配合錠A81 81mg	産婦人科	抗リン脂質抗体症候群
2022/10/6	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2022/10/6	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2022/10/11	適応外	その他	レクチゾール錠25mg	小児科	IgA血管炎
2022/10/12	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2022/10/12	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2022/10/4	禁忌	その他	マーカイン注脊麻用 0.5%等比重	眼科	白内障手術時の麻酔
2022/10/5	禁忌	その他	乾燥弱毒生麻しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2022/10/5	禁忌	その他	乾燥弱毒生麻しんワクチン	小児外科	感染予防のため

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2022/10/5	禁忌	その他	乾燥弱毒生麻しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2022/10/7	禁忌	その他	インテバン坐剤25	産婦人科	子宮収縮抑制

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2022/11/02	適応外	抗がん剤	メソトレキセート注	眼科	眼内悪性リンパ腫
2022/10/18	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	レミケード	免疫 膠原病内科	血球貪食症候群
2022/10/24	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	リツキサン注	泌尿器科	生体腎移植後の 拒絶反応
2022/11/04	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	リンデロン注	産婦人科	胎児肺成熟目的
2022/10/21	適応外	その他	クリアクター静注用40万	眼科	黄斑出血に対する t-PA製剤の使用
2022/10/24	適応外	その他	ニコチン酸アミド	皮膚科	水疱性類天疱瘡治療
2022/10/26	適応外	その他	ナロキソン	心外	脊髄虚血による対麻痺
2022/10/28	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2022/10/28	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用 カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2022/10/31	適応外	その他	ランプレンカプセル50mg	呼吸器内科	肺NTM
2022/10/31	適応外	その他	グレースビット錠50mg	呼吸器内科	肺NTM
2022/11/09	適応外	その他	デスモプレシン注4協和	糖尿病 内分泌内科	DDAVP試験
2022/11/10	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2022/11/10	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用 カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2022/11/10	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2022/11/11	適応外	その他	コルヒチン錠0.5mg	小児科	IgA血管炎
2022/11/15	適応外	その他	クリアクター静注用40万	眼科	黄斑出血に対する t-PA製剤の使用
2022/11/15	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用 カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2022/11/11	禁忌	要注意薬 (抗がん薬以外)	プロポフォール1%静注	脳神経外科	もやもや病の小児に 対する他剤無効時
2022/10/17	禁忌	その他	マーカイン注 脊麻用0.5%等比重	眼科	硝子体手術・白内障 手術時の麻酔
2022/10/17	禁忌	その他	サリグレンカプセル30mg	免疫 膠原病内科	シェーグレン症候群
2022/10/25	禁忌	その他	マーカイン注 脊麻用0.5%等比重	眼科	白内障手術時の麻酔
2022/10/25	禁忌	その他	マーカイン注 脊麻用0.5%等比重	眼科	白内障手術時の麻酔
2022/10/28	禁忌	その他	インテバン坐剤25	産婦人科	子宮収縮抑制
2022/11/09	禁忌	その他	乾燥弱毒生風しんワクチン	小児外科	感染予防

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2022/11/09	禁忌	その他	リファンピシン (オプスミットとの併用)	呼吸器内科	肺MACに リファンピシン開始

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2022/11/24	適応外	抗がん剤	カルボプラチン アブラキサン	呼吸器内科	胸腺癌
2022/12/07	適応外	抗がん剤	エスワンタイホウ	呼吸器内科	胸腺癌
2022/12/07	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	セルセプトカプセル250	皮膚科	irAE肝障害に対して
2022/12/07	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	ゼルヤンツ錠5mg	免疫 膠原病内科	抗MDA5抗体陽性 皮膚筋炎
2022/11/17	適応外	麻薬	ケタラル静注用200mg	小児科	鎮痛
2022/11/18	適応外	その他	クリアクター静注用40万	眼科	黄斑出血に対する t-PA製剤の使用
2022/11/21	適応外	その他	シムレクト静注用20mg	呼吸器外科	肺移植後の拒絶予防
2022/11/22	適応外	その他	タガメット錠200mg	免疫 膠原病内科	周期性発熱症候群
2022/11/25	適応外	その他	クリアクター静注用40万	眼科	黄斑出血に対する t-PA製剤の使用
2022/11/28	適応外	その他	ピシバニール	皮膚科	創閉鎖目的
2022/11/28	適応外	その他	コルヒチン錠	免疫 膠原病内科	腸管ベーチェット病
2022/11/28	適応外	その他	ゼンタコートカプセル3mg	小児科	IgA血管炎 腹部症状
2022/12/02	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2022/12/07	適応外	その他	バリキサドライシロップ	小児科	先天性サイトメガロ ウイルス感染症
2022/12/14	適応外	その他	コルヒチン錠	消化器内科	小腸型クローン病
2022/12/06	禁忌	その他	乾燥弱毒生水痘ワクチン	小児外科	感染予防のため
2022/12/06	禁忌	その他	乾燥弱毒生麻しんワクチン	小児外科	感染予防のため

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2022/12/16	適応外	抗がん剤	ゲムシタビン/ドセタキセル	小児科	滑膜肉腫
2022/12/22	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	フェノバル錠30mg	消化器内科	閉塞性黄疸
2022/12/26	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	デキサート	産婦人科	HELLP症候群
2022/12/21	適応外	麻薬	MSコンチン、オプソ	呼吸器内科	鎮咳
2022/12/22	適応外	その他	コルヒチン錠	循環器内科	心膜炎
2022/12/28	適応外	その他	リネゾリド錠600mg	呼吸器内科	非結核性抗酸菌症
2022/12/28	適応外	その他	シベクトロ錠200mg	呼吸器外科	M.abcecssus治療
2023/01/01	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2023/01/01	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2023/01/04	適応外	その他	ガンシクロビル点滴静注用	小児科 (NICU)	CMV腸炎
2023/01/04	適応外	その他	シムレクト静注用20mg	呼吸器外科	肺移植後拒絶予防
2023/01/07	適応外	その他	クリアクター静注用40万	眼科	黄斑出血に対する t-PA製剤の使用
2023/01/11	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2023/01/11	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2023/01/12	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2023/01/10	禁忌	その他	乾燥弱毒生風しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2023/01/10	禁忌	その他	乾燥弱毒 生おたふくかぜワクチン	小児外科	感染予防のため
2023/01/10	禁忌	その他	乾燥弱毒生水痘ワクチン	小児外科	感染予防のため
2023/01/10	禁忌	その他	乾燥弱毒 生おたふくかぜワクチン	小児外科	感染予防のため
2023/01/10	禁忌	その他	乾燥弱毒生風しんワクチン	小児外科	感染予防のため

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2023/01/16	適応外	抗がん剤	メソトレキセート注	眼科	眼内悪性リンパ腫
2023/01/16	適応外	抗がん剤	メソトレキセート注	眼科	眼内悪性リンパ腫
2023/01/20	適応外	抗がん剤	フルオロウラシル、 シスプラチン	皮膚科	転移性有棘細胞癌
2023/02/01	適応外	抗がん剤	キイトルーダ	呼吸器内科	胸腺癌
2023/02/03	適応外	抗がん剤	シスプラチン	乳腺外科	乳がん
2023/02/03	適応外	抗がん剤	ジオトリフ	腫瘍内科	HER2活性化変異を 有する胃癌
2023/02/14	適応外	抗がん剤	ビーリンサイト、スプリセル	小児科	フィラデルフィア染色体 陽性急性リンパ性白血病 (Ph+ALL)
2023/02/15	適応外	抗がん剤	キイトルーダ	血液内科	進行性多巣性 白質脳症の治療
2023/01/26	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	バイアスピリン錠100mg	整形外科	静脈血栓塞栓症の 発症抑制
2023/01/16	適応外	その他	バリキサドライシロップ	NICU	サイトメガロウイルス感 染症
2023/01/23	適応外	その他	クリアクター静注用40万	眼科	黄斑出血に対する t-PA製剤の使用
2023/01/30	適応外	その他	コルヒチン錠	循環器内科	収縮性心膜炎治療
2023/01/31	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2023/01/31	適応外	その他	ウトロゲスタン腔坐剤	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2023/02/06	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2023/2/6	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2023/2/6	適応外	その他	ウトロゲスタン腔坐剤	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2023/2/7	適応外	その他	クリアクター静注用40万	眼科	黄斑出血に対する t-PA製剤の使用
2023/2/7	適応外	その他	ランプレンカプセル50mg	呼吸器外科	他剤に耐性の Mycobacterium abcessus症
2023/2/9	適応外	その他	リメタゾン静注2.5mg 1mL	小児科	血球貪食症候群
2023/2/10	適応外	その他	オクトレオチド 酢酸塩皮下注100 μ g	呼吸器外科	乳び胸水の治療
2023/2/10	適応外	その他	ラパリムス	産婦人科	子宮腫瘍 (malignant perivascular epitheroid cell tumors(PEComa))
2023/2/13	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2023/2/13	適応外	その他	ウトロゲスタン腔坐剤	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2023/2/13	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2023/2/3	禁忌	その他	インテバン坐剤25	産婦人科	子宮収縮抑制

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2023/2/1	禁忌	その他	乾燥弱毒 生おたふくかぜワクチン	小児外科	感染予防のため
2023/2/6	禁忌	その他	乾燥弱毒生水痘ワクチン	小児外科	感染予防のため
2023/2/6	禁忌	その他	乾燥弱毒生水痘ワクチン	小児外科	感染予防のため
2023/2/6	禁忌	その他	乾燥弱毒生水痘ワクチン	小児外科	感染予防のため

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2023/03/02	適応外	抗がん剤	ベネクレクスタ錠	血液内科	B細胞性 急性リンパ性白血病
2023/03/14	適応外	抗がん剤	カルセド	呼吸器内科	胸腺癌
2023/03/08	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	ステラール	免疫膠原病科	高安動脈炎
2023/03/03	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	バイアスピリン錠100mg	産婦人科	抗リン脂質抗体症候群の 妊婦に対する妊娠予後改 善
2023/03/03	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	セルセプトカプセル250	小児科	難治性IgA血管炎
2023/03/08	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	クロピドグレル錠75mg	脳神経内科	脳梗塞に対する初回 300mg
2023/02/20	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2023/2/20	適応外	その他	ウトロゲスタン腔坐剤	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2023/02/20	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2023/02/21	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2023/02/21	適応外	その他	ウトロゲスタン腔坐剤	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2023/02/24	適応外	その他	コルヒチン錠	循環器内科	心膜炎
2023/02/24	適応外	その他	クリアクター静注用40万	眼科	黄斑出血に対する t-PA製剤の使用
2023/02/24	適応外	その他	アリケイス吸入液590mg	呼吸器外科	アミカシン感受性の肺 Mycobacterium abscessus症の外来治療 継続
2023/02/24	適応外	その他	ランプレンカプセル50mg	免疫 膠原病内科	肺NTM
2023/3/3	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2023/3/3	適応外	その他	ウトロゲスタン腔坐剤	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2023/3/3	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2023/3/3	適応外	その他	シプロフロキサシン注	小児科	P.aeruginosa治療
2023/3/6	適応外	その他	クリアクター静注用40万	眼科	黄斑出血に対する t-PA製剤の使用
2023/3/9	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2023/3/9	適応外	その他	ウトロゲスタン腔坐剤	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2023/3/10	適応外	その他	メトリジン錠	NICU	難治性腹水コントロール
2023/3/15	適応外	その他	バイアスピリン錠100mg	整形外科	DVT予防
2023/3/8	禁忌	その他	乾燥弱毒 生おたふくかぜワクチン	小児外科	感染予防のため
2023/3/8	禁忌	その他	乾燥弱毒生風しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2023/3/8	禁忌	その他	乾燥弱毒生水痘ワクチン	小児外科	感染予防のため

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2023/3/8	禁忌	その他	乾燥弱毒 生麻しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2023/3/8	禁忌	その他	乾燥弱毒生風しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2023/3/8	禁忌	その他	乾燥弱毒生麻しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2023/3/8	禁忌	その他	乾燥弱毒 生おたふくかぜワクチン	小児外科	感染予防のため

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2023/03/17	適応外	抗がん剤	カルボプラチン/ アブラキサン	呼吸器内科	胸腺癌
2023/03/29	適応外	抗がん剤	ベネクレクスタ錠100mg	血液内科	ALL
2023/03/16	適応外	その他	クリアクター静注用40万	眼科	黄斑出血に対する t-PA製剤の使用
2023/03/17	適応外	その他	シムレクト静注用20mg	呼吸器外科	肺移植後の拒絶予防
2023/03/17	適応外	その他	ガバペン錠	泌尿器科	咳嗽
2023/03/23	適応外	その他	リネゾリド錠600mg	呼吸器内科	肺NTM
2023/03/24	適応外	その他	ウトロゲスタン腔坐剤	産婦人科	子宮頸管短縮予防目的
2023/03/24	適応外	その他	オクトレオチド注100 μ g	産婦人科	乳糜腹水
2023/03/31	適応外	その他	クリアクター静注用40万	眼科	黄斑出血に対する t-PA製剤の使用
2023/03/31	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制

令和5年6月1日

京都大学医学部附属病院
医薬品安全管理責任者 寺田智祐

医薬品安全管理補助者指名書

医療法施行規則第九条の二十の二* 第一項第三号イ及びロに掲げる措置を適切に実施するため、担当者として下記の者を指名します。

*平成三十年改正省令

記

所属	職名	氏名	指名日
薬剤部	副薬剤部長	中川 俊作	平成29年10月2日
	副薬剤部長	津田 真弘	令和5年4月1日
	副薬剤部長	深津 祥央	平成28年9月28日
	副薬剤部長	池見 泰明	平成28年9月28日
	副薬剤部長	北田 徳昭	平成31年4月18日
	薬剤師	石塚 良子	平成28年9月28日
	講師	平 大樹	令和3年6月1日
	薬剤主任	岡村みや子	平成30年9月3日
	薬剤主任	尾崎 淳子	平成28年9月28日
	薬剤主任	清水 宏賢	令和3年9月1日
	薬剤主任	杉本 充弘	平成28年9月28日
	薬剤主任	山際 岳朗	平成28年9月28日
	薬剤主任	吉田 優子	平成28年9月28日
	薬剤師	上杉 美和	平成28年9月28日

	薬剤師	片田 佳希	令和 4 年 4 月 1 日
	薬剤師	川上 恵	令和 5 年 6 月 1 日
	薬剤師	川田 将義	平成 28 年 12 月 12 日
	薬剤師	佐藤 裕紀	平成 30 年 9 月 3 日
	薬剤師	高橋 悠	令和 5 年 4 月 1 日
	薬剤師	早田 千容	令和 4 年 4 月 1 日
	薬剤師	松田 裕也	平成 28 年 9 月 28 日
	薬剤師	森田 洋亮	平成 28 年 9 月 28 日

病院協議会 構成員

2023.9.1現在

協議員	氏名	所属	職位	備考
第2条第1項第1号	高折 晃史	病院長（血液内科）	教授	※議長 宮本享病院長退任による
第2条第1項第2号	松田 秀一	副病院長、整形外科長	教授	
第2条第1項第2号	妹尾 浩	副病院長、消化器内科長	教授	
第2条第1項第2号	波多野 悦朗	副病院長、肝胆膵・移植外科長、小児外科長	教授	
第2条第1項第2号	平井 豊博	副病院長、呼吸器内科長	教授	
第2条第1項第2号	溝脇 尚志	副病院長、放射線治療科長	教授	
第2条第1項第3号	黒田 知宏	病院長補佐、医療情報企画部長	教授	
第2条第1項第3号	武藤 学	病院長補佐、腫瘍内科長	教授	
第2条第1項第3号	小濱 和貴	病院長補佐、消化管外科長	教授	
第2条第1項第3号	柳田 素子	病院長補佐、腎臓内科長	教授	
第2条第1項第3号	大鶴 繁	病院長補佐、初期診療・救急科長	教授	
第2条第1項第3号	青山 朋樹	病院長補佐、人間健康科学系専攻長	教授	14号にも該当
第2条第1項第3号	寺田 智祐	病院長補佐、薬剤部長	教授	
第2条第1項第3号	井川 順子	病院長補佐、看護部長	看護部長	
第2条第1項第3号	久保 公四郎	病院長補佐、事務部長	事務部長	
第2条第1項第4号	山下 浩平	血液内科長	准教授	
第2条第1項第4号	原田 範雄	糖尿病・内分泌・栄養内科長	准教授	
第2条第1項第4号	尾野 亘	循環器内科長	教授	2023.6.1付け准教授→教授
第2条第1項第4号	森信 暁雄	免疫・膠原病内科長	教授	
第2条第1項第4号	高橋 良輔	脳神経内科長	教授	
第2条第1項第4号	恒藤 暁	緩和医療科長	教授	
第2条第1項第4号	中島 貴子	早期医療開発科長	教授	
第2条第1項第4号	高田 正泰	乳腺外科長	准教授	
第2条第1項第4号	湊谷 謙司	心臓血管外科長	教授	
第2条第1項第4号	伊達 洋至	呼吸器外科長	教授	
第2条第1項第4号	荒川 芳輝	脳神経外科長	教授	
第2条第1項第4号	辻川 明孝	眼科長	教授	
第2条第1項第4号	大森 孝一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科長	教授	
第2条第1項第4号	中尾 一祐	歯科口腔外科長	准教授	
第2条第1項第4号	森本 尚樹	形成外科長	教授	
第2条第1項第4号	万代 昌紀	産科婦人科長	教授	
第2条第1項第4号	小林 恭	泌尿器科長	教授	
第2条第1項第4号	江木 盛時	麻酔科長	教授	
第2条第1項第4号	滝田 順子	小児科長	教授	
第2条第1項第4号	中本 裕士	放射線診断科長	教授	
第2条第1項第4号	椛島 健治	皮膚科長	教授	
第2条第1項第4号	村井 俊哉	精神科神経科長	教授	
第2条第1項第4号	羽賀 博典	病理診断科長	教授	
第2条第1項第5号	近藤 祥司	高齢者医療ユニット長	准教授	
第2条第1項第6号	長尾 美紀	検査部長	教授	
第2条第1項第7号	松村 由美	医療安全管理部長	教授	
第2条第1項第8号	永井 純正	医療開発部長	教授	
第2条第1項第8号	森田 智視	クリニカルトリアルサイエンス部長	教授	
第2条第1項第8号	永井 洋士	臨床研究支援部長	教授	
第2条第1項第9号	中山 健夫	倫理支援部長	教授	
第2条第1項第12号	加藤 源太	病床運営管理部	病院教授	
第2条第1項第13号	片岡 仁美	医学教育・国際化推進センター	教授	
第2条第2項	池田 昭夫	てんかん診療支援センター長	特定教授	
第2条第2項	河井 昌彦	総合周産期母子医療センター長	特定教授	

管理者権限の明確化について

厚生労働省令

- 管理者が有する病院の管理運営に係る権限及び病院の管理運営のために必要となる一定の人事・予算執行権限について明確化することを求める。
- 管理者が有する権限を明確化した内部規程を特定機能病院の承認申請時に提出させるとともに、毎年報告させることで確認する。

病院の管理運営に係る権限

1. 京都大学医学部附属病院規程に次のように定めている。

(略)

第2条 病院に、病院長を置く。

2 病院長は、理事又は医学研究科若しくは病院の専任の教授をもつて充てる。

3 病院長は、病院の院務を掌理する。

(略)

第13条 この規程に定めるもののほか、病院の内部組織については、病院長が定める。

(略)

2. 京都大学医学部病院協議会規程に次のように定めている。病院協議会は、病院運営に関する合議体である。

(略)

第2条 協議会は、副病院長、病院長補佐、診療科の科長、診療部門の各部、室、センター及びユニットの長のうち医学研究科及び医学部附属病院の教授又は准教授、中央施設部門の各部、室及びセンターの長、運営部門の各部、室及びセンターの長のうち医学研究科及び医学部附属病院の教授又は准教授、先端医療研究開発機構の各部、センターの長及び副センター長（院内調整担当）、臨床研究・研修部門の各センター、部及び室の長、看護部長、薬剤部長、医療情報企画部長並びに事務部長をもつて組織する。

2 前項に掲げるもののほか、病院教授の称号を付与された者を協議会組織に加えるものとする。

3 前2項に掲げるもののほか、医学研究科附属医学教育・国際化推進センター専任教授及び医学研究科人間健康科学系専攻長を協議会組織に加えるものとする。

4 前3項に掲げるもののほか、病院長が必要と認めるときは、協議会の議を踏まえて、医学研究科、医学部又は病院の教授、准教授又は講師を加えることができる。

第3条 病院協議会は、毎月1回病院長が招集し、議長となる。ただし、必要があるときは臨時に招集することができる。

(略)

3. 京都大学医学部附属病院執行部内規に次のように定めている。病院執行部は、病院の業務に関し迅速な意思決定を行い、病院執行部会議において企画・実施する。

(設置)

第1条 京都大学医学部附属病院規程第13条の規定に基づき、京都大学医学部附属病院（以下「病院」という。）に、病院の業務に関し迅速な意思決定を行うため、京都大学医学部附属病院執行部（以下「病院執行部」という。）を置く。

(組織)

第2条 病院執行部は、次の各号に掲げる者で組織する。

(1) 病院長

(2) 副病院長

(3) 病院長補佐

(4) その他病院長が必要と認めた者

(業務)

第3条 病院執行部の業務は、次に掲げるとおりとする。

(1) 病院の診療、教育、研究に関する企画及び実施に関すること。

(2) 病院の経営に関する企画及び実施に関すること。

(3) その他重要事項に関すること。

(病院執行部会議)

第4条 前条の業務を企画・実施するため、病院執行部に病院執行部会議（以下「会議」という。）を置く。

(議長)

第5条 病院長は、会議を招集し、その議長となる。

2 議長に事故あるときは、副病院長のうち議長が指名する者がその職務を代理する。

(略)

人事権限

1. 京都大学医学部附属病院規程に次のように定めている。

第6条 病院に、診療部門として、次の部、室、センター及びユニットを置く。

デイ・ケア診療部

臓器移植医療部

遺伝子診療部

心臓血管疾患集中治療部

女性のこころとからだの相談室

脳卒中診療部

がんセンター

VHL病センター

リウマチセンター

もやもや病支援センター

高度生殖医療センター

頭蓋底腫瘍センター

てんかん診療支援センター
摂食嚥下診療センター
総合周産期母子医療センター
こども医療センター
児童思春期こころの相談センター
黄斑疾患治療センター
高齢者医療ユニット
漢方診療ユニット

2 前項に掲げる各組織に関し必要な事項は、病院長が定める。

各組織の長は、各組織の内規において一定の対象者から病院長が指名すると定めているか、本規定条文中にて必要な事項を病院長が定めることとされている。

第7条 病院に、中央施設部門として、次の部、室及びセンターを置く。

検査部
感染制御部
手術部
放射線部
救急部
リハビリテーション部
医療器材部
人工腎臓部
病理部
疾患栄養治療部
集中治療部
内視鏡部
臨床心理室
細胞療法センター
高気圧酸素治療センター

2 前項に掲げる各組織に関し必要な事項は、病院長が定める。

各組織の長は、各組織の内規において一定の対象者から病院長が指名するあるいは委嘱すると定めている。

第8条 病院に、運営部門として、次の部、センター及び室を置く。

看護部
薬剤部
医療情報企画部
医療安全管理部
病院運営企画室
診療報酬センター
病床運営管理部

地域ネットワーク医療部
新病院整備推進部
病歴管理室
患者総合サポートセンター
品質管理室
事業場安全衛生管理室

(略)

12 第2項から前項までに定めるもののほか、第1項に掲げる各組織に関し必要な事項は、病院長が定める。

各組織の長は、各組織の内規において一定の対象者から病院長が指名すると定めているか、本規定条文中にて必要な事項を病院長が定めることとされている。

(ただし、新病院整備推進部長は病院長をもって充てると定めており、看護部長は、候補者選考内規において、選考委員長は病院長をもって充てると定めている。)

第9条 病院に、先端医療研究開発機構を置く。

2 先端医療研究開発機構に、次の部、センター及び室を置く。

医療開発部

クリニカルトリアルサイエンス部

臨床研究支援部

次世代医療・iPS細胞治療研究センター

先端医療機器開発・臨床研究センター

先制医療・生活習慣病研究センター

クリニカルバイオリソースセンター

戦略・広報室

3 前項に定めるもののほか、先端医療研究開発機構に関し必要な事項は、病院長が定める。

各組織の長は、それぞれの内規において、一定の対象者から病院長が指名すると定めている。

(ただし、先制医療・生活習慣病研究センターは、病院長が指名する副病院長又は病院長補佐をもって充てると定めている。)

第10条 病院に、臨床研究・研修部門として、次のセンター、部及び室を置く。

総合臨床教育・研修センター

iPS細胞臨床開発部

看護職キャリアパス支援センター

EHR利用推進センター

レセプト情報等オンサイトリサーチセンター（京都）運用部

倫理支援部

共同機器研究室

2 前項に掲げる各組織に関し必要な事項は、病院長が定める。

各組織の長は、それぞれの内規において、一定の対象者から病院長が指名すると定めている。

(ただし、看護職キャリアパス支援センター長は看護部長、EHR利用推進センター長及びレセプト情報等オンサイトリサーチセンター(京都)運用部長は医療情報企画部長をもって充てると定めている。)

予算執行権限

1. 国立大学法人京都大学予算規則において病院の予算責任者は、病院長と定めている。

(略)

(予算単位と予算責任者)

第3条 会計規程第6条に定める予算単位及び予算責任者は、別表に定めるところによる。

(略)

別表(抜粋)

医学部附属病院 病院長

2. 京都大学医学部附属病院予算委員会規程に次のように定めている。

第1条 京都大学医学部附属病院における予算について審議するため、京都大学医学部附属病院予算委員会(以下「委員会」という。)を置く。

第2条 委員会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 概算要求事項に関すること。
- (2) 予算配分に関すること。
- (3) 予算の執行に関すること。
- (4) その他予算に関し、委員会が必要と認めること。

第3条 委員会は、次に掲げる委員で組織する。

- (1) 病院長
- (2) 内科系教授2名
- (3) 外科系教授2名
- (4) 中央施設部門の部(室)長3名(但し、前各号の委員を兼ねることはできない。)
- (5) 薬剤部長、看護部長及び事務部長
- (6) その他病院長が必要と認める者。

2 前項第1号及び第5号以外の委員は、病院長が委嘱する。

3 第一項第1号及び第5号以外の委員の任期は、2年とし再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

第4条 委員会に委員長を置き、病院長をもってあてる。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代行する。

- 4 委員長が必要と認めたときは、委員以外の者に委員会への出席を求め、説明又は意見を聞くことができる。

(略)

※以下の内規等は、上述の規程等を補完するもの

病院の管理運営に係る権限

4. 京都大学医学部附属病院運営企画室内規に次のように定めている。

(設置)

第1条 京都大学医学部附属病院（以下「病院」という。）に、病院運営企画室（以下「運営企画室」という。）を置く。

(業務)

第2条 運営企画室は、病院長の指示により病院運営及び経営に関し、情報の収集及び分析を行うとともに必要事項について企画立案し、病院長に提言する。

(略)

5. 外来医長・看護師長会議規程に次のように定めている。

第1条 病院に、外来医長・看護師長会議（以下「会議」という。）を置く。

第2条 会議は、各診療科外来における管理・運営の円滑化をはかるため、病院長の諮問に応じて、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 各診療科外来における診療及び診療事務に関すること。
- (2) 各診療科外来間の連絡及び調整に関すること。
- (3) その他各診療科外来に関すること。

(略)

6. 病棟医長・看護師長会議規程に次のように定めている。

第1条 病院に、病棟医長・看護師長会議（以下「会議」という。）を置く。

第2条 会議は、病棟における管理・運営の円滑化をはかるため、病院長の諮問に応じて、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 病棟における診療及び診療事務に関すること。
- (2) 病棟間の連絡及び調整に関すること。
- (3) その他病棟に関すること。

(略)

7. 京都大学医学部附属病院危機管理会議内規に次のように定めている。構成員は、病院執行部である。

(目的)

第1条 京都大学医学部附属病院（以下「病院」という。）において発生した緊急かつ重大な事案に迅速に対応するため、京都大学医学部附属病院危機管理会議（以下「危機管理会議」という。）を置く。

（業務等）

第2条 危機管理会議は、病院において発生した緊急かつ重大な医療事故、研究活動における不適合事案、院内感染、集団食中毒、天災、人災等に迅速な対応を行う。ただし、医療法に定める特定臨床研究活動及び再生医療等技術を用いる臨床研究活動における不適合事案については、この限りでない。

2 前項における対応のうち、診療行為及び研究活動の継続又は中止の判断については、危機管理会議の議を踏まえて、病院長が行う。

（組織）

第3条 危機管理会議は、次の各号に掲げる者で組織する。

(1) 病院長

(2) 副病院長

(3) 病院長補佐

(4) その他病院長が必要と認める者

（議長）

第4条 病院長は、会議を招集しその議長となる。

（略）

人事権限

5. 外来医長・副医長職務内規に次のように定めている。

第二条 病院各診療科外来に、外来副医長一名を置くことができる。

2 外来副医長は、当該診療科の講師または助教から、当該診療科長の推せんにより病院長が任命する。

6. 病棟医長・副医長職務内規に次のように定めている。

第二条 病院各病棟に、病棟副医長一名を置くことができる。

2 病棟副医長は、当該部局の講師または助教から、当該部局長の推せんにより病院長が任命する。

7. 京都大学医学部附属病院医員等取扱要項に次のように定めている。

1. 医員

第1（略）

第2 医員の採用は、関係診療科の長・診療部の長（以下「診療科長等」という。）の意見を参考に、病院長が選考のうえ、決定する。

第3（略）

2～4（略）

第4（略）

第5（略）

2. 医員（研修医）

第6（略）

第7 医員（研修医）の採用は、別に定める要件を満たした者の中から病院長が決定する。